
羽村市
地域福祉に関するアンケート調査
報告書

平成30年3月
羽村市

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査の設計	3
3. 回収結果	3
4. 報告書の留意点	3
第2章 調査結果の要約	5
I. 地域での暮らしについて	7
II. 行政と地域住民との関わりについて	9
III. 地域活動の参加について	9
IV. 市の福祉施策や制度・サービスについて	10
第3章 調査結果の詳細	13
I. 回答者の属性	15
1. 性別	15
2. 年齢	15
3. 職業	16
4. 居住年数	16
5. 居住地区	17
6. 住居形態	18
7. 家族人数	18
8. 家族構成	19
9. 家族であてはまるもの	19
II. 地域での暮らしについて	20
1. 居住地域での暮らしやすさの満足度	20
(1) 居住地域での暮らしやすさの満足度	20
(2) 安心して暮らしていくために重要なこと	22
2. 居住地域での暮らしやすさの総合満足度	25
3. 毎日の暮らしで感じている悩みや不安	27
(1) 毎日の暮らしで感じている悩みや不安	27
(2) 経済的な問題が生じている理由	29
4. 悩みや不安の相談相手	30
5. 隣近所とのつきあい方	32
(1) 隣近所とのつきあい方	32
(2) 今後希望するつきあい方	34
6. 日常生活が不自由になったとき地域の人にしてほしいこと・自分にできること	36
(1) 日常生活が不自由になったとき地域の人にしてほしいこと	36
(2) 日常生活が不自由になった家庭があったとき自分にできること	38
7. 地域生活での問題に対する住民相互の協力関係	40

(1) 住民相互の協力関係の必要性	40
(2) 住民相互の協力関係で必要だと思うこと	42
8. 「地域」と聞いて思い浮かべる範囲	45
9. 災害時における住民間の相互支援	47
III. 行政と地域住民との関わりについて	48
1. 行政や福祉サービスに関する情報入手先	48
(1) 行政や福祉サービスに関する情報入手先	48
(2) 自分に必要な「福祉サービス」の情報の入手状況	50
2. 福祉サービスを充実させていくうえでの行政と地域住民の関係	51
IV. 地域活動の参加について	53
1. 地域活動への参加状況	53
(1) 参加の有無	53
(2) 参加している地域活動	56
(3) 活動への参加頻度	57
(4) 活動に参加しない理由	58
(5) 地域活動への参加条件	59
2. 地域活動の情報の入手状況	60
3. 今後参加したい地域活動	61
4. 地域でのボランティアやNPO活動への期待度	63
V. 市の福祉施策や制度・サービスについて	65
1. 羽村市の地域福祉に対する印象	65
2. 福祉サービスの充実と税金等の負担の関係	67
3. 相談窓口や相談機関の認知・利用状況	68
4. 最近1年間の福祉サービスの利用状況	70
(1) サービスの利用者	70
(2) 利用したサービスの満足度	71
5. 福祉サービスや保健、医療の制度や仕組みの分かりやすさ	72
(1) 分かりやすさ	72
(2) わかりにくいと思う理由	74
6. 福祉サービスが利用しやすい環境整備	75
7. 利用しやすい環境を整備するために充実すべきこと	77
8. 福祉にかかわる制度や言葉の認知状況	79
9. 福祉に関する講習や研修などの参加意向	81
10. 今後優先して取り組むべき施策	83
11. 高齢者の住みやすいまちづくりに重要なこと	87
12. 障害のある方の住みやすいまちづくりに重要なこと	91
13. 子どもを健やかに育てるために重要なこと	95
14. 自由回答	99

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、20歳以上の市民を対象に、地域福祉を一体的・計画的に推進するための意見・要望などを把握するとともに、第5次羽村市地域福祉計画を策定するための基礎資料を得ることを目的として実施した。

2. 調査の設計

調査対象：羽村市に居住する20歳以上の男女

抽出方法：住民基本台帳からの無作為抽出

調査時期：平成29年3月1日(水)～3月24日(金)

調査方法：郵送調査票

3. 回収結果

サンプル数	有効回収数	有効回収率
1,000	429	42.9%

4. 報告書の留意点

- ・基数となるべき実数（n）は、設問に対する回答者数（調査数）です。
- ・各設問の集計にあたっては、各設問とも、「有効回答数」から無回答の件数を差し引いた件数を「回答者数（調査数）」とし、これを基数として構成比（%）を算出しました。従って、各設問とも「回答者数（調査数）」は異なります。
- ・百分率（%）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示しました。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、%を足しあわせて100%にならない場合があります。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、%の合計が100%を超える場合があります。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合があります。
- ・分析軸の項目に「無回答」があるため、全体のnと合計があわない場合があります。
- ・原則、回答者数（調査数）が30未満の場合、参考として値を掲載するにとどめ、本文中では触れない場合があります。

第2章 調査結果の要約

I. 地域での暮らしについて

1. 居住地域での暮らしやすさの満足度

(1) 居住地域での暮らしやすさの満足度

居住地域での暮らしやすさについての満足度を見ると、“満足率”（「かなり満足している」と「まあ満足している」の合計）が5割を超えているのは、「①隣近所などのおつきあい」の1項目のみである。一方、“不満率”（「やや不満である」と「かなり不満である」の合計）が最も高いのは「⑦病院など医療関係施設」で19.8%となっている。また、「⑧高齢者が安心して暮らせる環境」（14.5%）、「⑨障害のある方が安心して暮らせる環境」（15.0%）の“不満率”は15%前後となっている。

(2) 安心して暮らしていくために重要なこと

地域で安心して暮らしていくために重要なことについては、「病院など医療関係施設」が65.3%で最も多く、次いで「高齢者が安心して暮らせる環境」（64.8%）、「子どもが安心して暮らせる環境」（58.3%）、「隣近所などのおつきあい」（55.7%）、「地域の防犯体制」（55.5%）と続いている。

2. 居住地域での暮らしやすさの総合満足度

居住地域での総合的な暮らしやすさについては、「まあ満足している」が61.3%で最も多く、「かなり満足している」（8.9%）を合わせると70.2%の人が“満足”としている。一方、「かなり不満」（0.7%）と「やや不満である」（6.1%）を合わせた“不満”との回答は6.8%にとどまっている。

3. 毎日の暮らしで感じている悩みや不安

(1) 毎日の暮らしで感じている悩みや不安

毎日の暮らしで感じている悩みや不安については、「自分の健康」（49.0%）と「家族の健康」（45.7%）と健康に関することが上位に挙げられている。次いで「経済的な問題」（32.6%）、「介護の問題」（23.5%）が続いている。

(2) 経済的な問題が生じている理由

経済的な問題が生じている理由については、「仕事をしているが、収入が十分でない」が48.6%で最も多く、次いで「病気や障害で、仕事をするのが困難になった」（15.0%）、「債務があるため、返済が家計を圧迫している」（12.9%）と続いている。

4. 悩みや不安の相談相手

悩みや不安の相談相手については、「家族・親戚」が70.9%で最も多く、次いで「友人・知人」（43.6%）、「職場の人」（11.9%）と続いている。

5. 隣近所とのつきあい方

(1) 隣近所とのつきあい方

隣近所とのつきあい方については、「会えばあいさつをかわす程度」が40.6%で最も多く、次いで「たまに立ち話をする程度」（28.9%）と続いている。

(2) 今後希望するつきあい方

今後希望するつきあい方については、「たまに立ち話をする程度」が27.7%で最も多く、次いで「困った時には相談したり、助けあったりしている」(23.5%)、「会えばあいさつをかわす程度」(19.6%)と続いている。

6. 日常生活が不自由になったとき地域の人にしてほしいこと・自分にできること

(1) 日常生活が不自由になったとき地域の人にしてほしいこと

日常生活が不自由になったとき地域の人にしてほしいことについては、「安否確認の声かけ」が53.8%で最も多く、次いで「具合が良くない時に、病院や市役所などに連絡する」(37.3%)、「通院の送迎や外出の手助け」(35.2%)、「ちょっとした買い物やゴミ出し」(30.8%)が3割台で続いている。

(2) 日常生活が不自由になった家庭があったとき自分にできること

日常生活が不自由になった家庭があったとき自分にできることについては、「安否確認の声かけ」が62.7%で最も多く、次いで「具合が良くない時に、病院や市役所などに連絡する」(44.5%)、「ちょっとした買い物やゴミ出し」(38.5%)と続いている。

7. 地域生活での問題に対する住民相互の協力関係

(1) 住民相互の協力関係の必要性

住民相互の協力関係の必要性については、「まあ必要だと思う」が47.6%で最も多く、「かなり必要だと思う」(17.5%)を合わせた“必要”は65.1%となっている。一方、「あまり必要だと思わない」(3.7%)と「ほとんど必要だと思わない」(2.3%)を合わせた“不要”は6.0%にとどまっている。

(2) 住民相互の協力関係で必要だと思うこと

住民相互の協力関係で必要だと思うことについては、「自ら進んで日頃から住民相互のつながりをもつように心がけること」が40.9%で最も多く、次いで「地域の人が気楽に集まれる場所を作ること」(39.4%)、「行政が地域活動の相談や支援体制を充実させること」(33.0%)、「支え合いの仲間づくりの機会と場所の確保」(30.8%)が3割台で続いている。

8. 「地域」と聞いて思い浮かべる範囲

「地域」と聞いて思い浮かべる範囲については、「町内会・自治会」が44.8%で最も多く、次いで「地区(町名ごとによる区域)」(24.5%)、「隣近所」(11.7%)と続いている。

9. 災害時における住民間の相互支援

災害時における住民間の相互支援については、「災害直後の安否確認や声かけ」が81.1%で最も多く、次いで「災害や避難に関する情報提供」(64.6%)、「避難所などへの移動の支援」(62.9%)が6割台で続いている。

Ⅱ. 行政と地域住民との関わりについて

1. 行政や福祉サービスに関する情報入手先

(1) 行政や福祉サービスに関する情報入手先

行政や福祉サービスに関する情報入手先については、「市広報誌や市の発行するパンフレットから」が75.5%で最も多く、次いで「家族から」(26.6%)、「友人・知人から」(26.6%)が2割台で続いている。

(2) 自分に必要な「福祉サービス」の情報の入手状況

自分に必要な「福祉サービス」の情報の入手状況については、「今のところ情報を入手しようとしていない」が37.8%で最も多くなっている。一方、「十分入手できている」(4.0%)と「十分ではないが入手できている」(36.4%)を合わせた“入手できている”は40.4%となっている。

2. 福祉サービスを充実させていくうえでの行政と地域住民の関係

福祉サービスを充実させていくうえでの行政と地域住民の関係については、「行政も住民も協力し合い、ともに取り組むべきである」が41.7%で最も多く、次いで「行政の手の届きにくい課題については、住民が協力していくべきである」(17.7%)、「まず家庭や地域で助け合い、出来ない場合に行政が援助すべきである」(16.3%)と続いている。

Ⅲ. 地域活動の参加について

1. 地域活動への参加状況

(1) 参加の有無

参加の有無については、「はい」は36.4%、「いいえ」は62.2%であり、参加している人は約3人に1人強の割合となっている。

(2) 参加している地域活動

参加している地域活動については、「自治会・町内会での活動」が71.2%で最も多く、次いで「文化・スポーツ団体活動(指導を含む)」(21.2%)、「学校、PTA、子供会等の活動」(16.7%)、「ボランティアやNPO(民間非営利組織)などにおける地域活動」(16.7%)と続いている。

(3) 活動への参加頻度

活動への参加頻度については、「年に数回」が48.1%で最も多く、次いで「月に1～2回くらい」(26.3%)、「月に5回以上」(12.2%)と続いている。

(4) 活動に参加しない理由

活動に参加しない理由については、「仕事や家事が忙しく時間が取れないため」が53.9%で最も多く、次いで「継続して活動に参加できるか不安」(24.7%)と続いている。

(5) 地域活動への参加条件

地域活動への参加条件については、「時間や収入にゆとりがあること」が44.6%で最も多く、次いで「ともに活動する仲間や友人がいること」(36.7%)、「誰でも簡単にできること」(32.2%)、「わずかな時間(2～3時間)でできること」(31.8%)が3割台が続いている。

2. 地域活動の情報の入手状況

地域活動の情報の入手状況については、「十分ではないが入手できている」が43.6%で最も多く、「十分入手できている」(4.4%)と合わせた“入手できている”は48.0%となっている。

3. 今後参加したい地域活動

今後参加したい地域活動については、「ボランティア・NPO・市民活動」(28.4%)、「文化・スポーツ団体活動」(27.5%)が2割台となっている。一方で「特に参加するつもりはない」は39.9%となっている。

4. 地域でのボランティアやNPO活動への期待度

地域でのボランティアやNPO活動への期待度については、「どちらともいえない」が42.2%と最も多くなっている。一方、「かなり期待している」(5.8%)と「まあ期待している」(24.0%)を合わせた“期待している”は29.8%となっている。

IV. 市の福祉施策や制度・サービスについて

1. 羽村市の地域福祉に対する印象

羽村市の地域福祉に対する印象で「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた“そう思う”との回答が多いのは、「①子育て家族が暮らしやすいまち」であり、6割台半ばとなっている。一方、「そう思わない」との回答は、「④地域住民の活動が盛んなまち」(22.6%)、「⑤困った時に隣近所で助け合えるまち」(25.2%)で2割台となっている。

2. 福祉サービスの充実と税金等の負担の関係

福祉サービスの充実と税金等の負担の関係については、「税金等の負担は現状程度にして、市民や民間の協力により福祉の充実を図るべきである」が41.3%で最も多く、次いで「税金等の負担が重くなるくらいなら、福祉サービスは現状程度でよい」(21.2%)、「税金等の負担がある程度重くなっても、福祉サービスを今より充実させるべきである」(15.6%)と続いている。

3. 相談窓口や相談機関の認知・利用状況

相談窓口や相談機関の認知・利用状況については、「知っており、利用したことがある」との回答が多いのは「④保健センター」であり、42.7%となっている。

「知っているが、利用したことはない」と合わせた“認知率”をみると、「④保健センター」は81.4%、「③社会福祉協議会」は69.2%、「⑤民生・児童委員」は66.6%となっている。

4. 最近1年間の福祉サービスの利用状況

(1) サービスの利用者

サービスの利用者については、自分自身や家族が“利用した”との回答は21.7%となっている。

(2) 利用したサービスの満足度

利用したサービスの満足度については、「まあ満足している」が58.1%で最も多く、「かなり満足している」(14.0%)を合わせた“満足”は72.1%となっている。一方で、「やや不満である」(4.3%)と「かなり不満である」(0.0%)を合わせた“不満”は4.3%にとどまっている。

5. 福祉サービスや保健、医療の制度や仕組みの分かりやすさ

(1) 分かりやすさ

分かりやすさについては、「どちらともいえない」が42.9%で最も多くなっている。一方で、「かなりわかりやすい」(1.6%)と「まあわかりやすい」(17.5%)を合わせた“わかりやすい”は19.1%、「ややわかりにくい」(22.6%)と「かなりわかりにくい」(11.7%)を合わせた“わかりにくい”は34.3%となっている。

(2) わかりにくいと思う理由

わかりにくいと思う理由については、「仕組みが複雑だから」(41.5%)、「情報が少ないから」(40.8%)が4割台で上位になっている。

6. 福祉サービスが利用しやすい環境整備

福祉サービスが利用しやすい環境整備については、「どちらともいえない」が53.8%で最も多くなっている。一方で、「かなり整っていると思う」(2.3%)と「まあ整っていると思う」(32.4%)を合わせた“整っている”は34.7%、「あまり整っていないと思う」(6.5%)と「ほとんど整っていないと思う」(0.9%)を合わせた“整っていない”は7.4%となっている。

7. 利用しやすい環境を整備するために充実すべきこと

利用しやすい環境を整備するために充実すべきことについては、「分かりやすい情報の提供」が74.6%で最も多く、次いで「経済的な負担の軽減」(32.6%)、「障害のある方や高齢者に対する配慮」(32.2%)、「相談や苦情にいつでも対応できる窓口の設置」(30.1%)が3割台で続いている。

8. 福祉にかかわる制度や言葉の認知状況

福祉にかかわる制度や言葉の認知状況については、「①成年後見制度」は「知らない」人は24.0%にとどまっているが、「②地域福祉権利擁護事業」(73.2%)では「知らない」人は7割、「③小地域ネットワーク活動」(62.9%)と「⑤ノーマライゼーション」(66.0%)では「知らない」人は6割を超えている。

9. 福祉に関する講習や研修などの参加意向

福祉に関する講習や研修などの参加意向については、「わからない」が45.0%で最も多くなっている。一方で、「是非参加したい」(4.9%)と「参加したい」(23.5%)を合わせた“参加意向あり”は28.4%となっている。

10. 今後優先して取り組むべき施策

今後優先して取り組むべき施策については、「健康診断・がん検診などの保健医療サービスの充実」が36.4%で最も多く、次いで「福祉や保健に関する身近な相談窓口の充実」(32.4%)、「在宅生活が続けられる福祉サービスの充実」(30.3%)が3割台で続いている。

11. 高齢者の住みやすいまちづくりに重要なこと

高齢者の住みやすいまちづくりに重要なことについては、「コミュニティバス「はむらん」や福祉タクシーなどの交通機関の充実」が36.4%で最も多く、次いで「ホームヘルパーなど専門職の人材を確保・養成」(33.1%)、「高齢者に関する福祉サービスの質・量の向上・確保」(25.6%)と続いている。

12. 障害のある方の住みやすいまちづくりに重要なこと

障害のある方の住みやすいまちづくりに重要なことについては、「ホームヘルパーなど専門職の人材を確保・養成」(34.5%)、「障害のある方が利用・移動しやすい道路・建物・駅などの整備」(30.3%)が3割台で上位にあげられている。次いで、「障害のある方の自立支援・健康づくりの推進」(25.6%)、「障害のある方に関する福祉サービスの質・量の向上・確保」(25.6%)、「障害がある方の就労機会の充実」(23.5%)、「コミュニティバス「はむらん」や福祉タクシーなどの交通機関の充実」(20.7%)の4項目が2割台で続いている。

13. 子どもを健やかに育てるために重要なこと

子どもを健やかに育てるために重要なことについては、「子どもが安心して楽しく遊べ、学べる環境を整備する」が38.5%で最も多く、次いで「子育てと仕事を両立できる環境を整備する」(30.5%)、「子どもに対する防犯・安全対策の充実」(21.7%)、「子育てにかかる経済的負担の軽減を図る」(21.4%)、「安心して出産・育児ができる環境を整備する」(20.3%)が続いている。

第3章 調査結果の詳細

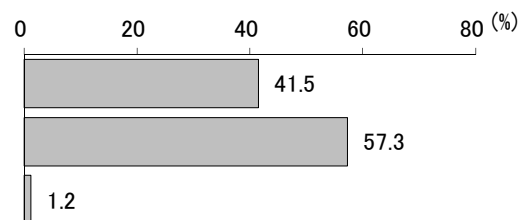
I. 回答者の属性

1. 性別

回答者は、「男性」(41.5%)に対して「女性」(57.3%)がやや多くなっている。

性別

	基数	構成比
男性	178	41.5%
女性	246	57.3%
無回答	5	1.2%

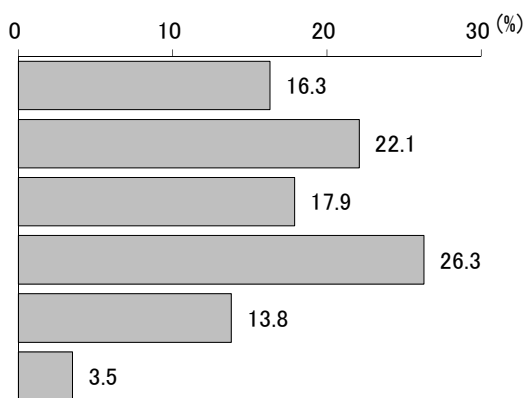


2. 年齢

回答者の年齢は、「65～74歳」が26.3%で最も多く、次いで「40～54歳」(22.1%)と続いている。平均年齢は57.3歳である。

年齢

	基数	構成比
20～39歳	70	16.3%
40～54歳	95	22.1%
55～64歳	77	17.9%
65～74歳	113	26.3%
75歳以上	59	13.8%
無回答	15	3.5%



平均 57.3歳

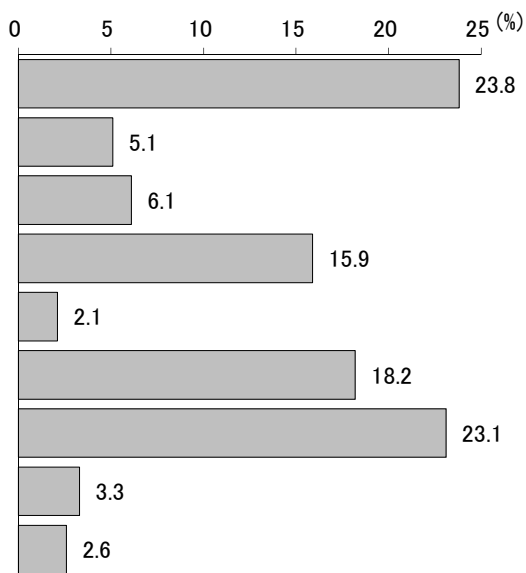
第3章 調査結果の詳細

3. 職業

職業は、「正社員・正職員」(23.6%)と「無職」(23.1%)が2割強となっている。

職業

	基数	構成比
正社員・正職員	102	23.8%
派遣・契約社員	22	5.1%
自営業・自由業(農林業含む)	26	6.1%
アルバイト・パートタイム	68	15.9%
学生	9	2.1%
家事専業	78	18.2%
無職	99	23.1%
その他	14	3.3%
無回答	11	2.6%

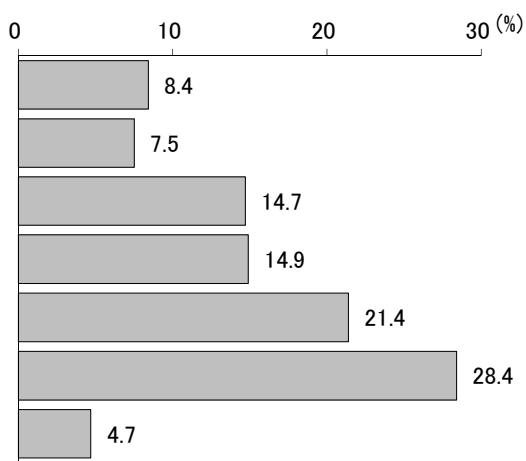


4. 居住年数

居住年数は、「40年以上」(28.4%)が最も多くなっている。平均居住年数は29.1年となっている。

居住年数

	基数	構成比
5年未満	36	8.4%
5～9年	32	7.5%
10～19年	63	14.7%
20～29年	64	14.9%
30～39年	92	21.4%
40年以上	122	28.4%
無回答	20	4.7%

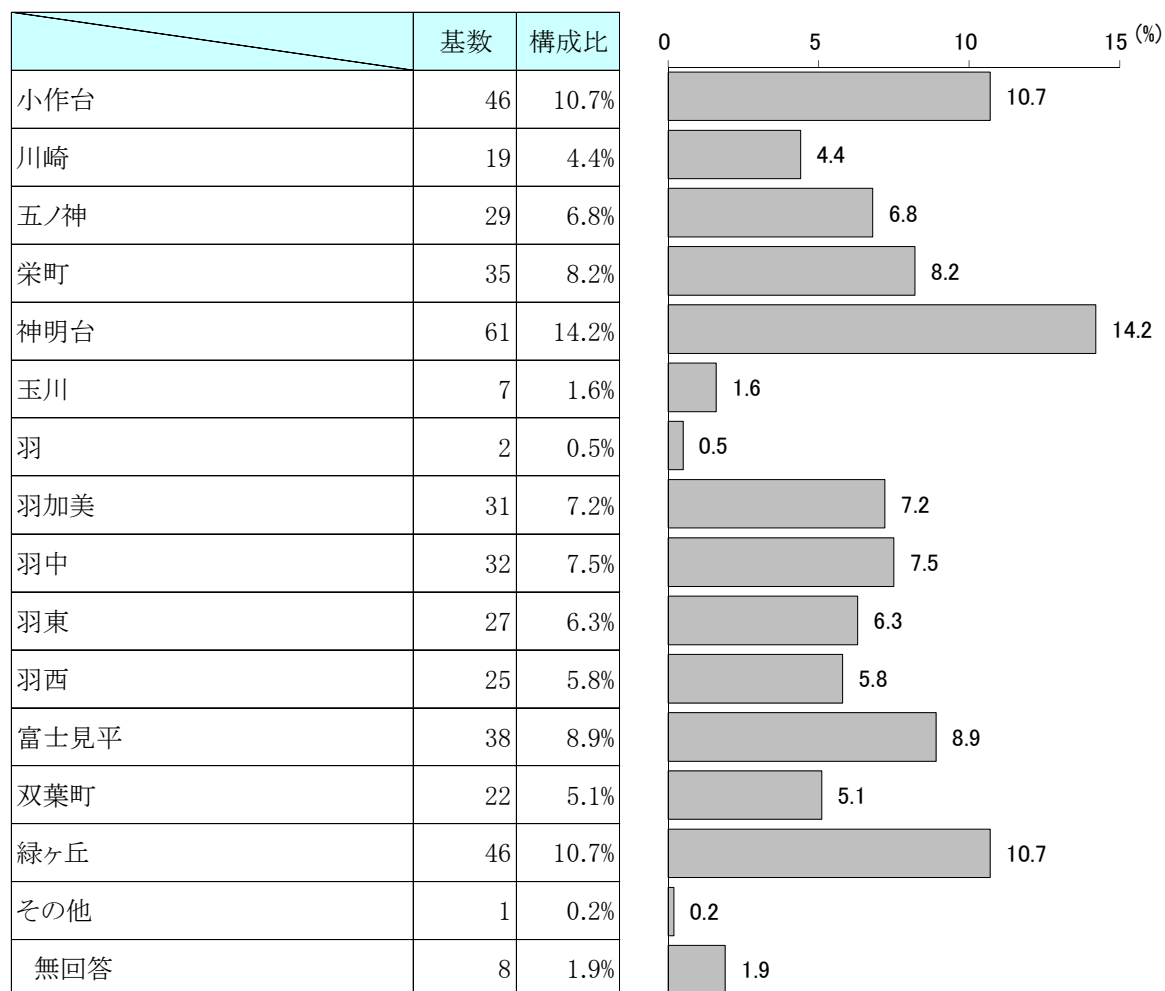


平均居住年数 29.1年

5. 居住地区

居住地区は、「神明台」が14.2%で最も多く、次いで「小作台」(10.7%)、「緑ヶ丘」(10.7%)が10%台で続いている。

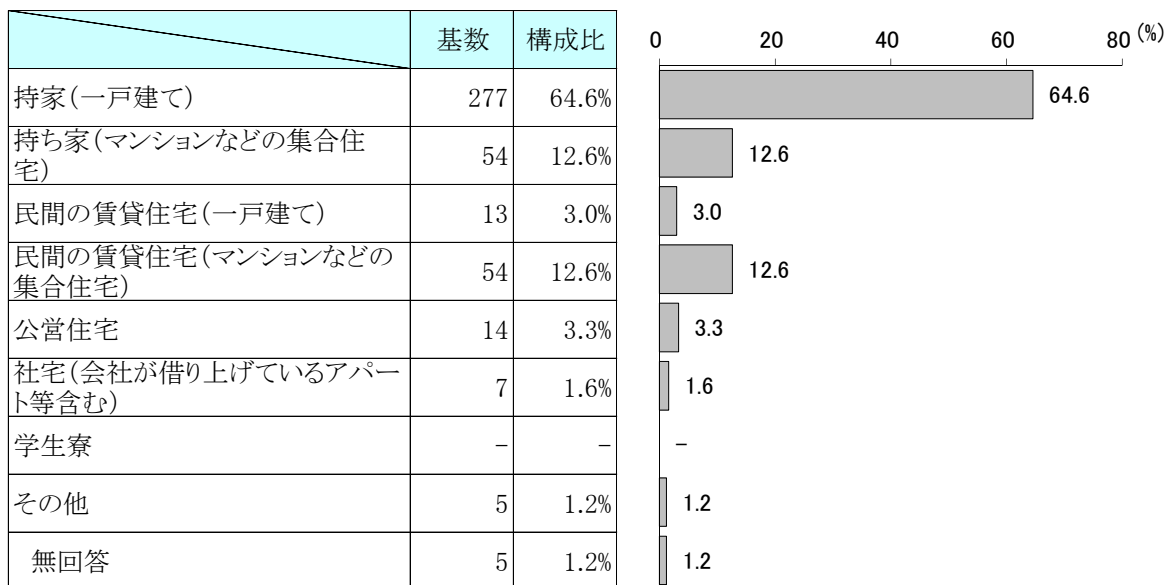
居住地区



6. 住居形態

住居形態は、「持家(一戸建て)」(64.6%)が多数を占めている。次いで、「持ち家(マンションなどの集合住宅)」(12.6%)、「民間の賃貸住宅(マンションなどの集合住宅)」(12.6%)が1割台で続いている。

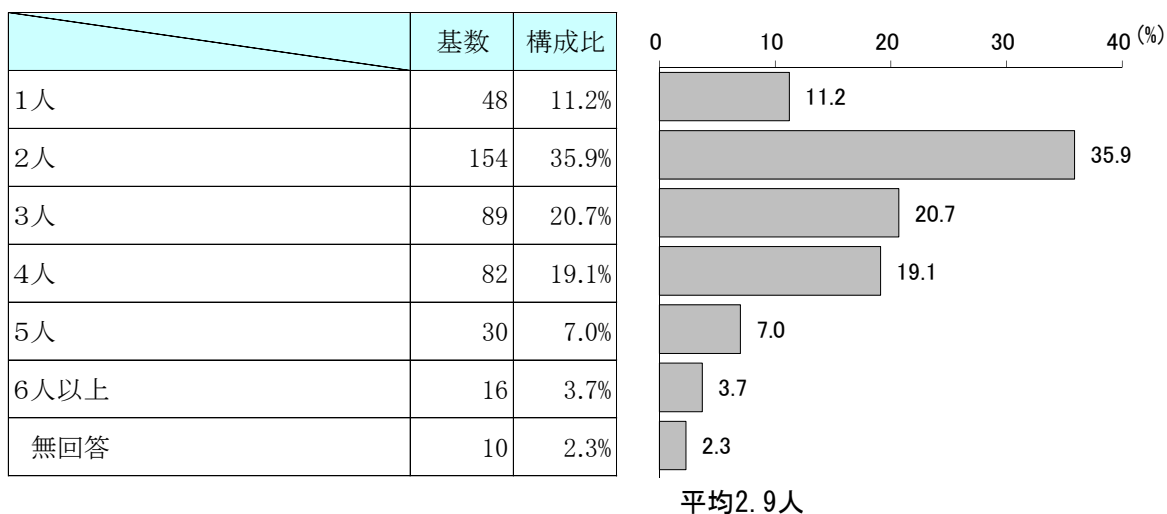
住居形態



7. 家族人数

家族人数は、「2人」(35.9%)が最も多く、次いで「3人」(20.7%)、「4人」(19.1%)と続いている。「1人」は11.2%となっている。平均家族人数は2.9人となっている。

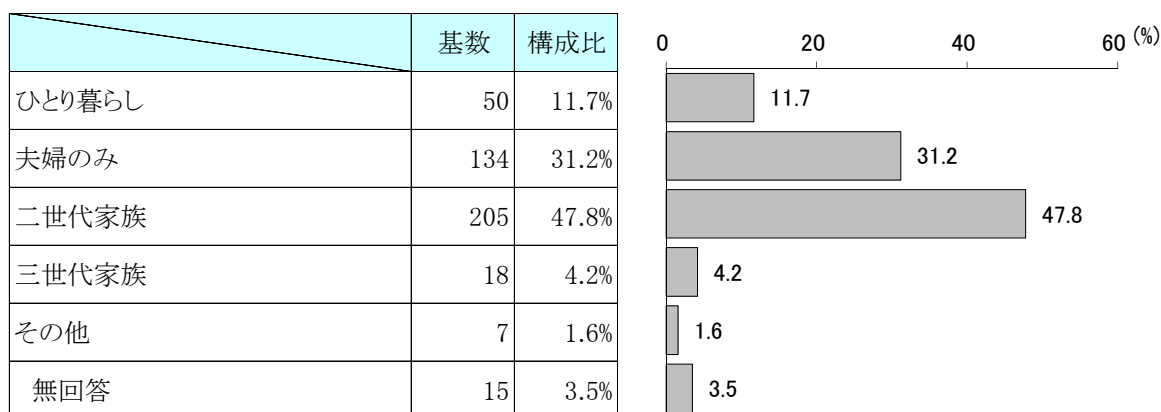
家族人数



8. 家族構成

家族構成は、「二世世代家族」(47.8%)が最も多くほぼ半数を占めている。次いで「夫婦のみ」が31.2%で続いている。

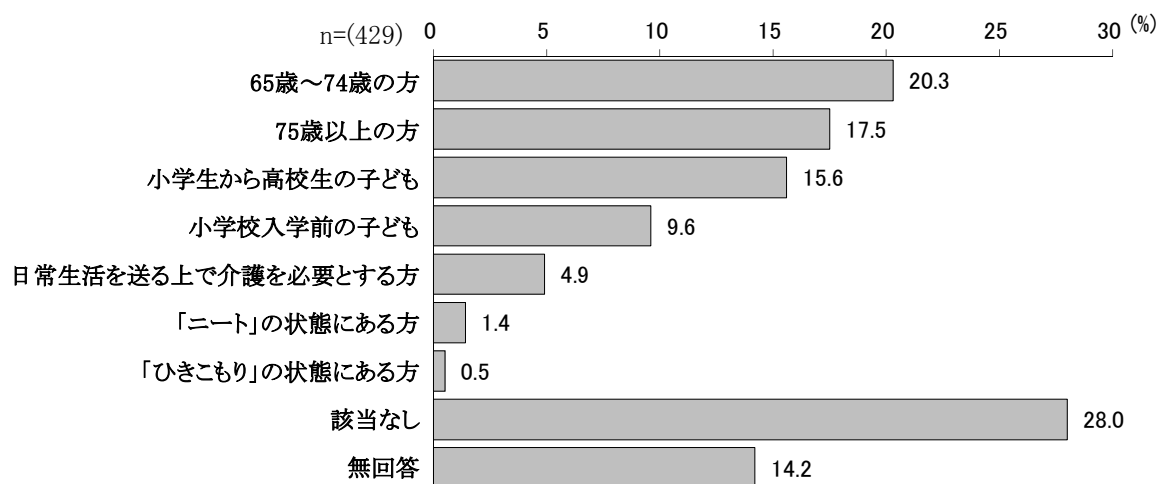
家族構成



9. 家族であてはまるもの

家族であてはまるものは、「65～74歳の方」(20.3%)、「75歳以上の方」(17.5%)と高齢者が上位を占めている。

家族であてはまるもの



II. 地域での暮らしについて

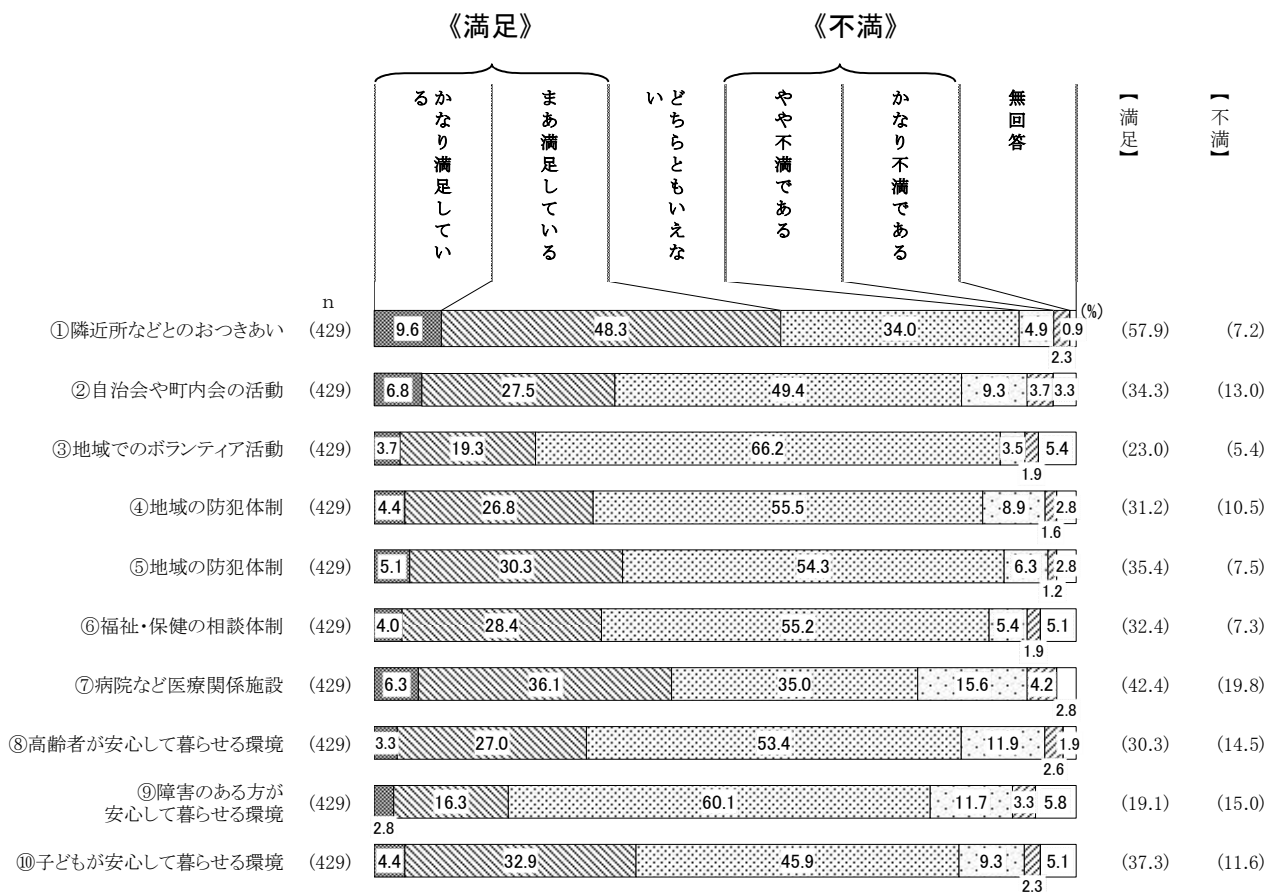
1. 居住地域での暮らしやすさの満足度

(1) 居住地域での暮らしやすさの満足度

問1 あなたが現在お住まいの地域での暮らしやすさについて、どの程度満足していますか。
(項目ごとに○はひとつ)

居住地域での暮らしやすさについての満足度を見ると、“満足率”（「かなり満足している」と「まあ満足している」の合計）が5割を超えているのは、「①隣近所などのおつきあい」の1項目のみである。一方、“不満率”（「やや不満である」と「かなり不満である」の合計）が最も高いのは「⑦病院など医療関係施設」で19.8%となっている。また、「⑧高齢者が安心して暮らせる環境」（14.5%）、「⑨障害のある方が安心して暮らせる環境」（15.0%）の“不満率”は15%前後となっている。

居住地域での暮らしやすさの満足度



居住地での暮らしやすさの満足度 属性別満足率(性別/年齢別/居住年数別/地区別)

(単位：%)

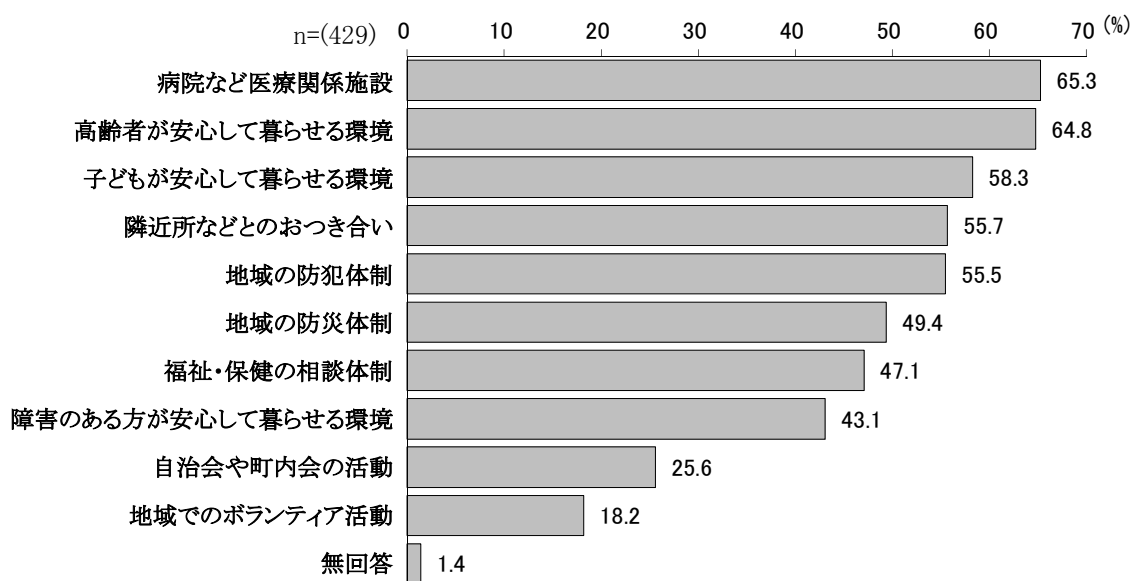
		調査数 (件)	① 隣近所などのお つきあい	② 自治会や町内会の活動	③ 地域でのボランティア 活動	④ 地域の防犯体制	⑤ 地域の防犯体制	⑥ 福祉・保健の相談体制	⑦ 病院など医療関係施設	⑧ 高齢者が安心して 暮らせる環境	⑨ 障害のある方が安心 して暮らせる環境	⑩ 子どもが安心して 暮らせる環境
全 体		429	57.9	34.3	23.0	31.2	35.4	32.4	42.4	30.3	19.1	37.3
性別	男性	178	51.1	34.8	25.8	34.8	37.6	27.5	42.1	35.4	19.1	38.8
	女性	246	62.6	33.7	20.3	28.0	33.3	35.8	42.7	26.8	19.1	36.2
年齢別	20～39歳	70	57.1	27.1	21.4	40.0	47.1	34.3	45.7	30.0	20.0	38.6
	40～54歳	95	50.5	29.5	20.0	29.5	30.5	34.7	34.7	29.5	24.2	37.9
	55～64歳	77	61.0	33.8	16.9	24.7	32.5	24.7	41.6	27.3	14.3	39.0
	65～74歳	113	54.0	37.2	20.4	28.3	31.9	28.3	40.7	31.0	13.3	34.5
	75歳以上	59	71.2	44.1	35.6	32.2	35.6	40.7	50.8	33.9	22.0	35.6
居住年数別	5年未満	36	50.0	13.9	13.9	27.8	27.8	27.8	38.9	25.0	8.3	19.4
	5～9年	32	56.3	28.1	28.1	31.3	37.5	37.5	46.9	28.1	21.9	40.6
	10～19年	63	49.2	34.9	19.0	31.7	31.7	36.5	44.4	19.0	20.6	34.9
	20～29年	64	48.4	35.9	15.6	26.6	35.9	28.1	32.8	31.3	23.4	37.5
	30～39年	92	62.0	32.6	18.5	33.7	37.0	32.6	43.5	33.7	20.7	45.7
	40年以上	122	64.8	41.8	32.8	32.8	37.7	32.0	44.3	36.1	18.0	37.7
地区別	小作台・栄町	81	61.7	37.0	28.4	40.7	46.9	37.0	50.6	38.3	30.9	34.6
	川崎・玉川・ 羽・羽東	55	65.5	49.1	32.7	25.5	32.7	23.6	47.3	36.4	27.3	43.6
	神明台	61	45.9	11.5	9.8	26.2	32.8	24.6	39.3	18.0	11.5	18.0
	富士見平・ 双葉町	60	51.7	26.7	18.3	21.7	25.0	23.3	28.3	30.0	10.0	30.0
	羽加美・ 羽西・羽中	88	61.4	36.4	22.7	27.3	29.5	34.1	42.0	27.3	11.4	42.0
	五ノ神・ 緑ヶ丘	75	57.3	41.3	21.3	38.7	40.0	44.0	44.0	30.7	22.7	49.3

(2) 安心して暮らしていくために重要なこと

問1-1 地域で安心して暮らしていくためには、どのようなことが重要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

地域で安心して暮らしていくために重要なことについては、「病院など医療関係施設」が65.3%で最も多く、次いで「高齢者が安心して暮らせる環境」(64.8%)、「子どもが安心して暮らせる環境」(58.3%)、「隣近所などのおつき合い」(55.7%)、「地域の防犯体制」(55.5%)と続いている。

安心して暮らしていくために重要なこと



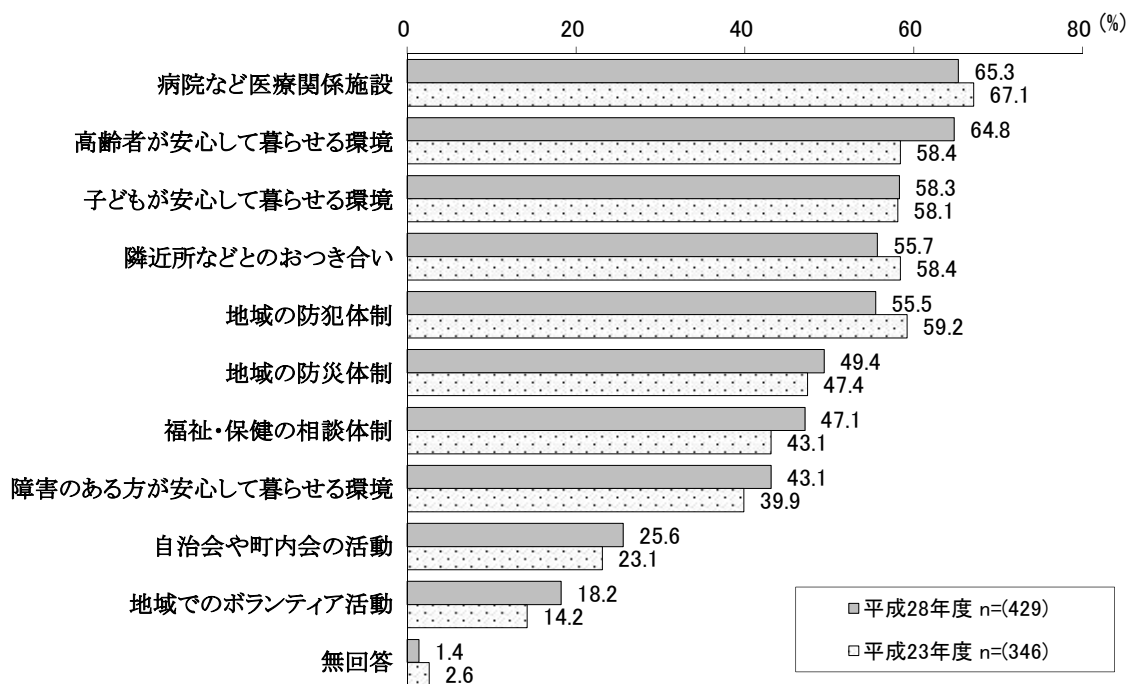
安心して暮らしていくために重要なこと(性別/年齢別/居住年数別/地区別)

(単位：%)

		調査数 (件)	施設 病院など医療関係	高齢者が安心して 暮らせる環境	子どもが安心して 暮らせる環境	隣近所などとの おつき合い	地域の防犯体制	地域の防災体制	福祉・保健の 相談体制	障害のある方が安心 して暮らせる環境	自治会や町内会の 活動	地域でのボランテイ ア活動	無回答
全 体		429	65.3	64.8	58.3	55.7	55.5	49.4	47.1	43.1	25.6	18.2	1.4
性別	男性	178	65.2	61.8	51.1	57.9	60.7	46.1	44.4	39.3	30.9	19.7	1.7
	女性	246	65.4	66.7	63.0	54.1	51.6	51.2	48.8	45.5	21.1	16.7	1.2
年齢別	20～39歳	70	70.0	54.3	78.6	48.6	67.1	51.4	44.3	41.4	15.7	17.1	-
	40～54歳	95	63.2	57.9	63.2	45.3	61.1	44.2	49.5	37.9	18.9	12.6	2.1
	55～64歳	77	62.3	72.7	59.7	55.8	57.1	50.6	46.8	51.9	16.9	10.4	1.3
	65～74歳	113	63.7	69.9	46.0	54.9	47.8	53.1	44.2	41.6	28.3	21.2	1.8
	75歳以上	59	67.8	67.8	47.5	83.1	45.8	45.8	55.9	44.1	52.5	30.5	1.7
居住年数別	5年未満	36	72.2	61.1	63.9	61.1	58.3	55.6	50.0	41.7	11.1	16.7	-
	5～9年	32	65.6	65.6	75.0	53.1	65.6	53.1	40.6	50.0	25.0	25.0	-
	10～19年	63	60.3	57.1	69.8	39.7	57.1	55.6	44.4	42.9	23.8	22.2	1.6
	20～29年	64	67.2	62.5	57.8	54.7	62.5	48.4	50.0	42.2	20.3	14.1	1.6
	30～39年	92	60.9	75.0	59.8	55.4	53.3	47.8	47.8	44.6	20.7	14.1	2.2
	40年以上	122	68.0	61.5	47.5	63.1	53.3	47.5	48.4	39.3	36.1	18.9	1.6
地区別	小作台・栄町	81	69.1	61.7	58.0	55.6	55.6	38.3	49.4	40.7	24.7	19.8	1.2
	川崎・玉川・ 羽・羽東	55	60.0	70.9	60.0	54.5	63.6	52.7	45.5	34.5	30.9	18.2	-
	神明台	61	73.8	62.3	57.4	54.1	52.5	55.7	50.8	47.5	21.3	18.0	-
	富士見平・ 双葉町	60	55.0	63.3	58.3	51.7	51.7	43.3	43.3	45.0	18.3	16.7	-
	羽加美・ 羽西・羽中	88	62.5	64.8	54.5	58.0	54.5	52.3	44.3	40.9	28.4	21.6	3.4
	五ノ神・ 緑ヶ丘	75	68.0	66.7	61.3	58.7	57.3	53.3	49.3	48.0	26.7	13.3	2.7

<前回比較>

前回調査と比較すると、「高齢者が安心して暮らせる環境」は前回より6.4ポイント増加している。

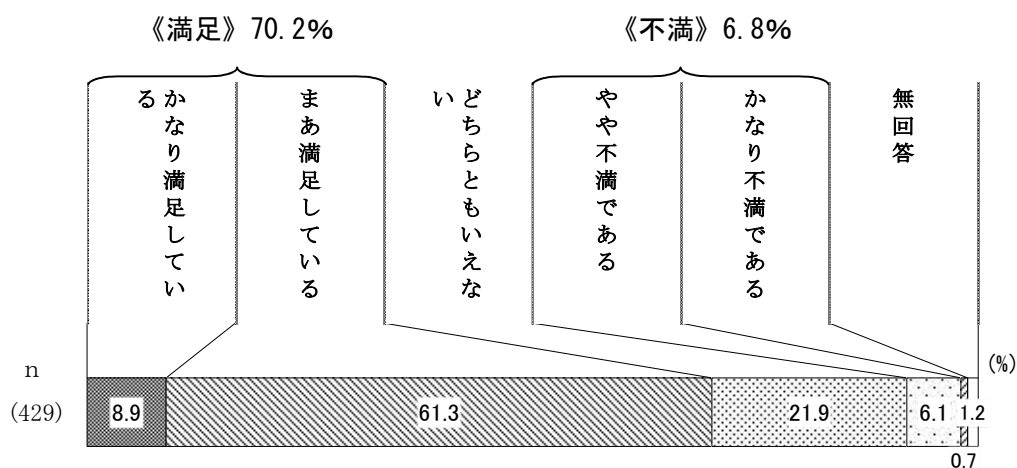


2. 居住地域での暮らしやすさの総合満足度

問2 あなたが現在お住まいの地域の暮らしやすさを総合的に考えると、どの程度満足していますか。(〇はひとつ)

居住地域での総合的な暮らしやすさについては、「まあ満足している」が61.3%で最も多く、「かなり満足している」(8.9%)を合わせると70.2%の人が“満足”としている。一方、「かなり不満」(0.7%)と「やや不満である」(6.1%)を合わせた“不満”との回答は6.8%にとどまっている。

居住地域での暮らしやすさの総合満足度



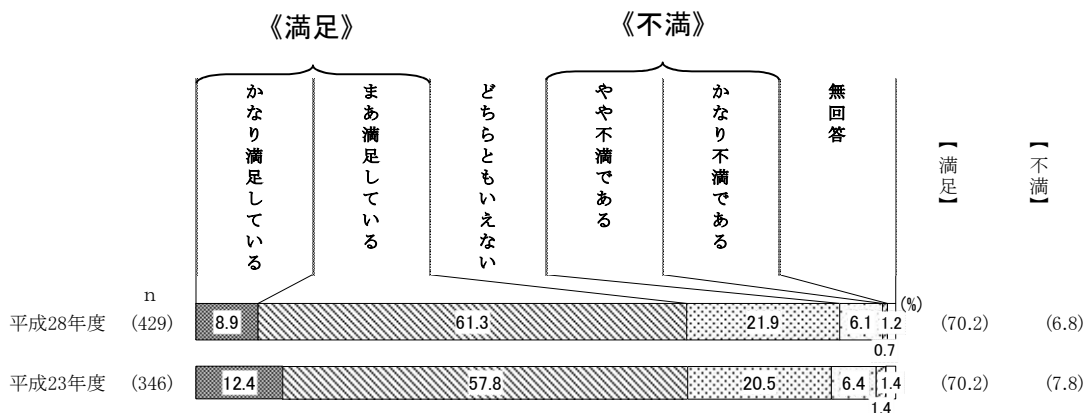
居住地域での暮らしやすさの総合満足度（年齢別/居住年数別/地区別）

（単位：％）

		調査数 (件)	かなり満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	かなり不満である	無回答
全 体		429	8.9	61.3	21.9	6.1	0.7	1.2
年 齢 別	20～39歳	70	7.1	61.4	22.9	7.1	-	1.4
	40～54歳	95	8.4	61.1	22.1	6.3	1.1	1.1
	55～64歳	77	9.1	67.5	19.5	2.6	-	1.3
	65～74歳	113	8.0	54.0	26.5	8.8	0.9	1.8
	75歳以上	59	13.6	67.8	16.9	1.7	-	-
居 住 年 数 別	5年未満	36	5.6	63.9	16.7	8.3	5.6	-
	5～9年	32	6.3	71.9	15.6	6.3	-	-
	10～19年	63	6.3	65.1	22.2	4.8	-	1.6
	20～29年	64	9.4	48.4	29.7	7.8	1.6	3.1
	30～39年	92	12.0	62.0	21.7	3.3	-	1.1
	40年以上	122	9.8	63.9	20.5	4.9	-	0.8
地 区 別	小作台・栄町	81	9.9	67.9	18.5	1.2	-	2.5
	川崎・玉川・羽・羽東	55	7.3	60.0	20.0	10.9	-	1.8
	神明台	61	4.9	63.9	21.3	6.6	-	3.3
	富士見平・双葉町	60	6.7	60.0	23.3	6.7	3.3	-
	羽加美・羽西・羽中	88	11.4	59.1	22.7	6.8	-	-
	五ノ神・緑ヶ丘	75	10.7	60.0	25.3	2.7	1.3	-

<前回比較>

前回調査と比較すると、“満足率”に変化は見られない。



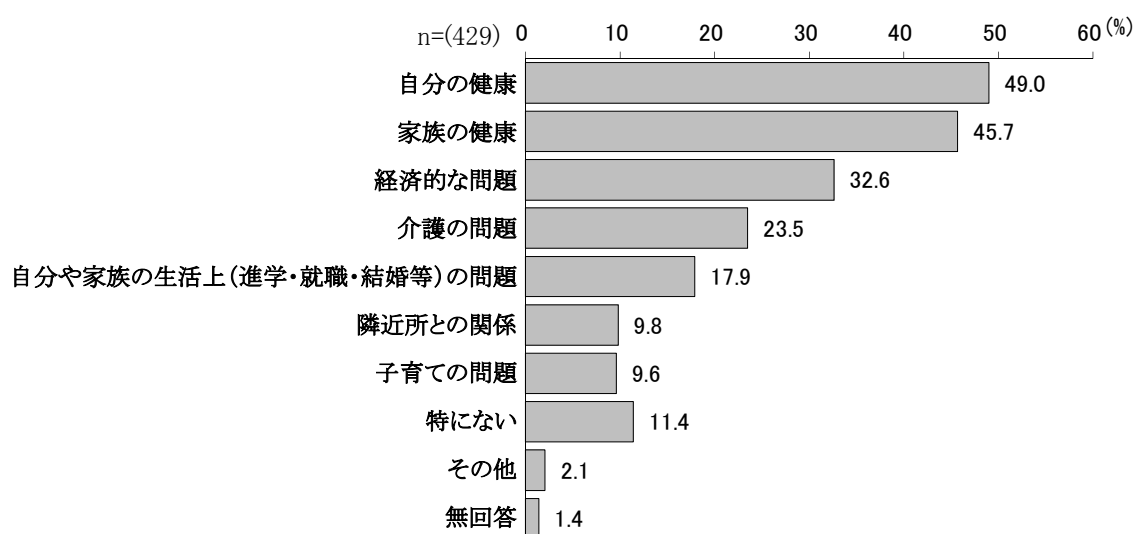
3. 毎日の暮らしで感じている悩みや不安

(1) 毎日の暮らしで感じている悩みや不安

問3 あなたは、毎日の暮らしのなかで、どのような悩みや不安を感じていますか。(○は3つまで)

毎日の暮らしで感じている悩みや不安については、「自分の健康」(49.0%)と「家族の健康」(45.7%)と健康に関することが上位に挙げられている。次いで「経済的な問題」(32.6%)、「介護の問題」(23.5%)が続いている。

毎日の暮らしで感じている悩みや不安



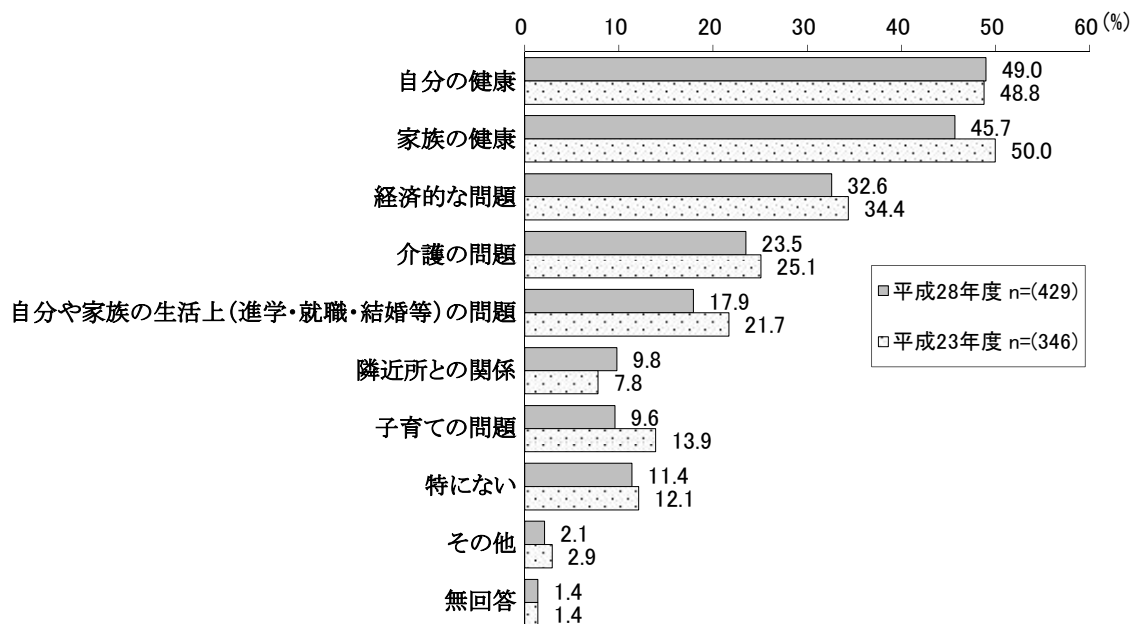
毎日の暮らしで感じている悩みや不安（年齢別）

（単位：％）

		調査数 (件)	自分の健康	家族の健康	経済的な問題	介護の問題	自分や家族の生活上 (進学・就職・結婚等)の問題	隣近所との関係	子育ての問題	特にない	その他	無回答
全体		429	49.0	45.7	32.6	23.5	17.9	9.8	9.6	11.4	2.1	1.4
年齢別	20～39歳	70	30.0	31.4	42.9	7.1	30.0	11.4	31.4	14.3	-	-
	40～54歳	95	40.0	40.0	36.8	17.9	29.5	9.5	15.8	6.3	5.3	4.2
	55～64歳	77	53.2	49.4	35.1	26.0	18.2	9.1	-	9.1	2.6	1.3
	65～74歳	113	54.9	54.9	26.5	27.4	7.1	8.8	-	14.2	1.8	0.9
	75歳以上	59	62.7	52.5	23.7	40.7	6.8	8.5	5.1	13.6	-	-

<前回比較>

前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。



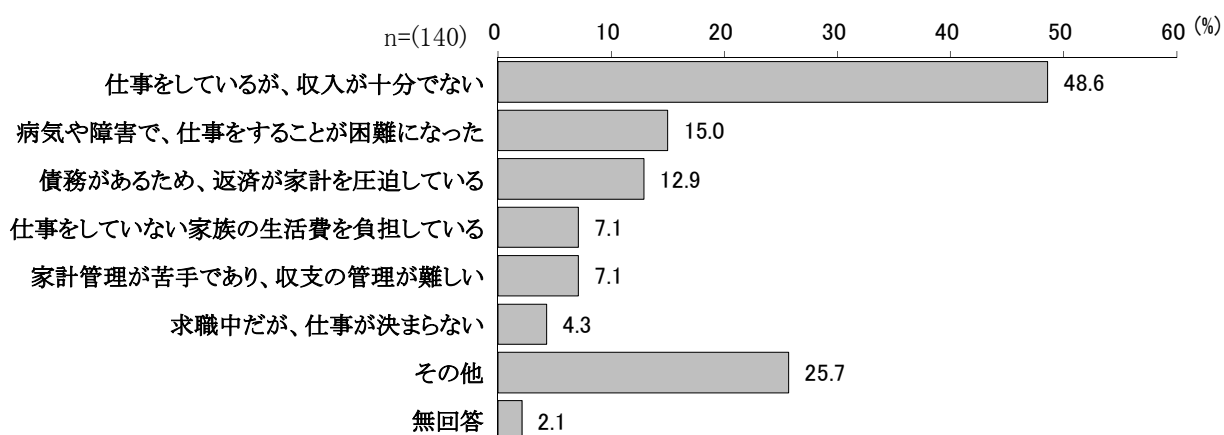
(2) 経済的な問題が生じている理由

《問3で「経済的な問題」に○をつけた方におうかがいします》

問3-1 経済的な問題が生じている理由としてはどんなものが考えられますか。(あてはまるものすべてに○)

経済的な問題が生じている理由については、「仕事をしているが、収入が十分でない」が48.6%で最も多く、次いで「病気や障害で、仕事をするのが困難になった」(15.0%)、「債務があるため、返済が家計を圧迫している」(12.9%)と続いている。

経済的な問題が生じている理由

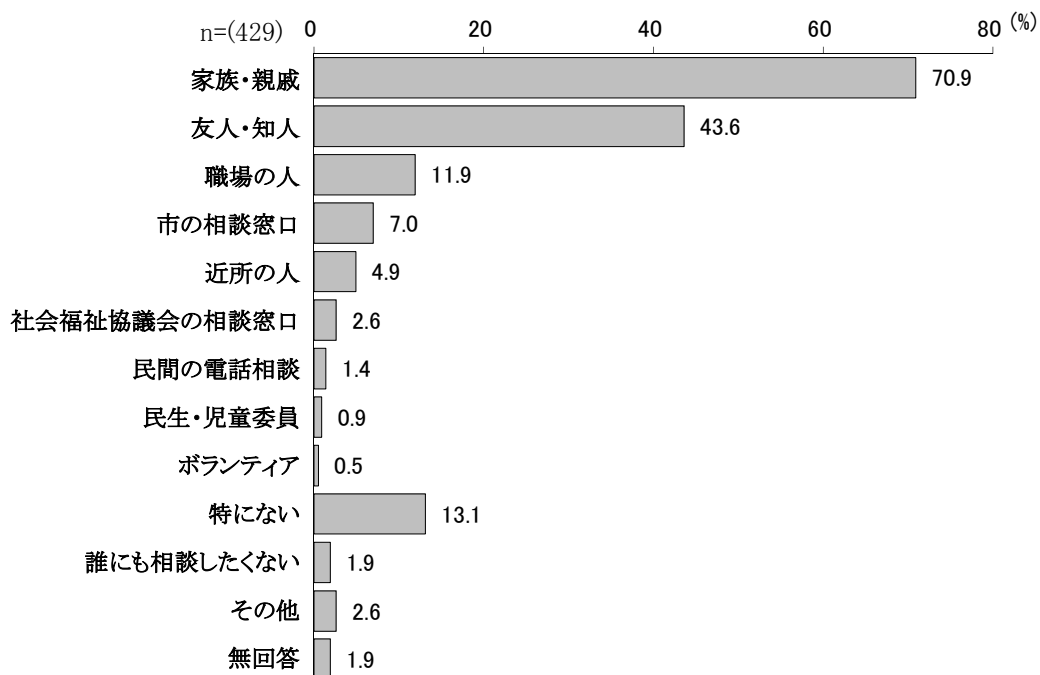


4. 悩みや不安の相談相手

問4 悩みや不安がある時には、誰に相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

悩みや不安の相談相手については、「家族・親戚」が70.9%で最も多く、次いで「友人・知人」(43.6%)、「職場の人」(11.9%)と続いている。

悩みや不安の相談相手



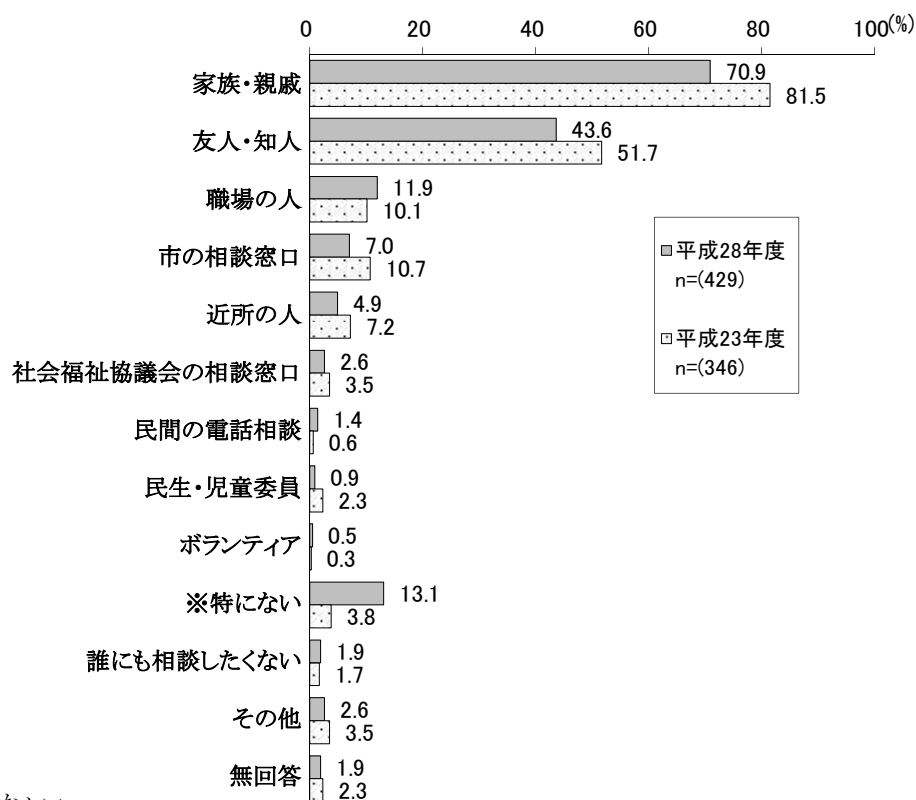
悩みや不安の相談相手(年齢別)

(単位：%)

		調査数 (件)	家族・親戚	友人・知人	職場の人	市の相談窓口	近所の人	口 社会福祉協議会の相談窓	民間の電話相談	民生・児童委員	ボランティア	特 にない	誰 にも相談したくない
全 体		429	70.9	43.6	11.9	7.0	4.9	2.6	1.4	0.9	0.5	13.1	1.9
年 齢 別	20～39歳	70	82.9	72.9	24.3	2.9	1.4	-	1.4	1.4	-	1.4	5.7
	40～54歳	95	70.5	44.2	24.2	7.4	4.2	4.2	2.1	-	-	12.6	1.1
	55～64歳	77	74.0	41.6	10.4	6.5	5.2	1.3	1.3	-	-	13.0	3.9
	65～74歳	113	64.6	32.7	1.8	7.1	4.4	2.7	1.8	-	0.9	20.4	-
	75歳以上	59	67.8	30.5	1.7	11.9	8.5	5.1	-	5.1	1.7	10.2	-

<前回比較>

前回調査と比較すると、「家族・親戚」は前回より10.6ポイント減少している。



※前回調査では「誰もいない」

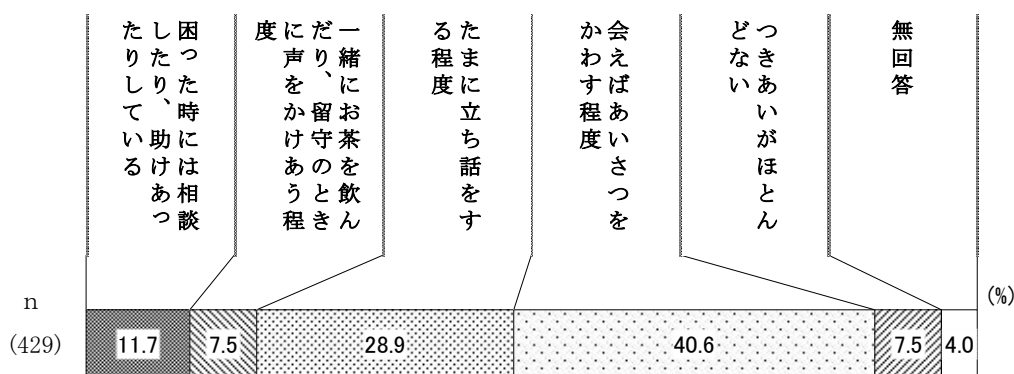
5. 隣近所とのつきあい方

(1) 隣近所とのつきあい方

問5 あなたは、日頃、隣近所とどのようなつきあい方をしていますか。(〇はひとつ)

隣近所とのつきあい方については、「会えばあいさつをかわす程度」が40.6%で最も多く、次いで「たまに立ち話をする程度」(28.9%)と続いている。

隣近所とのつきあい方



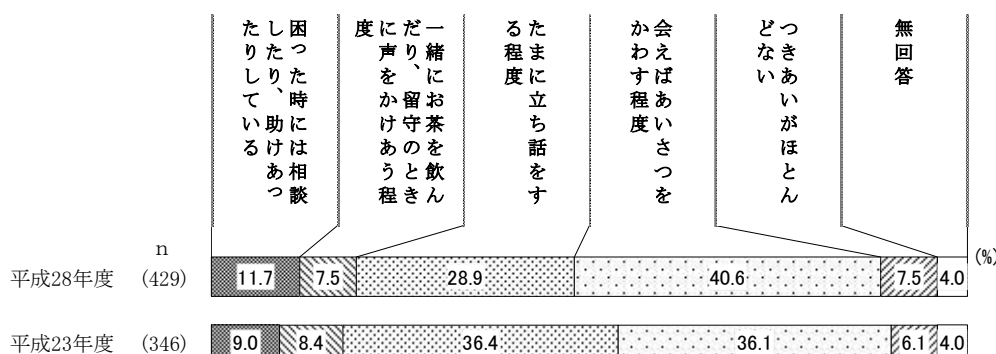
隣近所とのつきあい方(性別/年齢別/居住年数別/地区別)

(単位：%)

		調査数(件)	けあつたりしている	困った時には相談したり、助	一緒に、留守のときにお茶を飲んだり、留守のときに声をかけあう程度	たまに立ち話をする程度	会えばあいさつをかわす程度	つきあいがほとんどない	無回答
全体		178	6.7	6.2	25.8	48.3	9.6	3.4	
性別	男性	246	15.4	8.1	30.1	35.8	6.1	4.5	
	女性	70	8.6	1.4	14.3	57.1	17.1	1.4	
年齢別	20～39歳	95	12.6	3.2	17.9	54.7	8.4	3.2	
	40～54歳	77	9.1	2.6	37.7	39.0	5.2	6.5	
	55～64歳	113	8.0	11.5	37.2	31.9	5.3	6.2	
	65～74歳	59	23.7	16.9	35.6	20.3	3.4	-	
	75歳以上	178	6.7	6.2	25.8	48.3	9.6	3.4	
居住年数別	5年未満	36	11.1	2.8	19.4	52.8	11.1	2.8	
	5～9年	32	12.5	-	15.6	62.5	6.3	3.1	
	10～19年	63	11.1	-	27.0	44.4	14.3	3.2	
	20～29年	64	6.3	1.6	20.3	54.7	14.1	3.1	
	30～39年	92	12.0	10.9	33.7	30.4	4.3	8.7	
	40年以上	122	15.6	13.9	32.0	32.8	3.3	2.5	
地区別	小作台・栄町	81	14.8	7.4	30.9	38.3	4.9	3.7	
	川崎・玉川・羽・羽東	55	12.7	3.6	29.1	43.6	5.5	5.5	
	神明台	61	11.5	4.9	27.9	42.6	11.5	1.6	
	富士見平・双葉町	60	13.3	6.7	20.0	41.7	13.3	5.0	
	羽加美・羽西・羽中	88	11.4	9.1	28.4	38.6	6.8	5.7	
	五ノ神・緑ヶ丘	75	5.3	10.7	33.3	44.0	4.0	2.7	

<前回比較>

前回調査と比較すると、「たまに立ち話をする程度」は前回より7.5ポイント減少している。

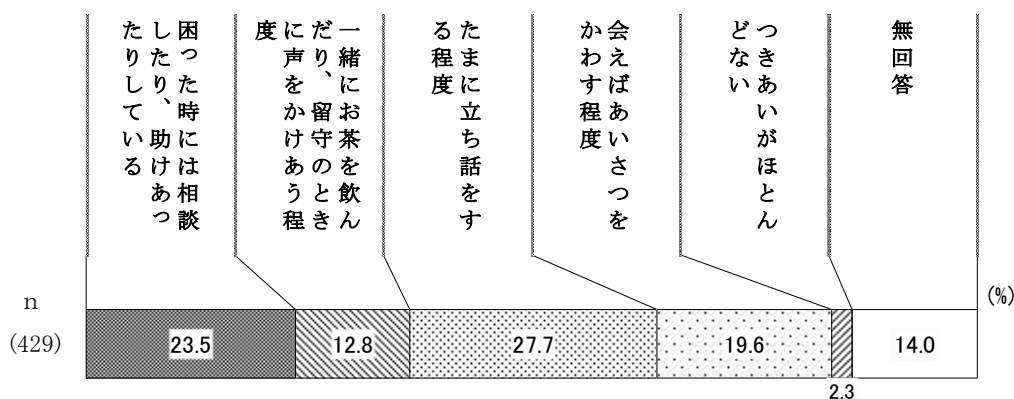


(2) 今後希望するつきあい方

問5-1 今後、隣近所とはどの程度のつきあい方を望んでいますか。問5の選択肢の番号を下の口に記入してください。(選択はひとつ)

今後希望するつきあい方については、「たまに立ち話をする程度」が27.7%で最も多く、次いで「困った時には相談したり、助けあったりしている」(23.5%)、「会えばあいさつをかわす程度」(19.6%)と続いている。

今後希望するつきあい方



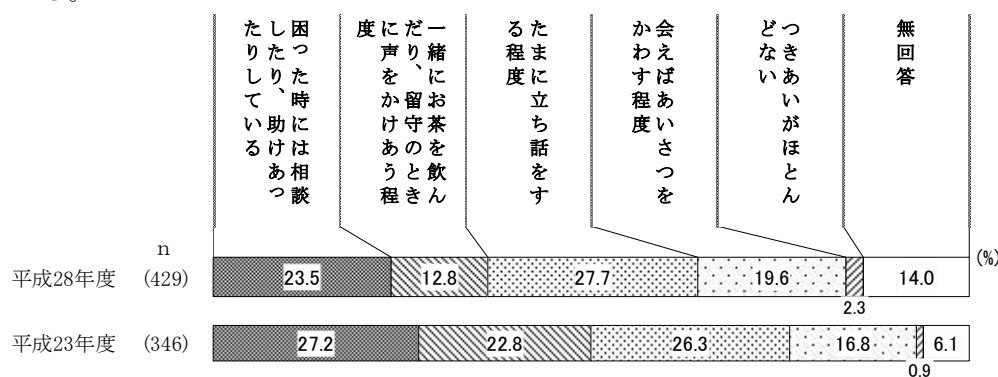
今後希望するつきあい方(性別/年齢別/居住年数別/地区別)

(単位：%)

		調査数 (件)	困った時には相談したり、助けあったりしている	一緒にお茶を飲んだり、留守のときに声をかけあう程度	たまに立ち話をする程度	会えばあいさつをかわす程度	つきあいがほとんどない	無回答
全体		429	23.5	12.8	27.7	19.6	2.3	14.0
性別	男性	178	23.0	14.0	23.6	25.8	3.9	9.6
	女性	246	24.4	12.2	30.1	15.4	1.2	16.7
年齢別	20～39歳	70	17.1	7.1	35.7	31.4	2.9	5.7
	40～54歳	95	23.2	7.4	31.6	23.2	3.2	11.6
	55～64歳	77	23.4	10.4	31.2	24.7	2.6	7.8
	65～74歳	113	19.5	22.1	24.8	15.0	1.8	16.8
	75歳以上	59	40.7	11.9	15.3	5.1	1.7	25.4
居住年数別	5年未満	36	22.2	13.9	22.2	25.0	2.8	13.9
	5～9年	32	18.8	6.3	37.5	28.1	-	9.4
	10～19年	63	22.2	4.8	31.7	23.8	6.3	11.1
	20～29年	64	15.6	10.9	28.1	31.3	3.1	10.9
	30～39年	92	33.7	17.4	21.7	12.0	3.3	12.0
	40年以上	122	23.8	15.6	30.3	13.9	-	16.4
地区別	小作台・栄町	81	25.9	12.3	32.1	12.3	3.7	13.6
	川崎・玉川・羽・羽東	55	25.5	16.4	30.9	16.4	-	10.9
	神明台	61	24.6	4.9	23.0	27.9	3.3	16.4
	富士見平・双葉町	60	28.3	8.3	18.3	25.0	5.0	15.0
	羽加美・羽西・羽中	88	22.7	11.4	29.5	20.5	-	15.9
	五ノ神・緑ヶ丘	75	16.0	22.7	29.3	18.7	2.7	10.7

<前回比較>

前回調査と比較すると、「一緒にお茶を飲んだり、留守のときに声をかけあう程度」は前回より10.0ポイント減少している。



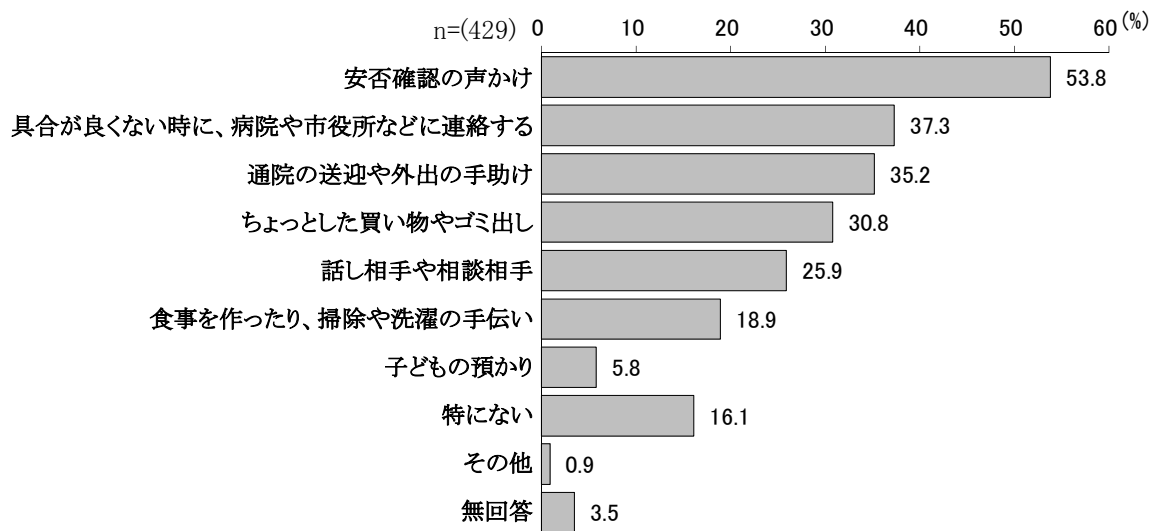
6. 日常生活が不自由になったとき地域の人にしてほしいこと・自分にできること

(1) 日常生活が不自由になったとき地域の人にしてほしいこと

問6 あなたが、将来高齢になったときや、病気や事故などで日常生活が不自由になったとき、地域の人にどのようなことをしてほしいですか。(あてはまるものすべてに○)

日常生活が不自由になったとき地域の人にしてほしいことについては、「安否確認の声かけ」が53.8%で最も多く、次いで「具合が良くない時に、病院や市役所などに連絡する」(37.3%)、「通院の送迎や外出の手助け」(35.2%)、「ちょっとした買い物やゴミ出し」(30.8%)が3割台で続いている。

日常生活が不自由になったとき地域の人にしてほしいこと



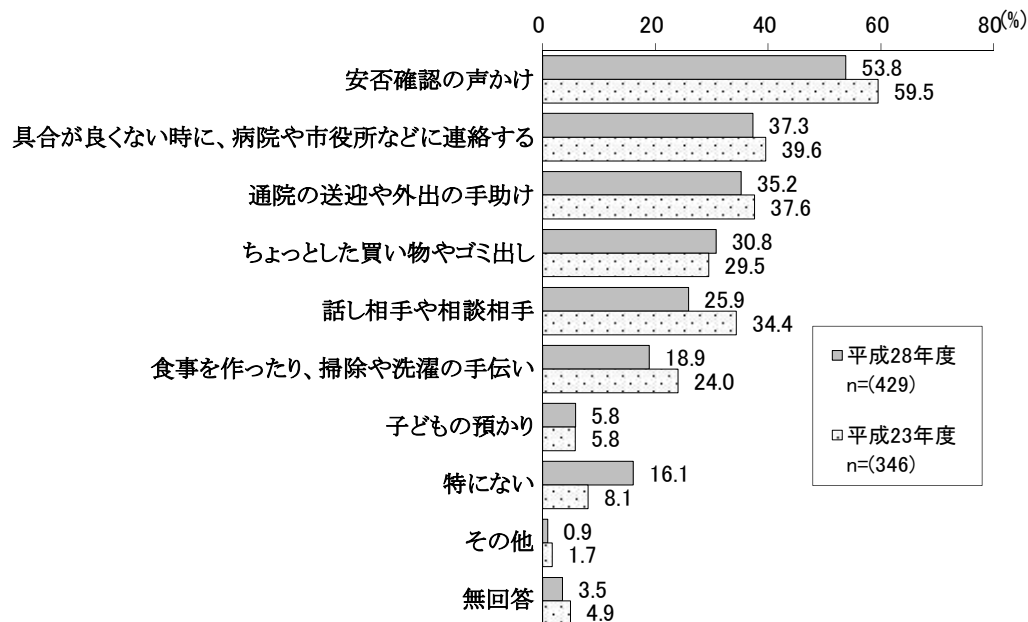
日常生活が不自由になったとき地域の人にしてほしいこと（年齢別）

（単位：％）

		調査数（件）	安否確認の声かけ	具合が良くない時に、病院や市役所などに連絡する	通院の送迎や外出の手助け	ちょっとした買い物やゴミ出し	話し相手や相談相手	食事を作ったり、掃除や洗濯の手伝い	子どもの預かり	特にない	その他	無回答
全 体		429	53.8	37.3	35.2	30.8	25.9	18.9	5.8	16.1	0.9	3.5
年 齢 別	20～39歳	70	60.0	41.4	22.9	22.9	30.0	15.7	12.9	10.0	2.9	1.4
	40～54歳	95	53.7	46.3	40.0	35.8	29.5	24.2	12.6	9.5	-	3.2
	55～64歳	77	54.5	27.3	24.7	22.1	20.8	10.4	-	26.0	1.3	-
	65～74歳	113	48.7	31.0	38.1	31.0	19.5	18.6	-	21.2	-	4.4
	75歳以上	59	52.5	39.0	45.8	37.3	32.2	20.3	-	11.9	1.7	6.8

<前回比較>

前回調査と比較すると、「話し相手や相談相手」は前回より8.5ポイント減少している。

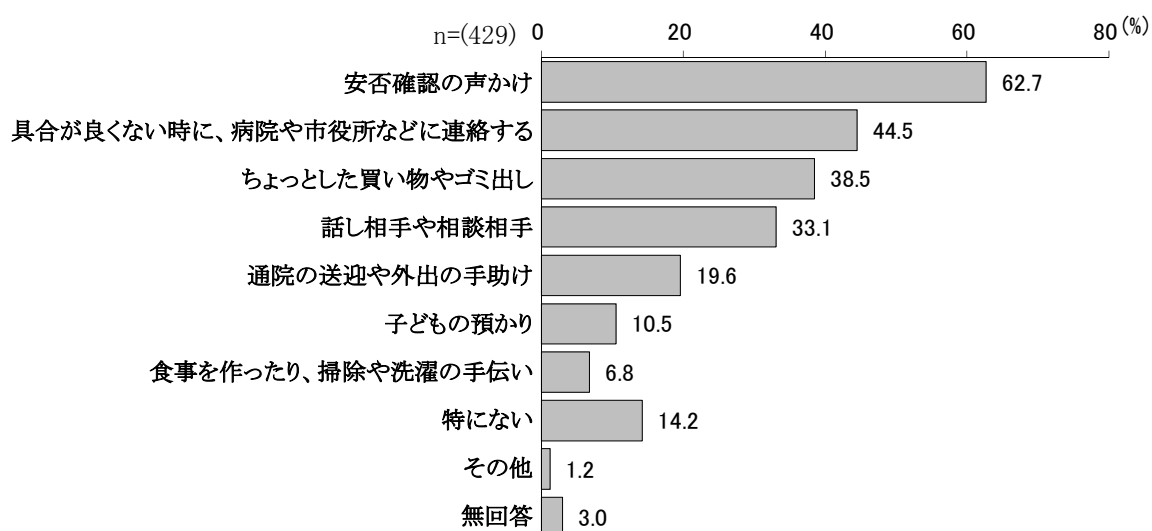


(2) 日常生活が不自由になった家庭があったとき自分にできること

問6-1 あなたがお住まいの地域で、日常生活を送るうえで心配な方や、高齢、障害、子育てなどで困っているご家庭があった場合、あなたにできることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

日常生活が不自由になった家庭があったとき自分にできることについては、「安否確認の声かけ」が62.7%で最も多く、次いで「具合が良くない時に、病院や市役所などに連絡する」(44.5%)、「ちょっとした買い物やゴミ出し」(38.5%)と続いている。

日常生活が不自由になった家庭があったとき自分にできること



日常生活が不自由になった家庭があったとき自分にできること（年齢別）

（単位：％）

		調査数 (件)	安否確認の 声かけ	具合が良くない時に、 病院や市役所などに 連絡する	ちよつとした 買い物やゴミ 出し	話し相手や 相談相手	通院の送迎や 外出の手助け	子どもの預かり	食事を作ったり、 掃除や洗濯の 手伝い	特 に ない	その他	無 回 答
全 体		429	62.7	44.5	38.5	33.1	19.6	10.5	6.8	14.2	1.2	3.0
年 齢 別	20～39歳	70	54.3	45.7	30.0	41.4	11.4	10.0	5.7	18.6	1.4	-
	40～54歳	95	61.1	50.5	37.9	25.3	21.1	11.6	6.3	13.7	1.1	3.2
	55～64歳	77	66.2	42.9	40.3	28.6	18.2	13.0	7.8	18.2	-	1.3
	65～74歳	113	69.0	37.2	43.4	27.4	20.4	8.0	5.3	10.6	-	2.7
	75歳以上	59	59.3	47.5	35.6	45.8	25.4	6.8	6.8	11.9	3.4	6.8

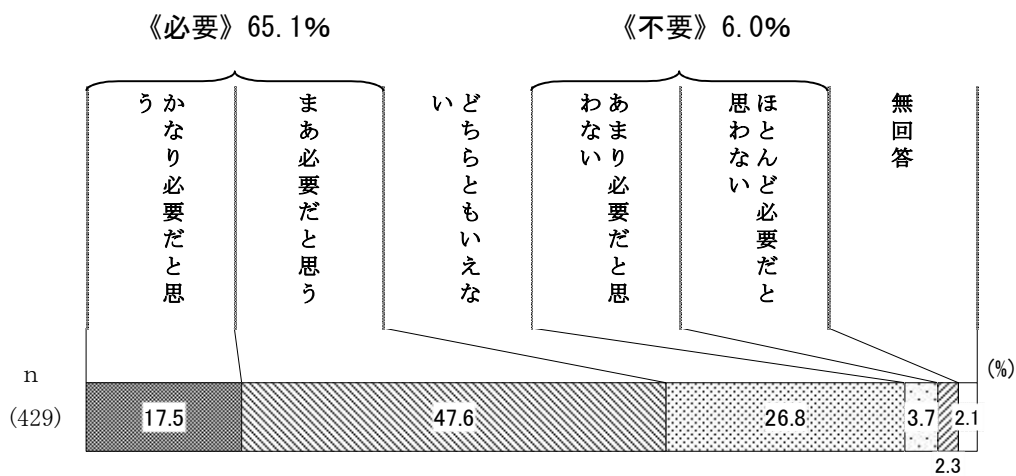
7. 地域生活での問題に対する住民相互の協力関係

(1) 住民相互の協力関係の必要性

問7 あなたは、地域での生活で生じる問題に対して、住民相互の自主的な協力関係が必要だと思いますか。(〇はひとつ)

住民相互の協力関係の必要性については、「まあ必要だと思う」が47.6%で最も多く、「かなり必要だと思う」(17.5%)を合わせた“必要”は65.1%となっている。一方、「あまり必要だと思わない」(3.7%)と「ほとんど必要だと思わない」(2.3%)を合わせた“不要”は6.0%にとどまっている。

住民相互の協力関係の必要性



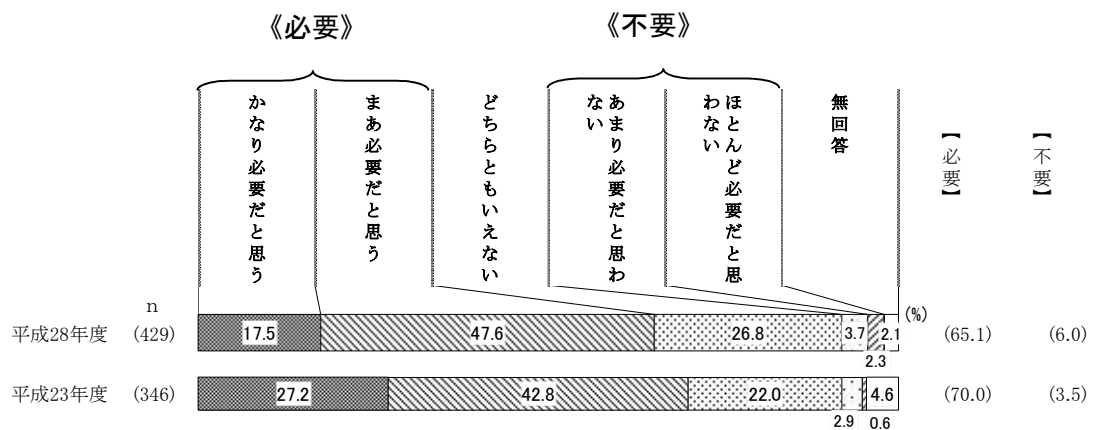
住民相互の協力関係の必要性（年齢別/地区別）

（単位：％）

		調査数 (件)	かなり必要だと思う	まあ必要だと思う	どちらともいえない	あまり必要だと思わない	ほとんど必要だと思わない	無回答
全 体		429	17.5	47.6	26.8	3.7	2.3	2.1
年 齢 別	20～39歳	70	8.6	55.7	28.6	5.7	1.4	-
	40～54歳	95	23.2	42.1	29.5	1.1	4.2	-
	55～64歳	77	6.5	51.9	32.5	5.2	2.6	1.3
	65～74歳	113	16.8	49.6	27.4	2.7	2.7	0.9
	75歳以上	59	30.5	40.7	16.9	3.4	-	8.5
地 区 別	小作台・栄町	81	16.0	53.1	24.7	3.7	1.2	1.2
	川崎・玉川・羽・羽東	55	14.5	52.7	25.5	3.6	3.6	-
	神明台	61	14.8	44.3	32.8	3.3	1.6	3.3
	富士見平・双葉町	60	26.7	43.3	20.0	5.0	3.3	1.7
	羽加美・羽西・羽中	88	14.8	51.1	28.4	1.1	3.4	1.1
	五ノ神・緑ヶ丘	75	17.3	41.3	29.3	5.3	1.3	5.3

<前回調査>

前回調査と比較すると、“必要”は前回より4.9ポイント減少している。

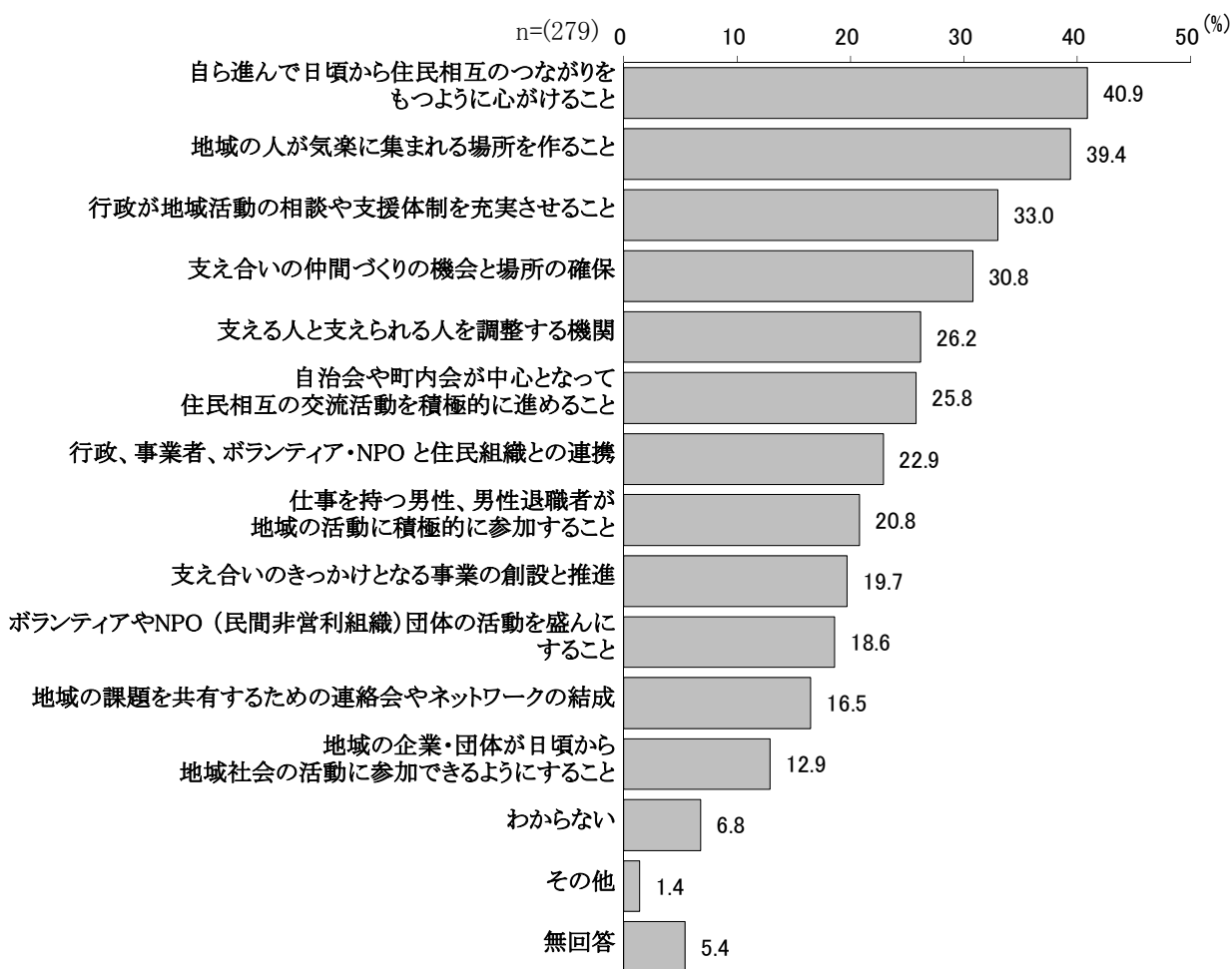


(2) 住民相互の協力関係で必要だと思うこと

《問7で「かなり必要だと思う」「まあ必要だと思う」に○をつけた方におうかがいします》
 問7-1 どんなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

住民相互の協力関係で必要だと思うことについては、「自ら進んで日頃から住民相互のつながりをもつように心がけること」が40.9%で最も多く、次いで「地域の人気が楽に集まれる場所を作ること」(39.4%)、「行政が地域活動の相談や支援体制を充実させること」(33.0%)、「支え合いの仲間づくりの機会と場所の確保」(30.8%)が3割台で続いている。

住民相互の協力関係で必要だと思うこと



住民相互の協力関係で必要だと思うこと（年齢別/地区別）

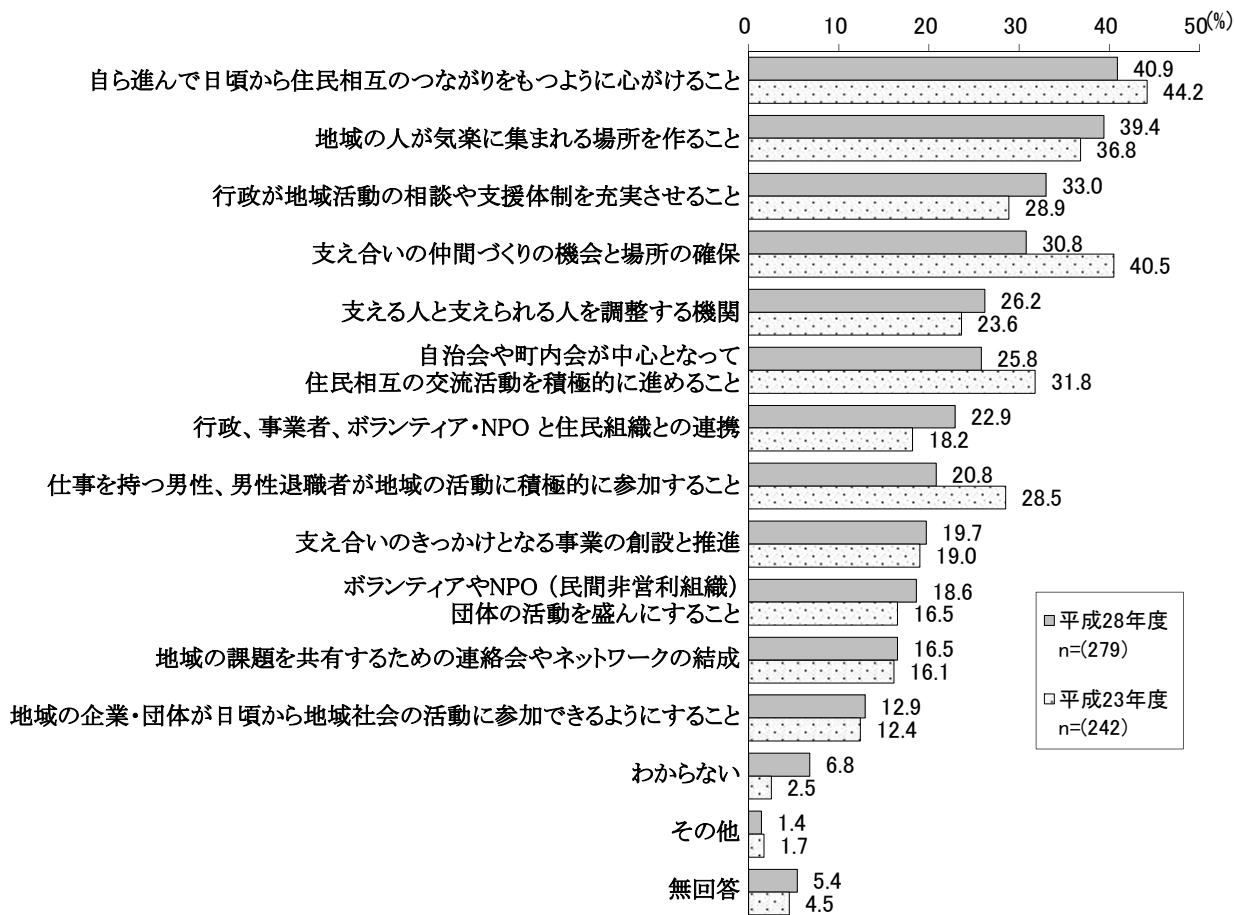
（単位：％）

		調査数（件）	自ら進んで日頃から住民相互のつながりをもつように心がけること	地域の人が気楽に集まれる場所を作ること	行政が地域活動の相談や支援体制を充実させること	支え合いの仲間づくりの機会と場所の確保	支える人と支えられる人を調整する機関	自治会や町内会が中心小なつて住民相互の交流活動を積極的に進めること	行政、事業者、ボランティア・NPOと住民組織との連携	仕事を持つ男性、男性退職者が地域の活動に積極的に参加すること
全体		279	40.9	39.4	33.0	30.8	26.2	25.8	22.9	20.8
年齢別	20～39歳	45	35.6	53.3	20.0	40.0	13.3	15.6	13.3	13.3
	40～54歳	62	38.7	25.8	35.5	29.0	33.9	14.5	24.2	21.0
	55～64歳	45	37.8	31.1	24.4	26.7	35.6	28.9	20.0	13.3
	65～74歳	75	38.7	44.0	41.3	25.3	25.3	26.7	29.3	24.0
	75歳以上	42	61.9	45.2	35.7	38.1	23.8	47.6	21.4	23.8
地区別	小作台・栄町	56	35.7	37.5	23.2	21.4	25.0	17.9	19.6	25.0
	川崎・玉川・羽・羽東	37	51.4	32.4	35.1	32.4	32.4	35.1	27.0	18.9
	神明台	36	41.7	44.4	36.1	38.9	27.8	25.0	22.2	13.9
	富士見平・双葉町	42	47.6	45.2	40.5	28.6	23.8	26.2	26.2	14.3
	羽加美・羽西・羽中	58	32.8	32.8	31.0	27.6	22.4	24.1	19.0	24.1
	五ノ神・緑ヶ丘	44	45.5	47.7	31.8	43.2	29.5	29.5	25.0	20.5

		調査数（件）	支え合いのきっかけとなる事業の創設と推進	ボランティアやNPO（民間非営利組織）団体の活動を盛んにすること	地域の課題を共有するための連絡会やネットワークの結成	地域の企業・団体が日頃から地域社会の活動に参加できるようにすること	わからない	その他	無回答
全体		279	19.7	18.6	16.5	12.9	6.8	1.4	5.4
年齢別	20～39歳	45	22.2	4.4	6.7	13.3	17.8	2.2	4.4
	40～54歳	62	17.7	21.0	24.2	9.7	8.1	-	8.1
	55～64歳	45	24.4	11.1	20.0	6.7	4.4	-	2.2
	65～74歳	75	14.7	26.7	9.3	16.0	2.7	2.7	6.7
	75歳以上	42	21.4	16.7	23.8	16.7	-	2.4	4.8
地区別	小作台・栄町	56	16.1	19.6	10.7	5.4	8.9	-	5.4
	川崎・玉川・羽・羽東	37	27.0	13.5	18.9	13.5	5.4	2.7	2.7
	神明台	36	19.4	19.4	22.2	19.4	2.8	2.8	8.3
	富士見平・双葉町	42	21.4	11.9	19.0	14.3	7.1	2.4	7.1
	羽加美・羽西・羽中	58	15.5	19.0	13.8	6.9	6.9	-	3.4
	五ノ神・緑ヶ丘	44	20.5	22.7	18.2	20.5	4.5	2.3	6.8

<前回調査>

前回調査と比較すると、「支え合いの仲間づくりの機会と場所の確保」は前回より9.7ポイント減少し、順位も2位から4位に下がっている。

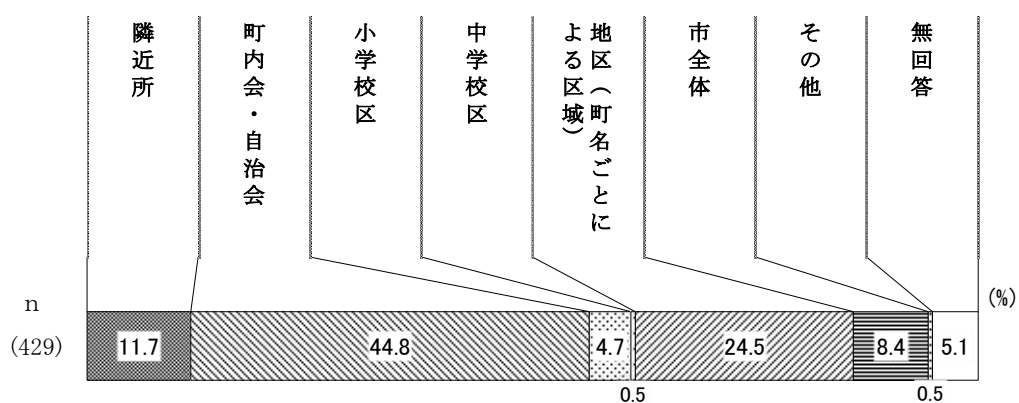


8. 「地域」と聞いて思い浮かべる範囲

問8 あなたは、「地域」という言葉を聞いたとき、どの範囲を思い浮かべますか。(〇はひとつ)

「地域」と聞いて思い浮かべる範囲については、「町内会・自治会」が44.8%で最も多く、次いで「地区(町名ごとによる区域)」(24.5%)、「隣近所」(11.7%)と続いている。

「地域」と聞いて思い浮かべる範囲



第3章 調査結果の詳細

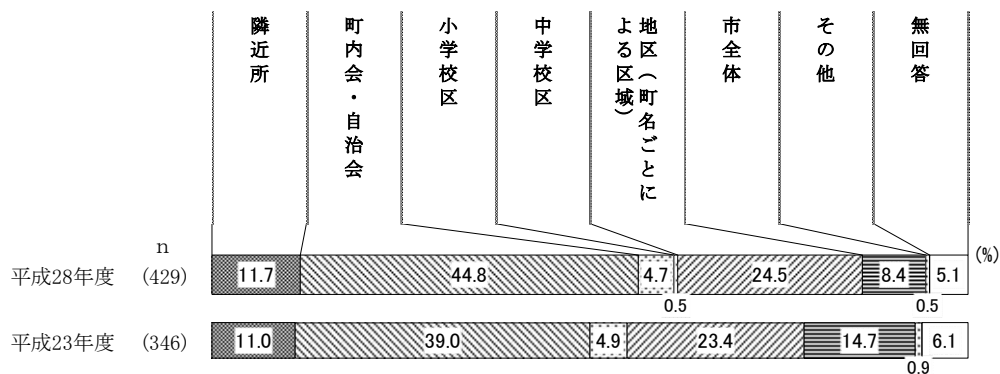
「地域」と聞いて思い浮かべる範囲（年齢別/地区別）

（単位：％）

		調査数 (件)	隣近所	町内会・自治会	小学校区	中学校区	地区 (町名ごとによる区域)	市全体	その他	無回答
全体		429	11.7	44.8	4.7	0.5	24.5	8.4	0.5	5.1
年齢別	20～39歳	70	8.6	35.7	15.7	-	25.7	11.4	-	2.9
	40～54歳	95	7.4	45.3	7.4	2.1	23.2	8.4	-	6.3
	55～64歳	77	7.8	44.2	-	-	36.4	9.1	-	2.6
	65～74歳	113	12.4	50.4	0.9	-	23.0	6.2	1.8	5.3
	75歳以上	59	23.7	45.8	1.7	-	13.6	6.8	-	8.5
地区別	小作台・栄町	81	8.6	38.3	7.4	-	35.8	7.4	-	2.5
	川崎・玉川・羽・羽東	55	10.9	50.9	1.8	-	27.3	3.6	1.8	3.6
	神明台	61	13.1	27.9	1.6	1.6	31.1	18.0	-	6.6
	富士見平・双葉町	60	13.3	46.7	6.7	-	13.3	11.7	1.7	6.7
	羽加美・羽西・羽中	88	13.6	52.3	2.3	-	22.7	5.7	-	3.4
	五ノ神・緑ヶ丘	75	10.7	49.3	8.0	1.3	16.0	5.3	-	9.3

<前回比較>

前回調査と比較すると、「町内会・自治会」は前回より5.8ポイント増加している。

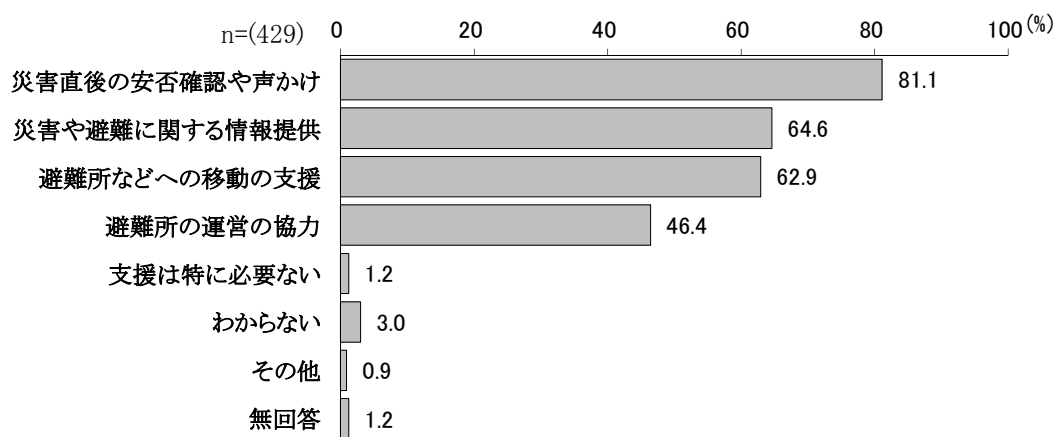


9. 災害時における住民間の相互支援

問9 あなたは、災害がおこった場合に、住民がお互いにどのような支援をする必要があると考えますか。(あてはまるものすべてに○)

災害時における住民間の相互支援については、「災害直後の安否確認や声かけ」が81.1%で最も多く、次いで「災害や避難に関する情報提供」(64.6%)、「避難所などへの移動の支援」(62.9%)が6割台で続いている。

災害時における住民間の相互支援



災害時における住民間の相互支援(年齢別)

(単位：%)

	調査数(件)	災害直後の安否確認や声かけ	災害や避難に関する情報提供	避難所などへの移動の支援	避難所の運営の協力	支援は特に必要ない	わからない	その他	無回答	
全体	429	81.1	64.6	62.9	46.4	1.2	3.0	0.9	1.2	
年齢別	20～39歳	70	81.4	74.3	65.7	58.6	-	4.3	1.4	1.4
	40～54歳	95	77.9	60.0	55.8	47.4	-	2.1	2.1	-
	55～64歳	77	89.6	70.1	64.9	51.9	-	1.3	-	-
	65～74歳	113	79.6	55.8	65.5	36.3	2.7	3.5	0.9	2.7
	75歳以上	59	81.4	71.2	62.7	42.4	3.4	1.7	-	-

Ⅲ. 行政と地域住民との関わりについて

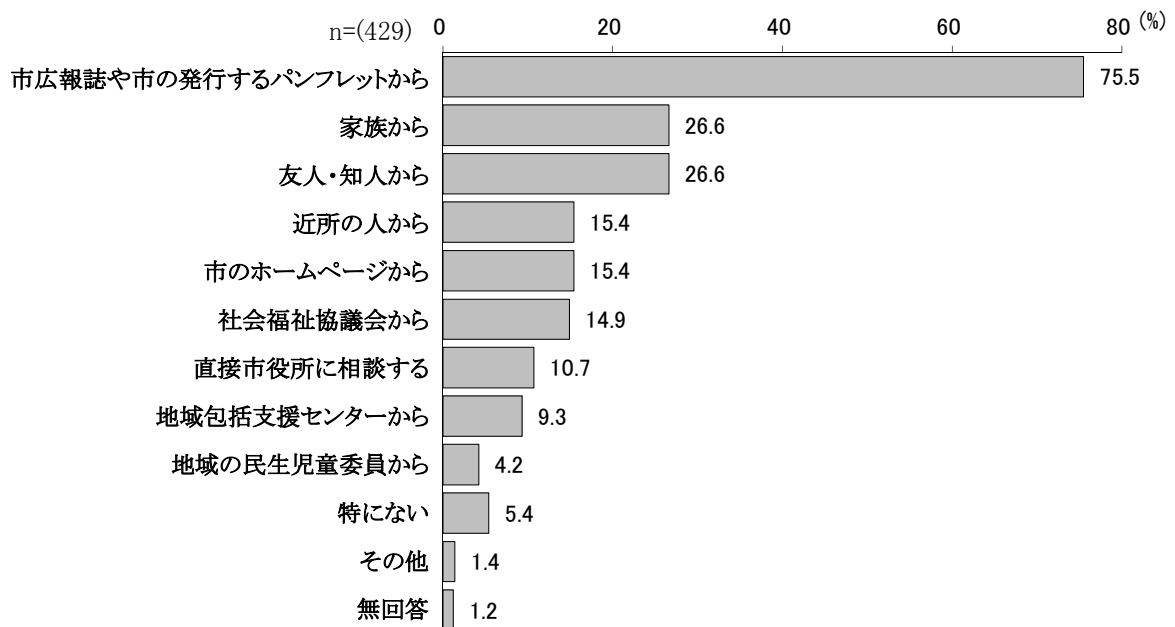
1. 行政や福祉サービスに関する情報入手先

(1) 行政や福祉サービスに関する情報入手先

問10 あなたは、行政や福祉サービスに関する情報をどのように入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

行政や福祉サービスに関する情報入手先については、「市広報誌や市の発行するパンフレットから」が75.5%で最も多く、次いで「家族から」(26.6%)、「友人・知人から」(26.6%)が2割台で続いている。

行政や福祉サービスに関する情報入手先



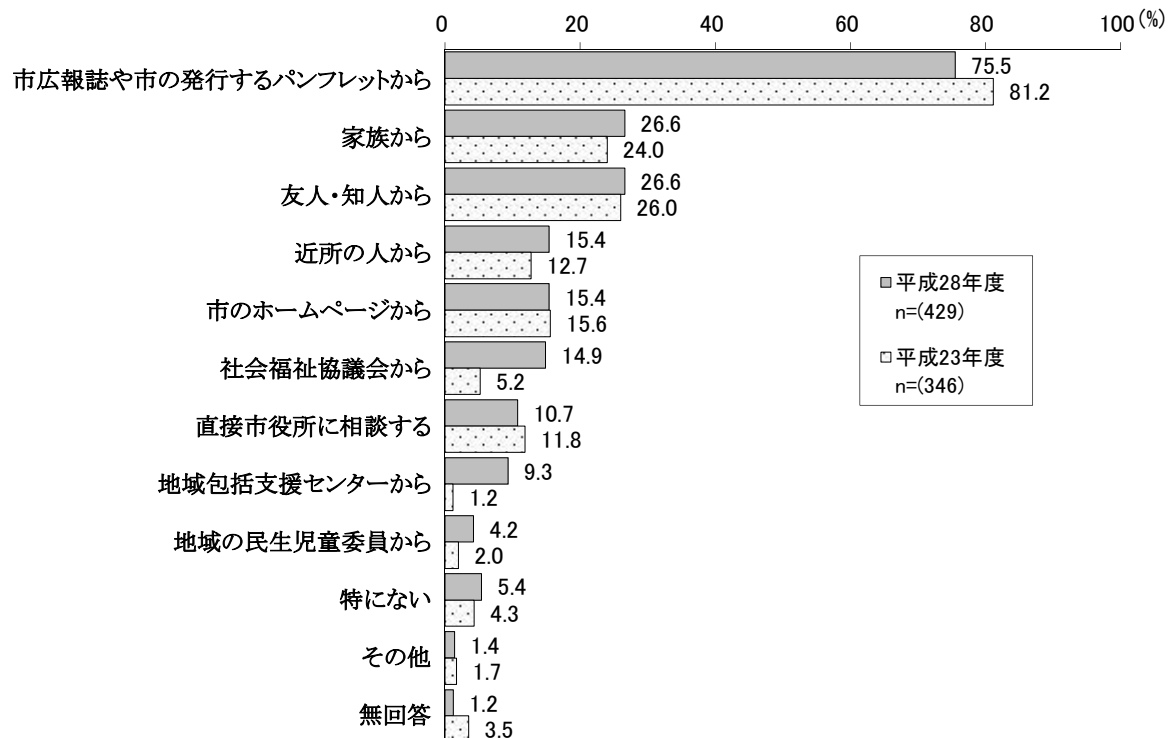
行政や福祉サービスに関する情報入手先(年齢別)

(単位：%)

		調査数 (件)	市広報誌や市の発行する パンフレットから	家族から	友人・知人から	近所の人から	市のホームページから	社会福祉協議会から	直接市役所に相談する	地域包括支援センターから	地域の民生児童委員から	特にない	その他	無回答
全体		429	75.5	26.6	26.6	15.4	15.4	14.9	10.7	9.3	4.2	5.4	1.4	1.2
年齢別	20～39歳	70	61.4	45.7	14.3	4.3	20.0	5.7	5.7	5.7	-	11.4	2.9	1.4
	40～54歳	95	75.8	26.3	20.0	9.5	20.0	11.6	10.5	9.5	4.2	5.3	2.1	-
	55～64歳	77	85.7	18.2	27.3	15.6	16.9	10.4	16.9	5.2	3.9	3.9	1.3	-
	65～74歳	113	79.6	21.2	30.1	21.2	8.8	21.2	8.0	10.6	3.5	3.5	0.9	0.9
	75歳以上	59	76.3	28.8	40.7	25.4	11.9	18.6	13.6	15.3	10.2	1.7	-	3.4

<前回比較>

前回調査と比較すると、「社会福祉協議会から」は前回より9.7ポイント増加している。



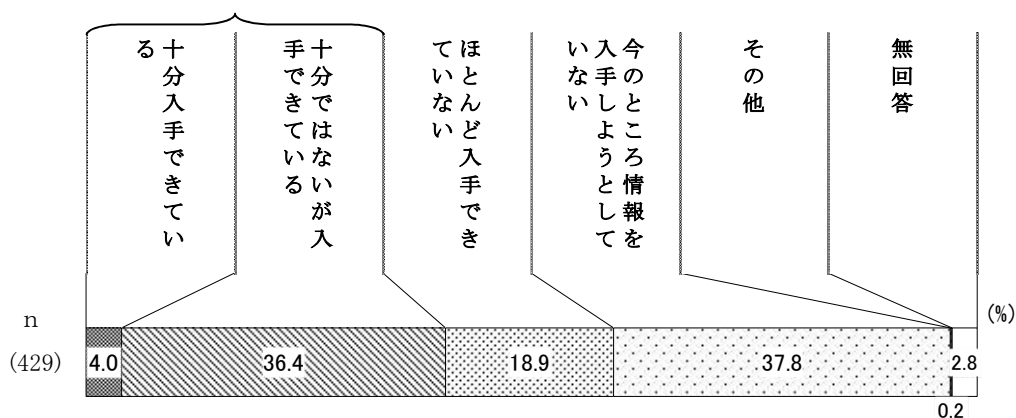
(2) 自分に必要な「福祉サービス」の情報の入手状況

問10-1 あなたは現在、自分に必要な「福祉サービス」の情報をどの程度入手できていると感じていますか。(〇はひとつ)

自分に必要な「福祉サービス」の情報の入手状況については、「今のところ情報を入手しようとしていない」が37.8%で最も多くなっている。一方、「十分入手できている」(4.0%)と「十分ではないが入手できている」(36.4%)を合わせた“入手できている”は40.4%となっている。

自分に必要な「福祉サービス」の情報の入手状況

《入手できている》40.4%

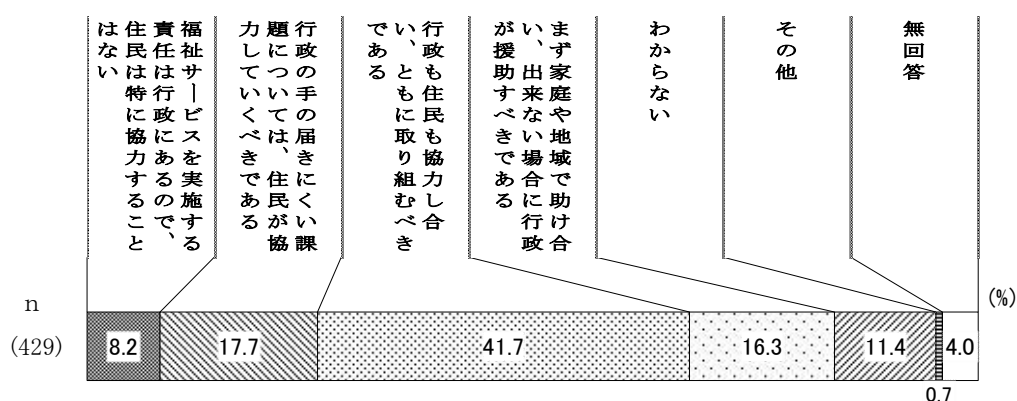


2. 福祉サービスを充実させていくうえでの行政と地域住民の関係

問11 福祉サービスを充実させていくうえで、行政と地域住民の関係について、あなたのお考えに最も近いものを選んでください。(〇はひとつ)

福祉サービスを充実させていくうえでの行政と地域住民の関係については、「行政も住民も協力し合い、ともに取り組むべきである」が41.7%で最も多く、次いで「行政の手の届きにくい課題については、住民が協力していくべきである」(17.7%)、「まず家庭や地域で助け合い、出来ない場合に行政が援助すべきである」(16.3%)と続いている。

福祉サービスを充実させていくうえでの行政と地域住民の関係



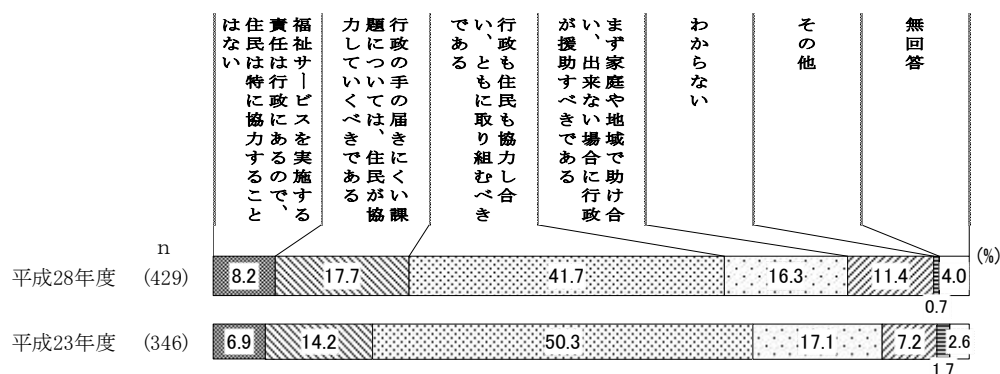
福祉サービスを充実させていくうえでの行政と地域住民の関係(年齢別/地区別)

(単位：%)

		調査数(件)	福祉サービスを実施する責任は行政にあるので、住民は特に協力することはない	行政の手の届きにくい課題については、住民が協力していくべきである	行政も住民も協力し合い、ともに取り組むべきである	まず家庭や地域で助け合い、出来ない場合に行政が援助すべきである	わからない	その他	無回答
全体		429	8.2	17.7	41.7	16.3	11.4	0.7	4.0
年齢別	20～39歳	70	11.4	18.6	41.4	12.9	12.9	-	2.9
	40～54歳	95	11.6	27.4	38.9	10.5	10.5	-	1.1
	55～64歳	77	9.1	19.5	46.8	13.0	7.8	2.6	1.3
	65～74歳	113	4.4	15.0	46.9	17.7	11.5	-	4.4
	75歳以上	59	5.1	8.5	30.5	28.8	15.3	1.7	10.2
地区別	小作台・栄町	81	8.6	24.7	40.7	16.0	8.6	-	1.2
	川崎・玉川・羽・羽東	55	12.7	20.0	38.2	16.4	10.9	-	1.8
	神明台	61	8.2	13.1	36.1	23.0	9.8	1.6	8.2
	富士見平・双葉町	60	10.0	20.0	36.7	18.3	13.3	-	1.7
	羽加美・羽西・羽中	88	4.5	18.2	52.3	5.7	14.8	-	4.5
	五ノ神・緑ヶ丘	75	6.7	12.0	41.3	21.3	10.7	1.3	6.7

<前回比較>

前回調査と比較して、「行政も住民も協力し合い、ともに取り組むべきである」は前回より8.6ポイント減少している。



IV. 地域活動の参加について

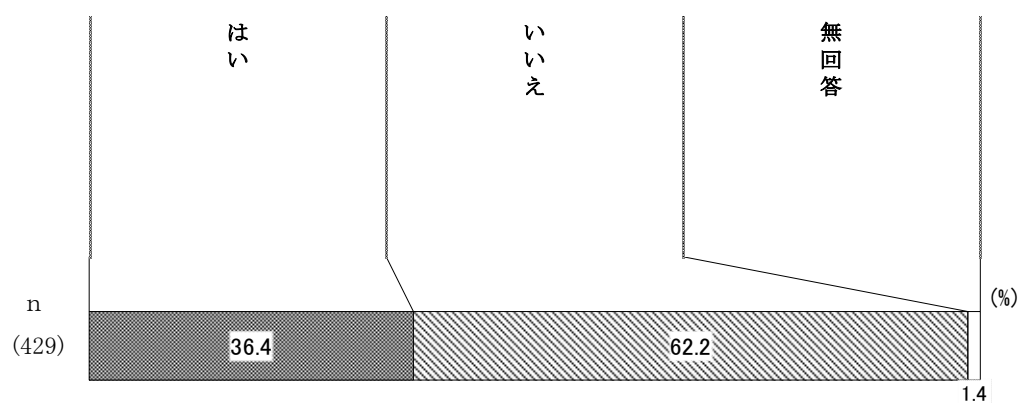
1. 地域活動への参加状況

(1) 参加の有無

問12 あなたは、地域の活動に参加していますか。(〇はひとつ)

参加の有無については、「はい」は36.4%、「いいえ」は62.2%であり、参加している人は約3人に1人強の割合となっている。

参加の有無



第3章 調査結果の詳細

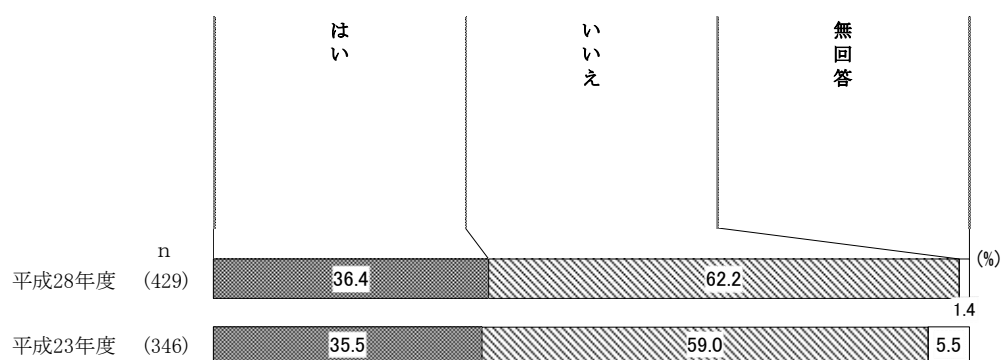
参加の有無(年齢別/居住年数別/地区別/住居形態別)

(単位：%)

		調査数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体		429	36.4	62.2	1.4
年 齢 別	20～39歳	70	20.0	80.0	-
	40～54歳	95	28.4	71.6	-
	55～64歳	77	40.3	58.4	1.3
	65～74歳	113	46.0	53.1	0.9
	75歳以上	59	42.4	52.5	5.1
居 住 年 数 別	5年未満	36	22.2	77.8	-
	5～9年	32	37.5	62.5	-
	10～19年	63	36.5	61.9	1.6
	20～29年	64	26.6	71.9	1.6
	30～39年	92	32.6	65.2	2.2
	40年以上	122	47.5	51.6	0.8
地 区 別	小作台・栄町	81	32.1	66.7	1.2
	川崎・玉川・羽・羽東	55	54.5	45.5	-
	神明台	61	31.1	65.6	3.3
	富士見平・双葉町	60	28.3	70.0	1.7
	羽加美・羽西・羽中	88	33.0	64.8	2.3
	五ノ神・緑ヶ丘	75	40.0	60.0	-
住 居 形 態 別	持家（一戸建て）	277	43.3	55.6	1.1
	持ち家（マンションなどの集合住宅）	54	31.5	68.5	-
	民間の賃貸住宅（一戸建て）	13	15.4	84.6	-
	民間の賃貸住宅（マンションなどの集合住宅）	54	7.4	90.7	1.9
	公営住宅	14	28.6	57.1	14.3
	社宅（会社が借り上げているアパート等含む）	7	71.4	28.6	-
	学生寮	-	-	-	-
	その他	5	-	100.0	-

<前回比較>

前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。



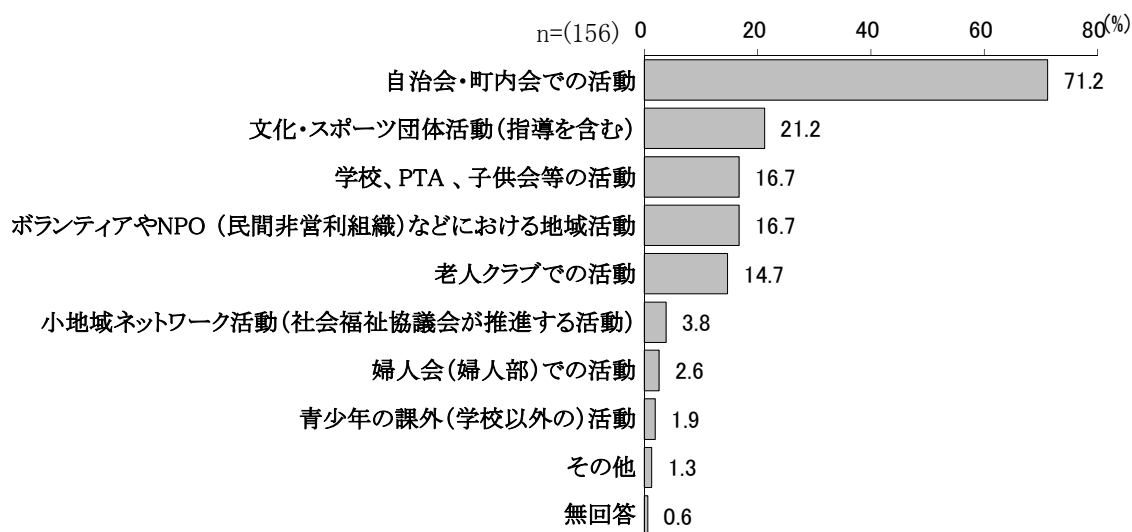
(2) 参加している地域活動

《問12で「はい」に○をつけた方におうかがいします》

問12-1 あなたが、地域で参加している活動はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

参加している地域活動については、「自治会・町内会での活動」が71.2%で最も多く、次いで「文化・スポーツ団体活動(指導を含む)」(21.2%)、「学校、PTA、子供会等の活動」(16.7%)、「ボランティアやNPO(民間非営利組織)などにおける地域活動」(16.7%)と続いている。

参加している地域活動

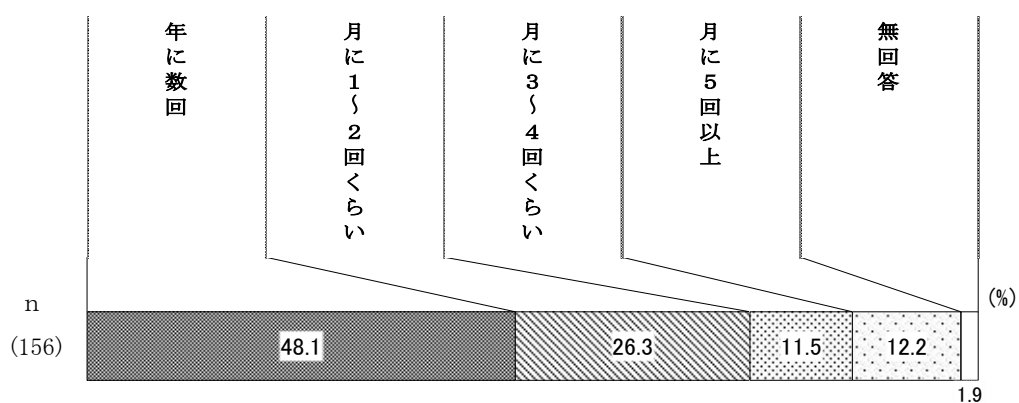


(3) 活動への参加頻度

《問12で「はい」に○をつけた方におうかがいします》
 問12-2 あなたは、その活動にどの程度参加していますか。(○はひとつ)

活動への参加頻度については、「年に数回」が48.1%で最も多く、次いで「月に1～2回くらい」(26.3%)、「月に5回以上」(12.2%)と続いている。

活動への参加頻度



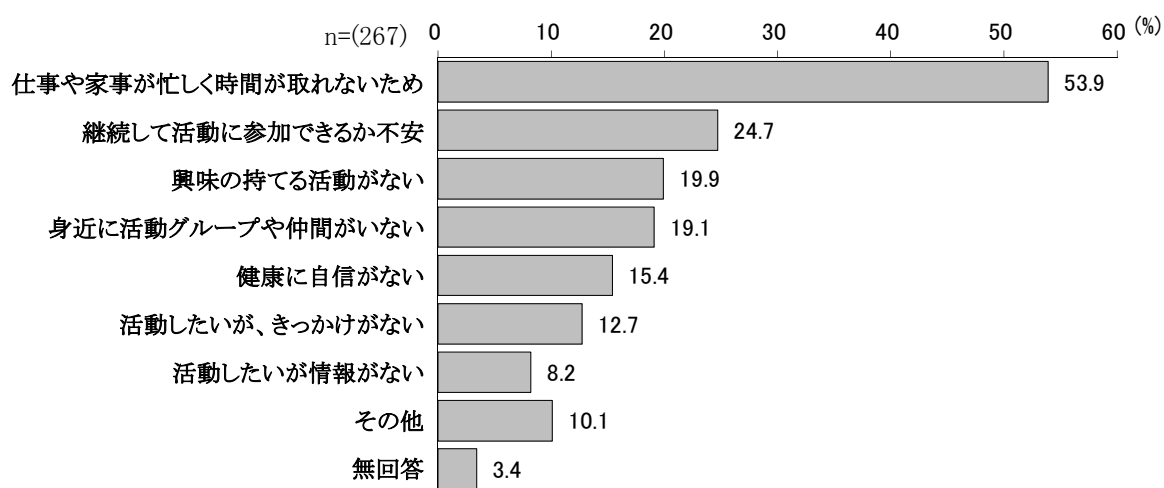
(4) 活動に参加しない理由

《問12で「いいえ」に○をつけた方におうかがいします。》

問12-3 地域の活動へ参加しない理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

活動に参加しない理由については、「仕事や家事が忙しく時間が取れないため」が53.9%で最も多く、次いで「継続して活動に参加できるか不安」(24.7%)と続いている。

活動に参加しない理由



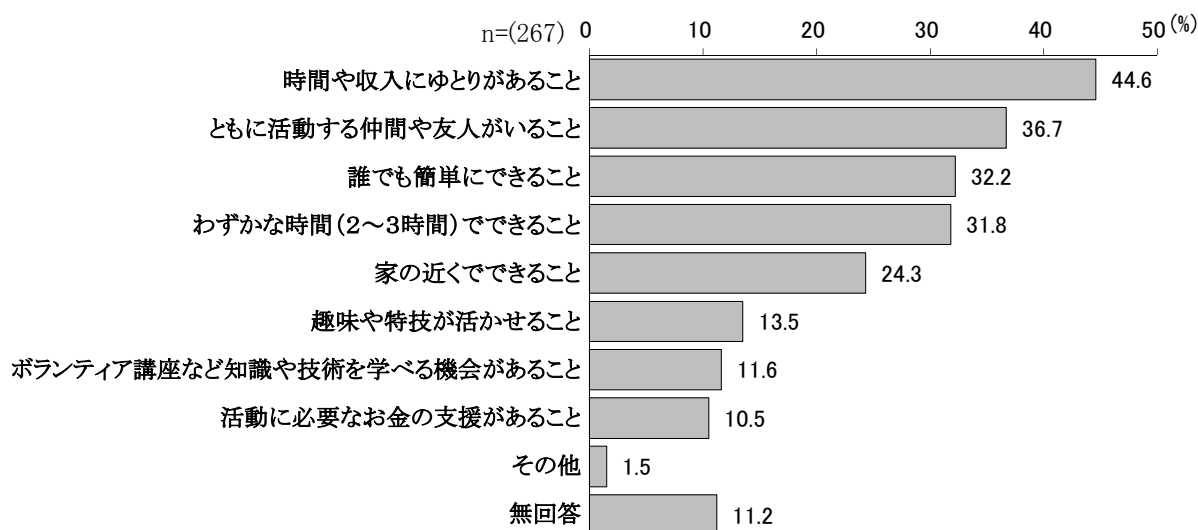
(5) 地域活動への参加条件

《問12で「いいえ」に○をつけた方におうかがいします》

問12-4 どのような条件を整えば、地域の活動に参加しやすくなりますか。(あてはまるものすべてに○)

地域活動への参加条件については、「時間や収入にゆとりがあること」が44.6%で最も多く、次いで「ともに活動する仲間や友人がいること」(36.7%)、「誰でも簡単にできること」(32.2%)、「わずかな時間(2～3時間)でできること」(31.8%)が3割台で続いている。

地域活動への参加条件



地域活動への参加条件 (年齢別)

(単位：%)

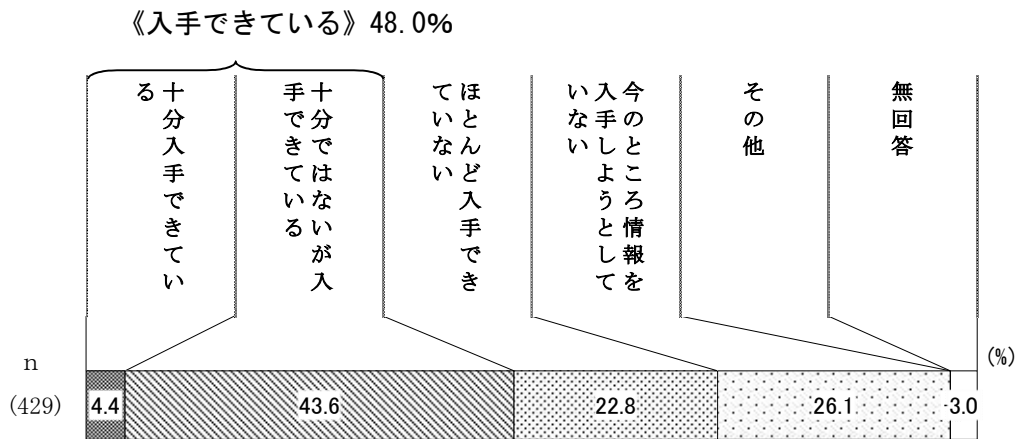
	調査数 (件)	時間や収入にゆとりがあること	ともに活動する仲間や友人がいること	誰でも簡単にできること	わずかな時間(2～3時間)でできること	家の近くでできること	趣味や特技が活かせること	ボランティア講座など知識や技術を学べる機会があること	活動に必要なお金の支援があること	その他	無回答	
全体	267	44.6	36.7	32.2	31.8	24.3	13.5	11.6	10.5	1.5	11.2	
年齢別	20～39歳	56	58.9	46.4	33.9	30.4	23.2	12.5	12.5	16.1	1.8	8.9
	40～54歳	68	61.8	35.3	30.9	50.0	25.0	13.2	11.8	11.8	-	10.3
	55～64歳	45	44.4	35.6	37.8	31.1	26.7	11.1	8.9	11.1	2.2	13.3
	65～74歳	60	25.0	36.7	36.7	16.7	21.7	16.7	15.0	6.7	3.3	10.0
	75歳以上	31	22.6	25.8	16.1	25.8	32.3	16.1	9.7	6.5	-	9.7

2. 地域活動の情報の入手状況

問13 あなたは「地域の活動の情報」を、どの程度入手できていると感じていますか。(〇はひとつ)

地域活動の情報の入手状況については、「十分ではないが入手できている」が43.6%で最も多く、「十分入手できている」(4.4%)と合わせた“入手できている”は48.0%となっている。

地域活動の情報の入手状況

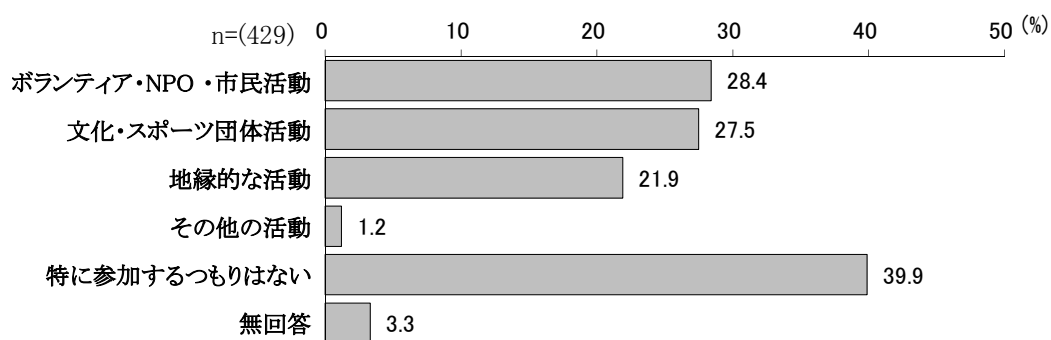


3. 今後参加したい地域活動

問14 あなたが、今後参加したいと思う地域での活動をあげてください。(あてはまるものすべてに○)

今後参加したい地域活動については、「ボランティア・NPO・市民活動」(28.4%)、「文化・スポーツ団体活動」(27.5%)が2割台となっている。一方で「特に参加するつもりはない」は39.9%となっている。

今後参加したい地域活動



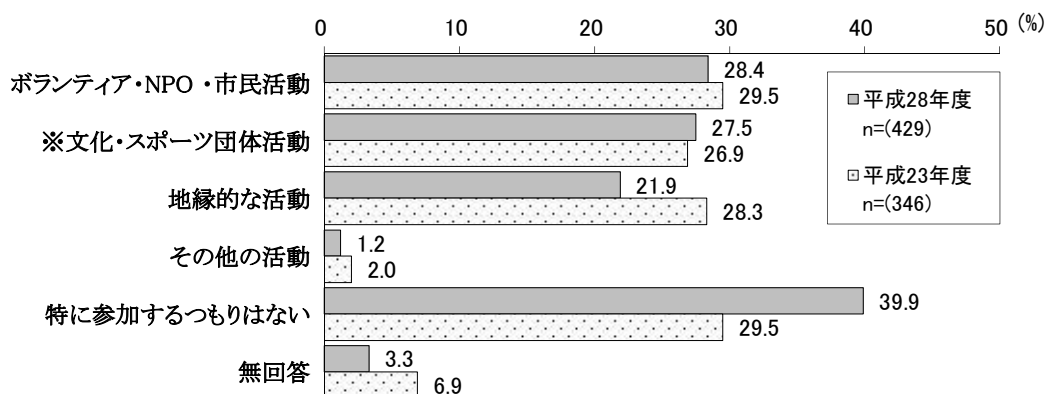
今後参加したい地域活動 (年齢別/地区別)

(単位：%)

	調査数 (件)	参加したい活動					特に参加するつもりはない	無回答
		市民活動	ボランティア・NPO・	文化・スポーツ団体活動	地縁的な活動	その他の活動		
全体	429	28.4	27.5	21.9	1.2	39.9	3.3	
年齢別	20～39歳	70	38.6	34.3	14.3	-	35.7	-
	40～54歳	95	28.4	15.8	17.9	1.1	49.5	4.2
	55～64歳	77	24.7	27.3	16.9	1.3	40.3	3.9
	65～74歳	113	29.2	35.4	25.7	2.7	37.2	1.8
	75歳以上	59	20.3	23.7	37.3	-	37.3	3.4
地区別	小作台・栄町	81	32.1	29.6	21.0	-	38.3	2.5
	川崎・玉川・羽・羽東	55	21.8	38.2	34.5	1.8	34.5	-
	神明台	61	31.1	24.6	16.4	-	44.3	3.3
	富士見平・双葉町	60	26.7	18.3	18.3	1.7	48.3	3.3
	羽加美・羽西・羽中	88	30.7	21.6	25.0	-	38.6	3.4
	五ノ神・緑ヶ丘	75	25.3	33.3	17.3	4.0	37.3	6.7

<前回比較>

前回調査と比較すると、「特に参加するつもりはない」は前回より10.4ポイント増加している。

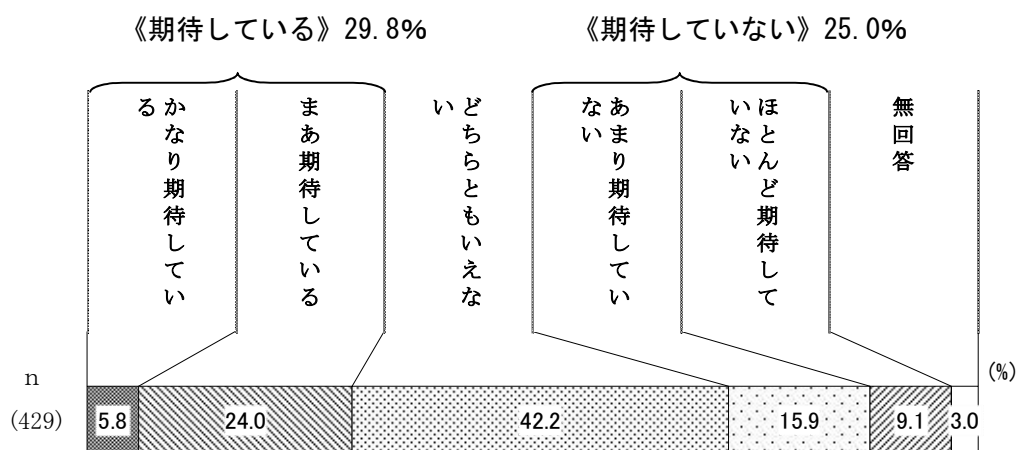


4. 地域でのボランティアやNPO活動への期待度

問15 あなたは、地域でのボランティアやNPOの活動にどの程度期待していますか。(〇はひとつ)

地域でのボランティアやNPO活動への期待度については、「どちらともいえない」が42.2%と最も多くなっている。一方、「かなり期待している」(5.8%)と「まあ期待している」(24.0%)を合わせた“期待している”は29.8%となっている。

地域でのボランティアやNPO活動への期待度



地域でのボランティアやNPO活動への期待度（年齢別/居住地区別）

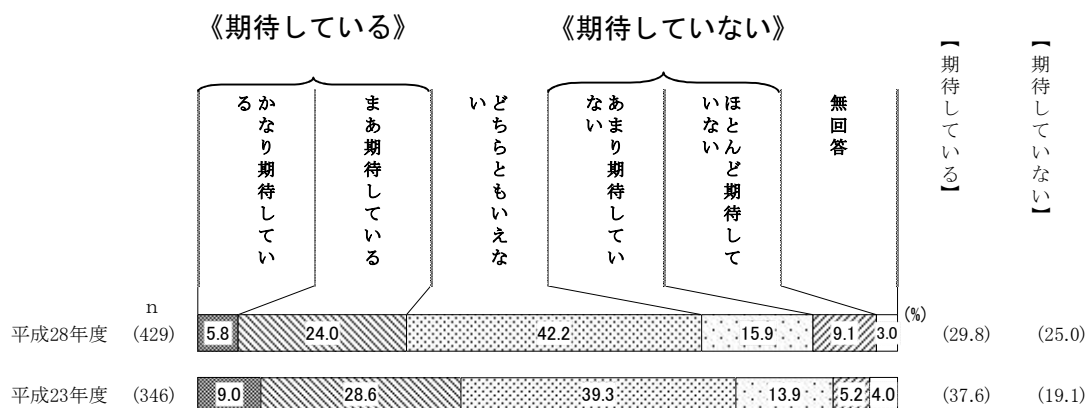
(単位：%)

		調査数 (件)	かなり期待している	まあ期待している	どちらともいえない	あまり期待していない	ほとんど期待していない	無回答
全体		429	5.8	24.0	42.2	15.9	9.1	3.0
年齢別	20～39歳	70	2.9	15.7	40.0	18.6	21.4	1.4
	40～54歳	95	3.2	25.3	47.4	13.7	9.5	1.1
	55～64歳	77	2.6	14.3	51.9	18.2	10.4	2.6
	65～74歳	113	6.2	32.7	38.9	17.7	1.8	2.7
	75歳以上	59	13.6	28.8	33.9	10.2	8.5	5.1
地区別	小作台・栄町	81	3.7	22.2	45.7	18.5	8.6	1.2
	川崎・玉川・羽・羽東	55	5.5	29.1	34.5	21.8	7.3	1.8
	神明台	61	3.3	23.0	44.3	11.5	13.1	4.9
	富士見平・双葉町	60	11.7	23.3	33.3	23.3	6.7	1.7
	羽加美・羽西・羽中	88	3.4	25.0	50.0	9.1	10.2	2.3
	五ノ神・緑ヶ丘	75	6.7	24.0	44.0	12.0	8.0	5.3

第3章 調査結果の詳細

<前回比較>

前回調査と比較すると、“期待している”は前回より7.8ポイント減少している。



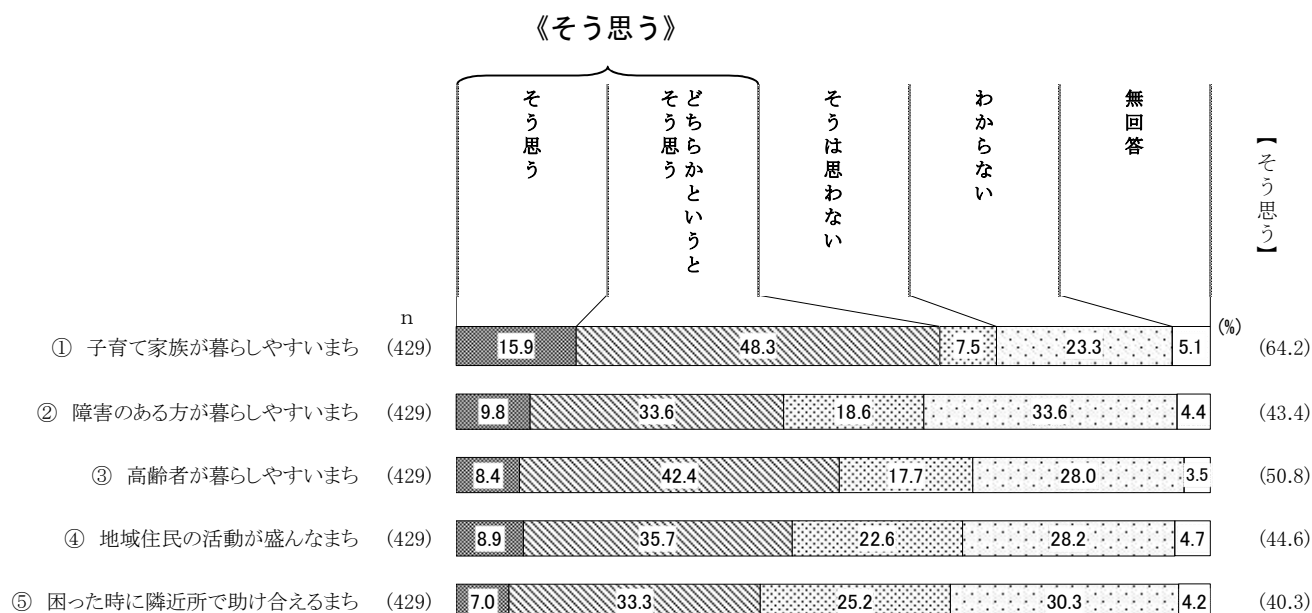
V. 市の福祉施策や制度・サービスについて

1. 羽村市の地域福祉に対する印象

問16 羽村市の地域福祉に対して、どのような印象をお持ちですか。(項目ごとに○はひとつ)

羽村市の地域福祉に対する印象で「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた「そう思う」との回答が多いのは、「①子育て家族が暮らしやすいまち」であり、6割台半ばとなっている。一方、「そう思わない」との回答は、「④地域住民の活動が盛んなまち」(22.6%)、「⑤困った時に隣近所で助け合えるまち」(25.2%)で2割台となっている。

羽村市の地域福祉に対する印象



第3章 調査結果の詳細

羽村市の地域福祉に対する印象 そう思う率（性別/年齢別/居住年数別/地区別）

（単位：％）

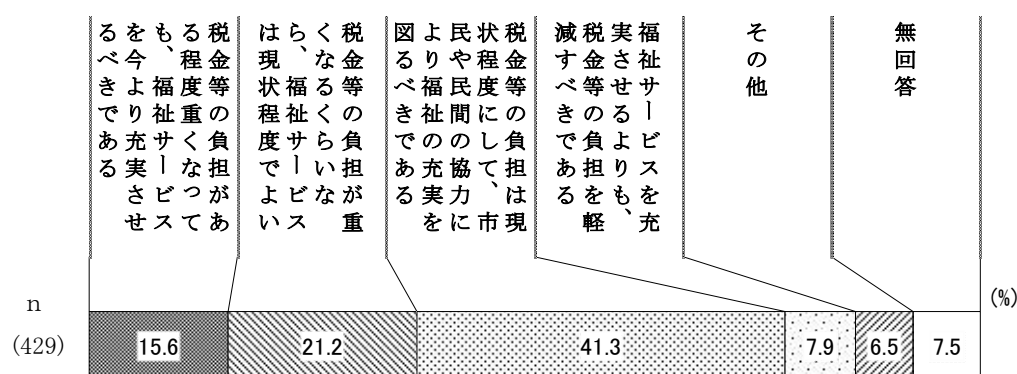
		調査数 (件)	①子育て家族が 暮らしやすいまち	②障害のある方が 暮らしやすいまち	③高齢者が暮らし やすいまち	④地域住民の活動 が盛んなまち	⑤困った時に隣近所 で助け合えるまち
全 体		429	64.2	43.4	50.8	44.6	40.3
性別	男性	178	59.0	46.1	49.5	43.9	42.1
	女性	246	67.5	41.5	51.6	44.7	38.6
年齢別	20～39歳	70	70.0	37.1	54.2	37.1	30.0
	40～54歳	95	68.4	46.3	47.4	48.5	36.9
	55～64歳	77	71.4	40.3	55.8	50.7	50.7
	65～74歳	113	57.5	45.1	46.9	41.6	35.4
	75歳以上	59	56.0	47.5	56.0	42.4	52.6
居住年数別	5年未満	36	61.1	36.2	38.9	38.9	33.4
	5～9年	32	81.3	37.6	56.3	40.6	37.6
	10～19年	63	63.5	38.1	41.3	49.2	27.0
	20～29年	64	62.5	46.8	51.5	40.6	32.9
	30～39年	92	66.3	36.9	46.7	40.2	40.2
	40年以上	122	61.5	54.1	63.1	51.6	53.3
地区別	小作台・栄町	81	67.9	56.8	58.0	51.9	42.0
	川崎・玉川・羽・羽東	55	58.1	40.0	49.0	50.9	41.8
	神明台	61	67.2	37.7	40.9	41.0	37.7
	富士見平・双葉町	60	60.0	35.0	50.0	35.0	31.7
	羽加美・羽西・羽中	88	61.4	46.6	50.0	45.5	46.6
	五ノ神・緑ヶ丘	75	69.3	41.3	57.3	40.0	38.6

2. 福祉サービスの充実と税金等の負担の関係

問17 福祉サービスの充実と税金等の負担について、どのように考えますか。(〇はひとつ)

福祉サービスの充実と税金等の負担の関係については、「税金等の負担は現状程度にして、市民や民間の協力により福祉の充実を図るべきである」が41.3%で最も多く、次いで「税金等の負担が重くなるくらいなら、福祉サービスは現状程度でよい」(21.2%)、「税金等の負担がある程度重くなっても、福祉サービスを今より充実させるべきである」(15.6%)と続いている。

福祉サービスの充実と税金等の負担の関係



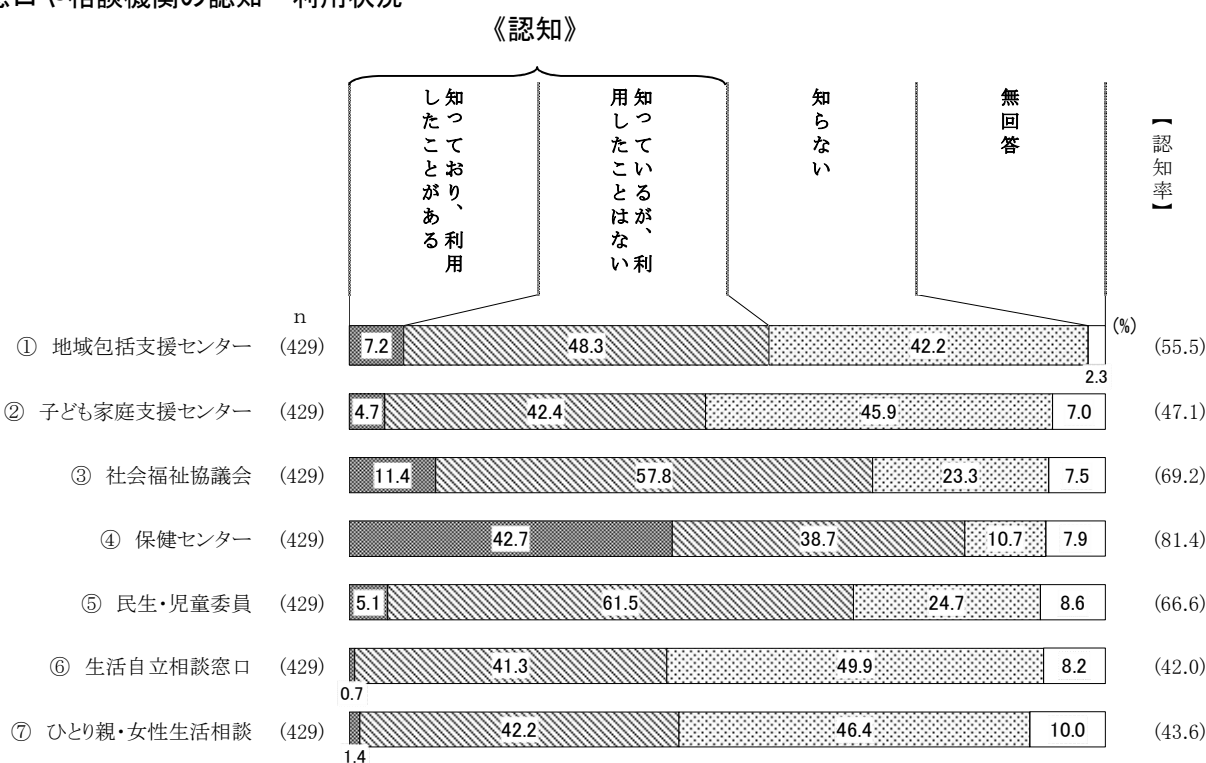
3. 相談窓口や相談機関の認知・利用状況

問18 あなたは、市の福祉や保健に関わる次のような相談窓口や相談機関をご存知ですか。
(項目ごとに○はひとつ)

相談窓口や相談機関の認知・利用状況については、「知っており、利用したことがある」との回答が多いのは「④保健センター」であり、42.7%となっている。

「知っているが、利用したことはない」と合わせた“認知率”をみると、「④保健センター」は81.4%、「③社会福祉協議会」は69.2%、「⑤民生・児童委員」は66.6%となっている。

相談窓口や相談機関の認知・利用状況



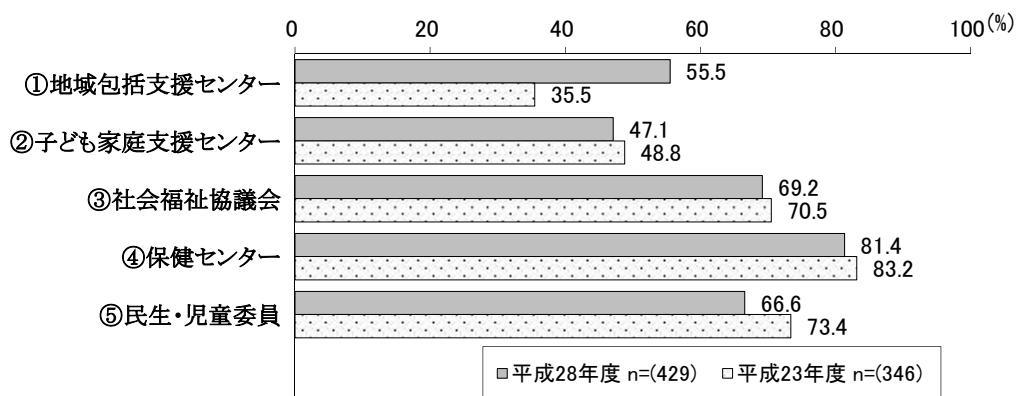
相談窓口や相談機関の認知・利用状況 属性別認知率（年齢別/居住年数別/地区別）

（単位：％）

		調査数 (件)	①地域包括支援 センター	②子ども家庭支 援センター	③社会福祉協 議会	④保健セン ター	⑤民生・児童 委員	⑥生活自立 相談窓口	⑦ひとり親・ 女性生活相 談
全 体		429	55.5	47.1	69.2	81.4	66.6	42.0	43.6
年 齢 別	20～39歳	70	42.9	58.6	54.3	78.6	54.3	47.1	50.0
	40～54歳	95	49.5	55.8	64.2	87.4	63.2	37.9	49.5
	55～64歳	77	50.6	45.5	76.6	83.1	72.7	40.3	46.8
	65～74歳	113	61.1	44.2	78.8	83.2	77.9	46.0	42.5
	75歳以上	59	76.3	27.1	71.2	74.6	61.0	33.9	23.7
居 住 年 数 別	5年未満	36	44.4	44.4	52.8	75.0	52.8	30.6	36.1
	5～9年	32	53.1	71.9	68.8	87.5	59.4	34.4	53.1
	10～19年	63	38.1	42.9	58.7	79.4	57.1	46.0	47.6
	20～29年	64	39.1	45.3	57.8	79.7	60.9	34.4	39.1
	30～39年	92	59.8	45.7	75.0	83.7	76.1	46.7	47.8
	40年以上	122	73.8	48.4	82.0	84.4	77.0	47.5	44.3
地 区 別	小作台・栄町	81	55.6	45.7	75.3	88.9	74.1	48.1	45.7
	川崎・玉川・羽・羽東	55	56.4	49.1	70.9	76.4	65.5	41.8	43.6
	神明台	61	52.5	47.5	63.9	78.7	54.1	39.3	42.6
	富士見平・双葉町	60	58.3	43.3	66.7	76.7	70.0	48.3	48.3
	羽加美・羽西・羽中	88	51.1	50.0	68.2	78.4	67.0	38.6	39.8
	五ノ神・緑ヶ丘	75	61.3	46.7	72.0	86.7	69.3	36.0	42.7

<前回比較>

前回調査と比較すると、「①地域包括支援センター」の認知率は前回より20.0ポイント増加している。



※⑥生活自立相談窓口と⑦ひとり親・女性生活相談は今回調査からの新規項目で、前回はなし

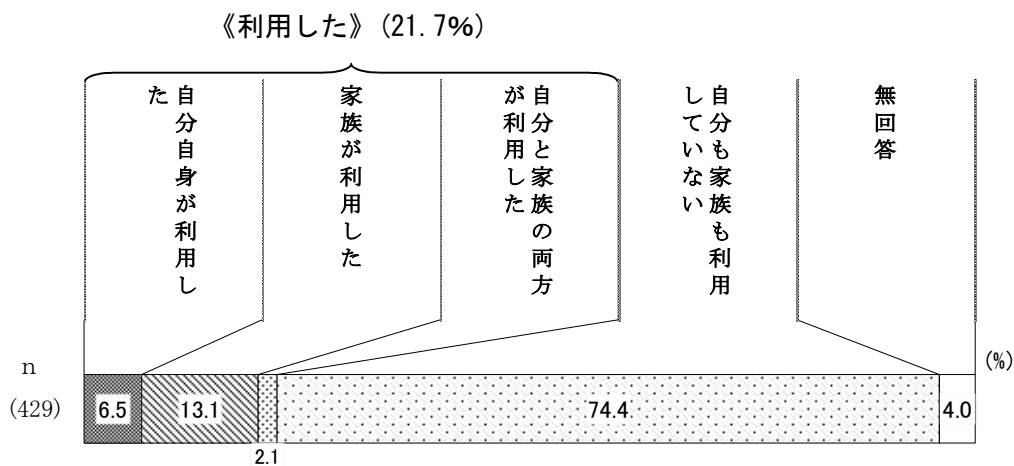
4. 最近1年間の福祉サービスの利用状況

(1) サービスの利用者

問19 あなたを含め、家族のなかで最近1年間に、高齢者や障害者、子育て支援などに関する福祉サービスを利用した人がいますか。(○はひとつ)

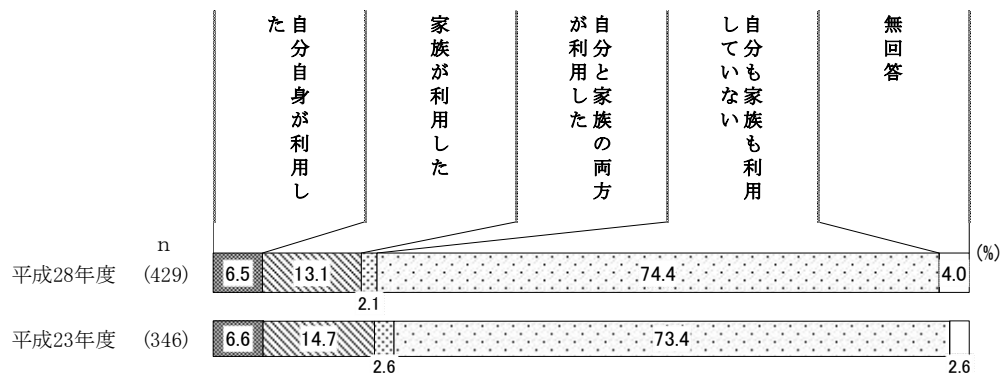
サービスの利用者については、自分自身や家族が“利用した”との回答は21.7%となっている。

サービスの利用者



<前回調査>

前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。



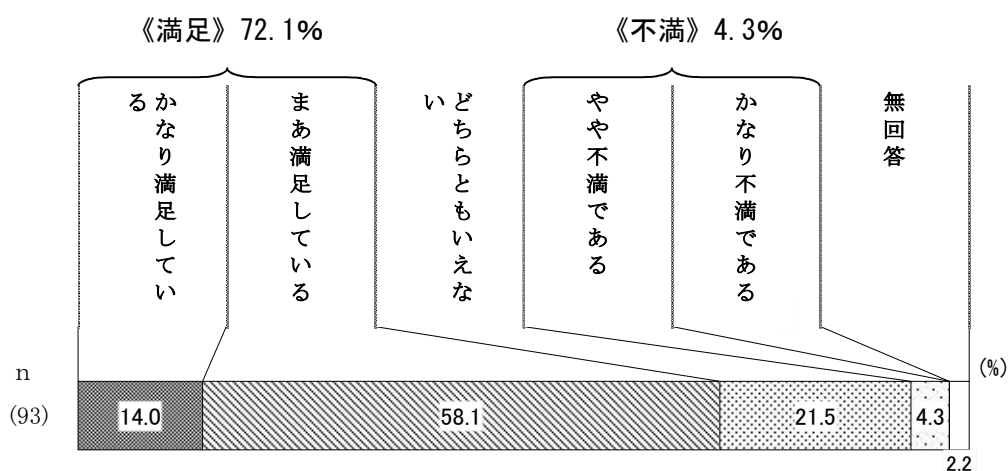
(2) 利用したサービスの満足度

《問19で「自分自身が利用した」「家族が利用した」「自分と家族の両方が利用した」に○をつけた方におうかがいします》

問19-1 利用した福祉サービスに満足していますか。(○はひとつ)

利用したサービスの満足度については、「まあ満足している」が58.1%で最も多く、「かなり満足している」(14.0%)を合わせた“満足”は72.1%となっている。一方で、「やや不満である」(4.3%)と「かなり不満である」(0.0%)を合わせた“不満”は4.3%にとどまっている。

利用したサービスの満足度



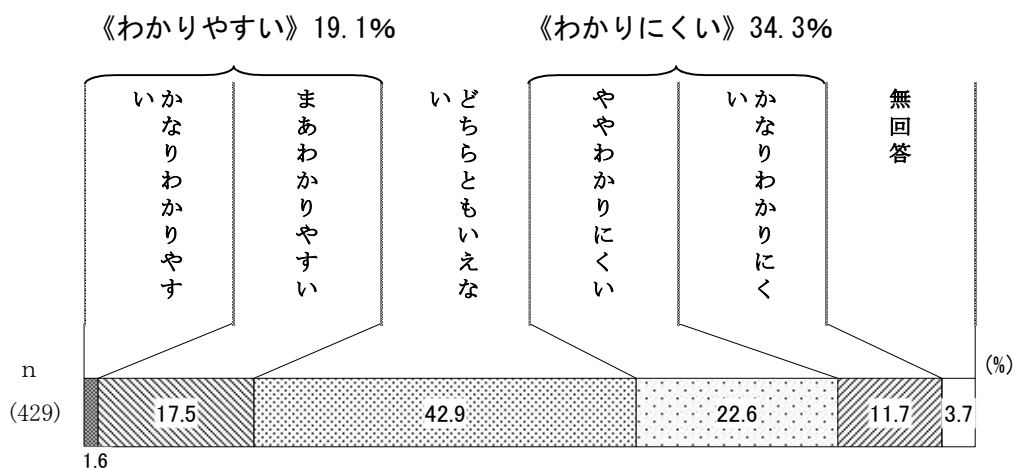
5. 福祉サービスや保健、医療の制度や仕組みの分かりやすさ

(1) 分かりやすさ

問20 あなたにとって、福祉サービスや保健、医療の制度や仕組みは分かりやすいですか。
(○はひとつ)

分かりやすさについては、「どちらともいえない」が42.9%で最も多くなっている。一方で、「かなりわかりやすい」(1.6%)と「まあわかりやすい」(17.5%)を合わせた“わかりやすい”は19.1%、「ややわかりにくい」(22.6%)と「かなりわかりにくい」(11.7%)を合わせた“わかりにくい”は34.3%となっている。

分かりやすさ



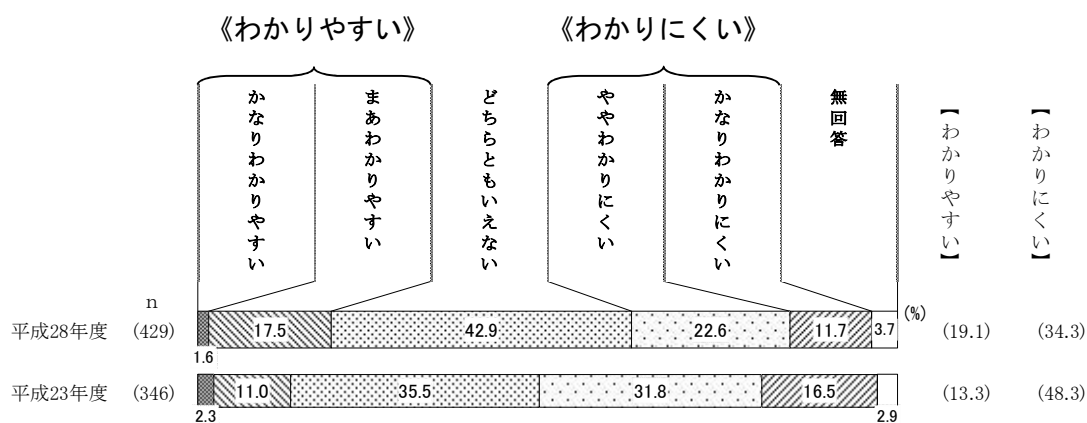
分かりやすさ（年齢別/居住年数別）

（単位：％）

		調査数 (件)	かなり わかりやすい	まあ わかりやすい	どちら ともいえない	やや わかりにくい	かなり わかりにくい	無 回答
全 体		429	1.6	17.5	42.9	22.6	11.7	3.7
年 齢 別	20～39歳	70	-	17.1	32.9	34.3	14.3	1.4
	40～54歳	95	4.2	13.7	46.3	20.0	14.7	1.1
	55～64歳	77	-	15.6	48.1	18.2	14.3	3.9
	65～74歳	113	-	18.6	45.1	23.9	8.8	3.5
	75歳以上	59	5.1	23.7	39.0	18.6	6.8	6.8
居 住 年 数 別	5年未満	36	-	22.2	41.7	25.0	11.1	-
	5～9年	32	3.1	18.8	40.6	18.8	18.8	-
	10～19年	63	1.6	7.9	54.0	27.0	6.3	3.2
	20～29年	64	1.6	17.2	39.1	20.3	17.2	4.7
	30～39年	92	1.1	17.4	38.0	21.7	16.3	5.4
	40年以上	122	1.6	21.3	44.3	22.1	7.4	3.3

＜前回比較＞

前回調査と比較すると、“わかりにくい”は前回より14.0ポイント減少している。

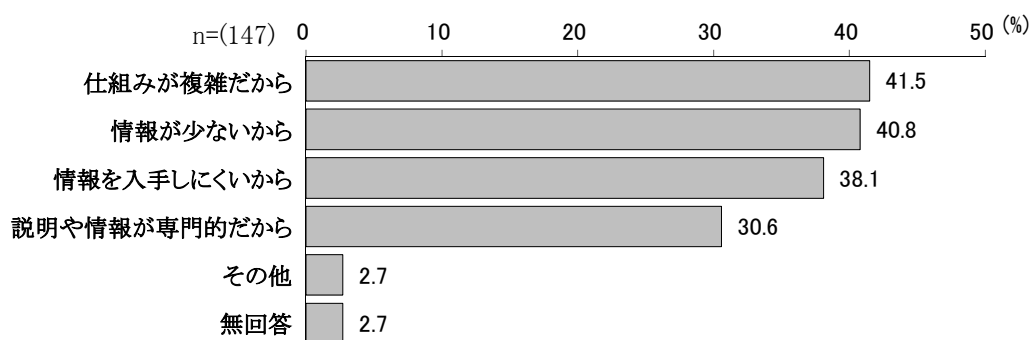


(2) わかりにくいと思う理由

《問20で「ややわかりにくい」「かなりわかりにくい」に○をつけた方におうかがいします》
問20-1 わかりにくいと思うのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

わかりにくいと思う理由については、「仕組みが複雑だから」(41.5%)、「情報が少ないから」(40.8%)が4割台で上位になっている。

わかりにくいと思う理由

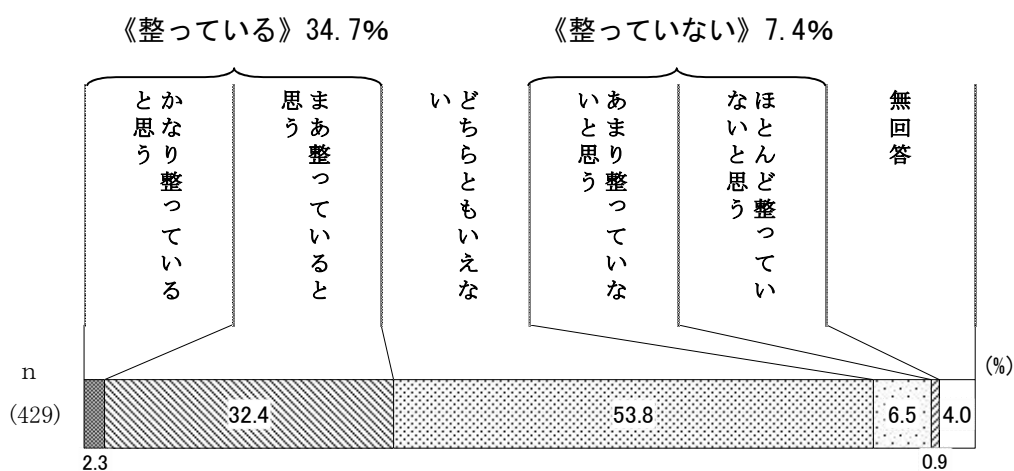


6. 福祉サービスが利用しやすい環境整備

問21 あなたは、羽村市には福祉サービスが利用しやすい環境が整っていると思いますか。
(○はひとつ)

福祉サービスが利用しやすい環境整備については、「どちらともいえない」が53.8%で最も多くなっている。一方で、「かなり整っていると思う」(2.3%)と「まあ整っていると思う」(32.4%)を合わせた“整っている”は34.7%、「あまり整っていないと思う」(6.5%)と「ほとんど整っていないと思う」(0.9%)を合わせた“整っていない”は7.4%となっている。

福祉サービスが利用しやすい環境整備



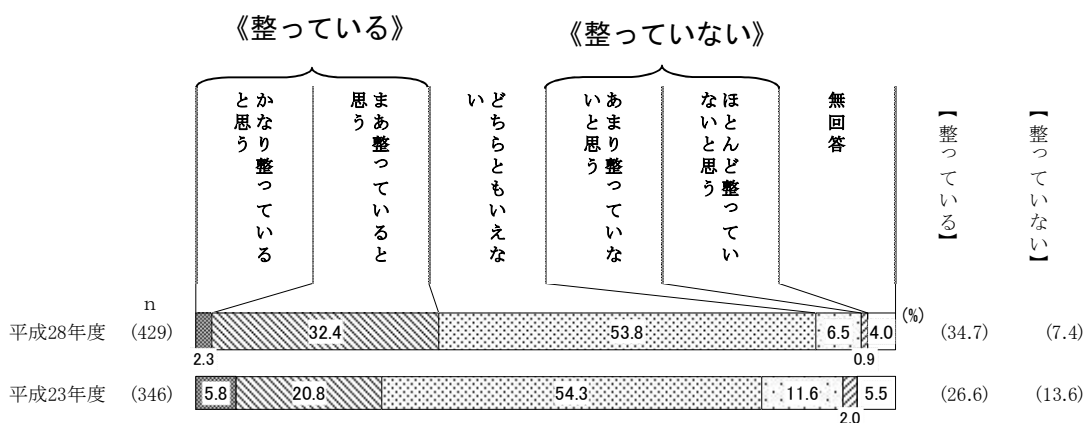
福祉サービスが利用しやすい環境整備（年齢別/居住年数別）

（単位：％）

		調査数 (件)	かなり整っていると思う	まあ整っていると思う	どちらともいえない	あまり整っていないと思う	ほとんど整っていないと思う	無回答
全体		429	2.3	32.4	53.8	6.5	0.9	4.0
年齢別	20～39歳	70	-	25.7	60.0	11.4	1.4	1.4
	40～54歳	95	1.1	31.6	58.9	6.3	1.1	1.1
	55～64歳	77	3.9	29.9	57.1	3.9	1.3	3.9
	65～74歳	113	-	32.7	54.9	7.1	0.9	4.4
	75歳以上	59	8.5	39.0	40.7	5.1	-	6.8
居住年数別	5年未満	36	-	27.8	72.2	-	-	-
	5～9年	32	-	21.9	71.9	6.3	-	-
	10～19年	63	1.6	22.2	68.3	3.2	1.6	3.2
	20～29年	64	1.6	34.4	50.0	9.4	-	4.7
	30～39年	92	2.2	29.3	51.1	10.9	2.2	4.3
	40年以上	122	4.1	41.8	43.4	4.9	0.8	4.9

<前回比較>

前回調査と比較すると、“整っている”は前回より8.1ポイント増加している。

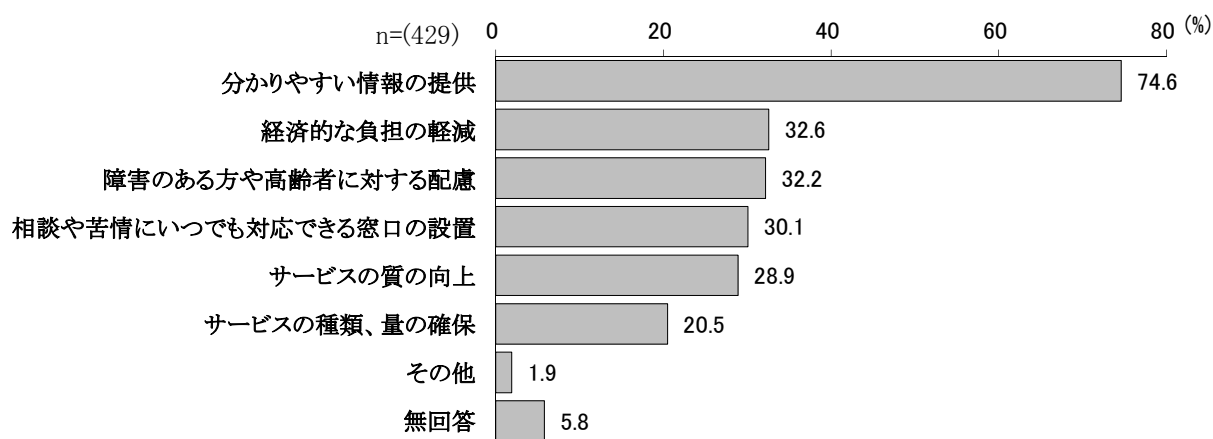


7. 利用しやすい環境を整備するために充実すべきこと

問22 保健、医療、福祉サービスを利用しやすい環境に整備するため、充実すべきことはどのようなことだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

利用しやすい環境を整備するために充実すべきことについては、「分かりやすい情報の提供」が74.6%で最も多く、次いで「経済的な負担の軽減」(32.6%)、「障害のある方や高齢者に対する配慮」(32.2%)、「相談や苦情にいつでも対応できる窓口の設置」(30.1%)が3割台で続いている。

利用しやすい環境を整備するために充実すべきこと



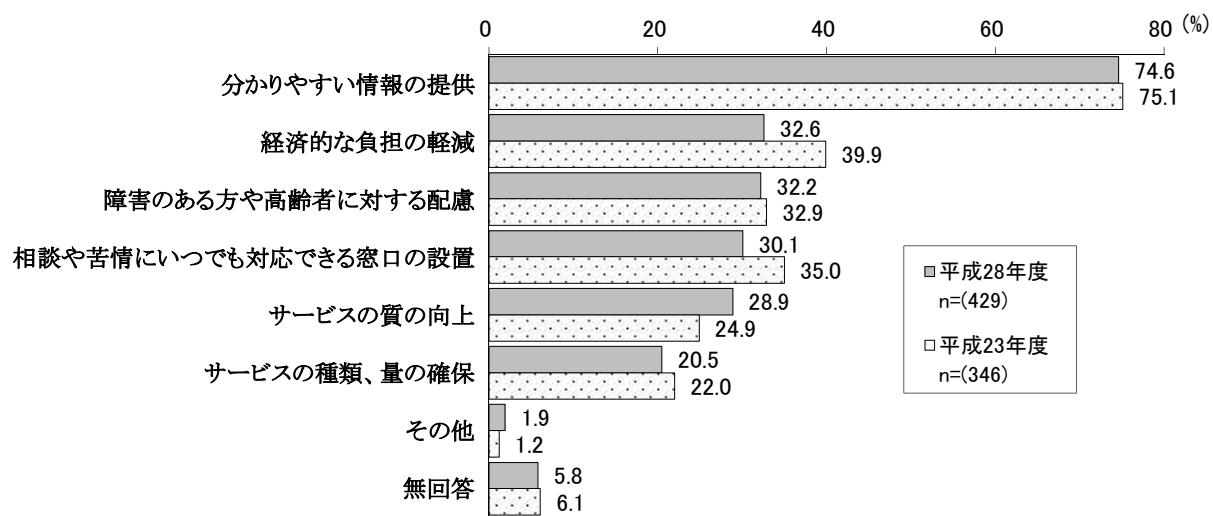
利用しやすい環境を整備するために充実すべきこと (年齢別)

(単位：%)

		調査数 (件)	分かりやすい情報の提供	経済的な負担の軽減	障害のある方や高齢者に対する配慮	相談や苦情にいつでも対応できる窓口の設置	サービスの質の向上	サービスの種類、量の確保	その他	無回答
全体		429	74.6	32.6	32.2	30.1	28.9	20.5	1.9	5.8
年齢別	20～39歳	70	85.7	37.1	25.7	24.3	34.3	24.3	1.4	-
	40～54歳	95	70.5	37.9	29.5	31.6	31.6	25.3	1.1	6.3
	55～64歳	77	77.9	32.5	31.2	29.9	29.9	22.1	1.3	6.5
	65～74歳	113	74.3	32.7	32.7	30.1	23.9	14.2	2.7	3.5
	75歳以上	59	69.5	23.7	45.8	39.0	23.7	23.7	1.7	11.9

<前回比較>

前回調査と比較すると、「経済的な負担の軽減」は前回より7.3ポイント減少している。

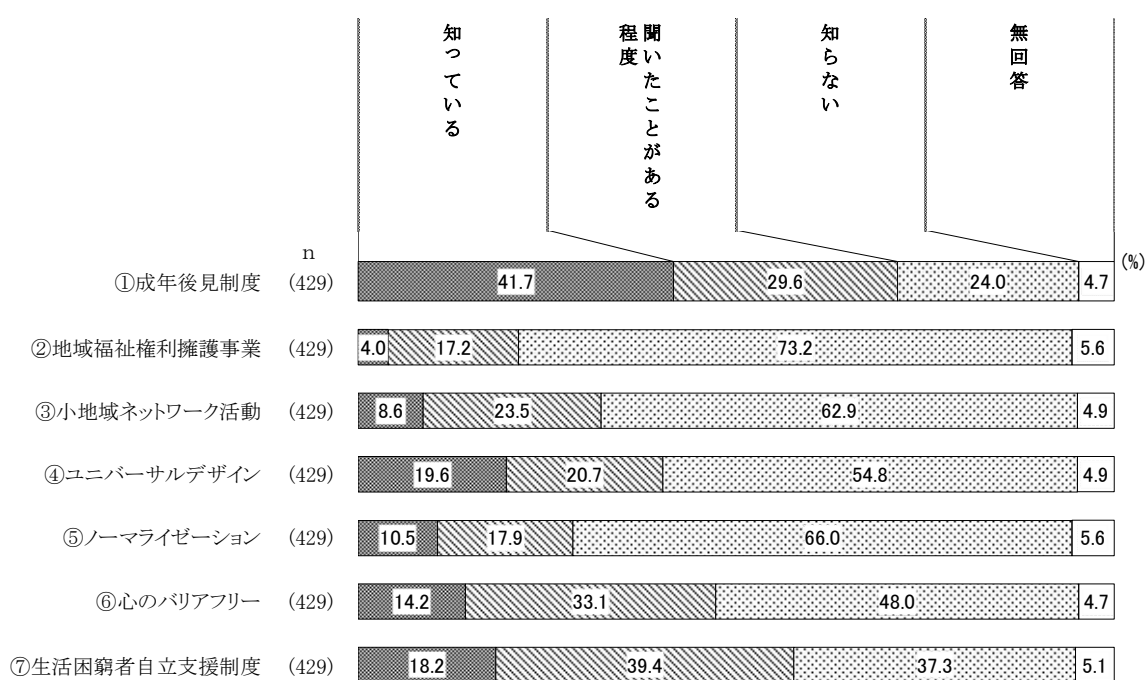


8. 福祉にかかわる制度や言葉の認知状況

問23 あなたは、次にあげる福祉に関わる制度や言葉をご存知ですか。(項目ごとに○はひとつ)

福祉にかかわる制度や言葉の認知状況については、「①成年後見制度」は「知らない」人は24.0%にとどまっているが、「②地域福祉権利擁護事業」(73.2%)では「知らない」人は7割、「③小地域ネットワーク活動」(62.9%)と「⑤ノーマライゼーション」(66.0%)では「知らない」人は6割を超えている。

福祉にかかわる制度や言葉の認知状況



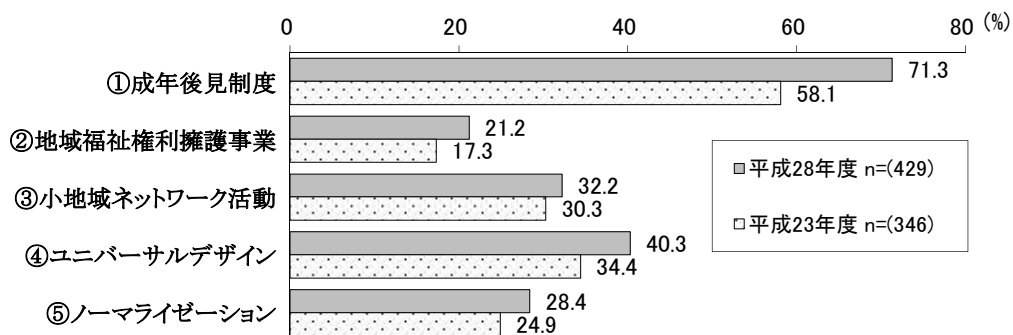
福祉にかかわる制度や言葉の認知状況 属性別認知率（年齢別）

（単位：％）

		調査数 (件)	①成年後見制度	②地域福祉権利擁護事業	③小地域ネットワーク活動	④ユニバーサルデザイン	⑤ノーマライゼーション	⑥心のバリアフリー	⑦生活困窮者自立支援制度
全 体		429	71.3	21.2	32.2	40.3	28.4	47.3	57.6
年 齢 別	20～39歳	70	70.0	17.1	14.3	57.1	47.1	61.4	57.1
	40～54歳	95	65.3	16.8	33.7	51.6	31.6	49.5	53.7
	55～64歳	77	80.5	23.4	36.4	50.6	32.5	55.8	67.5
	65～74歳	113	76.1	23.9	41.6	22.1	18.6	38.1	59.3
	75歳以上	59	64.4	23.7	27.1	23.7	13.6	35.6	49.2

<前回比較>

前回調査と比較すると、「①成年後見制度」の認知率は前回より13.2ポイント増加しており、全体的に前回より認知率は増加している。



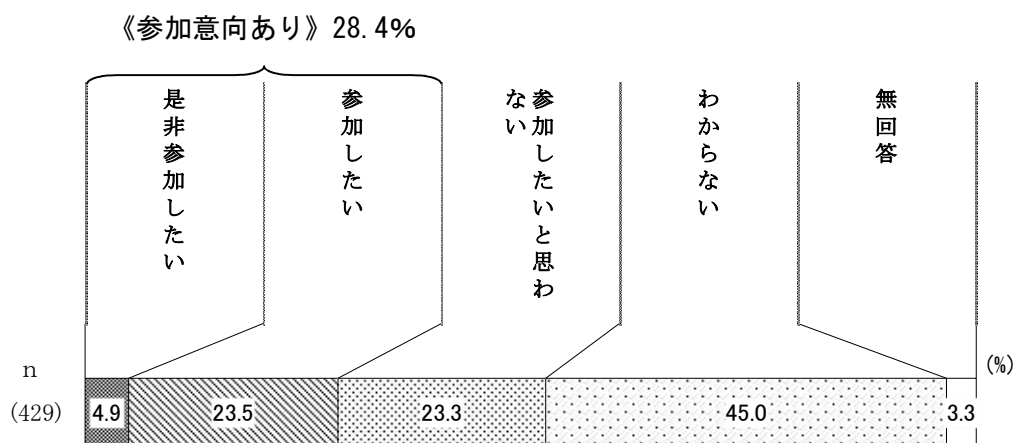
※⑥心のバリアフリーと⑦生活困窮者自立支援制度は今回からの新規項目であるため、前回のデータは無し

9. 福祉に関する講習や研修などの参加意向

問24 あなたは、今後福祉に関する講習や研修などがあった場合、参加したいと思いますか。
(○はひとつ)

福祉に関する講習や研修などの参加意向については、「わからない」が45.0%で最も多くなっている。一方で、「是非参加したい」(4.9%)と「参加したい」(23.5%)を合わせた“参加意向あり”は28.4%となっている。

福祉に関する講習や研修などの参加意向



福祉に関する講習や研修などの参加意向（年齢別）

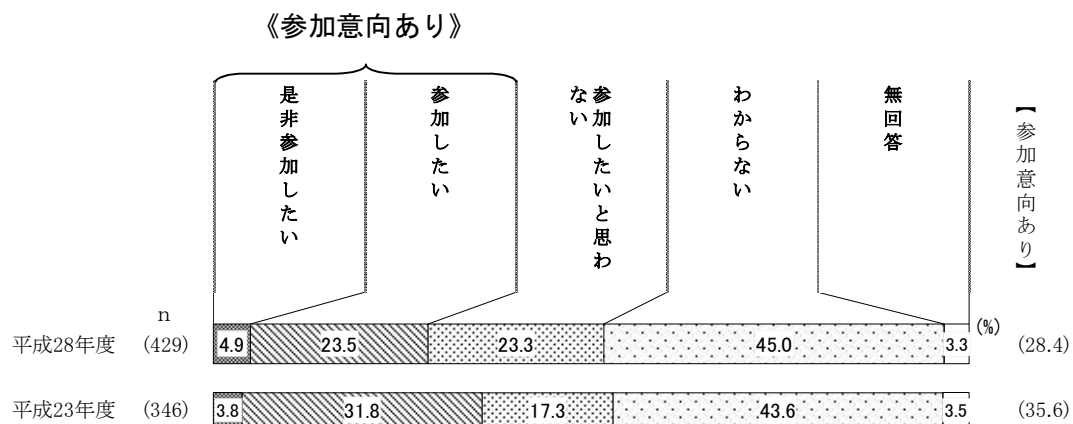
(単位：%)

		調査数 (件)	是非参加 したい	参加 したい	参加 したいと思 わない	わ か ら な い	無 回 答
全 体		429	4.9	23.5	23.3	45.0	3.3
年 齢 別	20～39歳	70	4.3	17.1	34.3	44.3	-
	40～54歳	95	8.4	21.1	18.9	48.4	3.2
	55～64歳	77	1.3	22.1	18.2	55.8	2.6
	65～74歳	113	5.3	26.5	25.7	39.8	2.7
	75歳以上	59	3.4	32.2	22.0	35.6	6.8

第3章 調査結果の詳細

<前回比較>

前回調査と比較すると、“参加意向あり”は前回より7.2ポイント減少している。

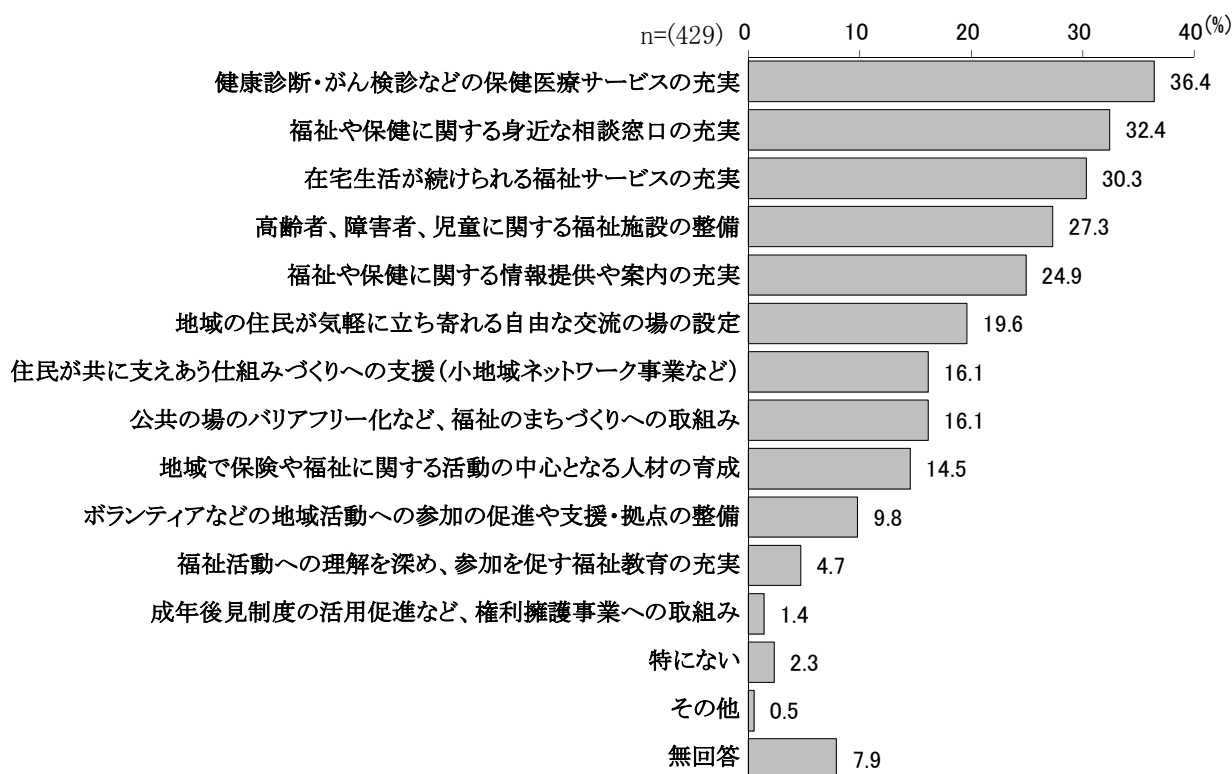


10. 今後優先して取り組むべき施策

問25 今後、羽村市が取り組むべき施策として、次のうちどれを優先して充実すべきだと思いますか。(〇は3つまで)

今後優先して取り組むべき施策については、「健康診断・がん検診などの保健医療サービスの充実」が36.4%で最も多く、次いで「福祉や保健に関する身近な相談窓口の充実」(32.4%)、「在宅生活が続けられる福祉サービスの充実」(30.3%)が3割台で続いている。

今後優先して取り組むべき施策



第3章 調査結果の詳細

今後優先して取り組むべき施策（年齢別/居住年数別/地区別）

（単位：％）

		調査数 (件)	健康診断・がん検診などの 保健医療サービスの充実	福祉や保健に関する身近な 相談窓口の充実	在宅生活が続けられる福祉 サービスの充実	高齢者、障害者、児童に関 する福祉施設の整備	福祉や保健に関する情報提 供や案内の充実	地域の住民が気軽に立ち寄 れる自由な交流の場の設定	住民が共に支えあう仕組み づくりへの支援（小地域 ネットワーク事業など）	公共の場のバリアフリー化 など、福祉のまちづくりへ の取り組み
全 体		429	36.4	32.4	30.3	27.3	24.9	19.6	16.1	16.1
年 齢 別	20～39歳	70	48.6	27.1	20.0	34.3	28.6	17.1	14.3	18.6
	40～54歳	95	35.8	30.5	29.5	30.5	25.3	14.7	13.7	11.6
	55～64歳	77	40.3	37.7	27.3	28.6	27.3	11.7	19.5	18.2
	65～74歳	113	34.5	38.9	35.4	21.2	25.7	24.8	16.8	18.6
	75歳以上	59	27.1	23.7	40.7	23.7	20.3	28.8	15.3	11.9
居 住 年 数 別	5年未満	36	44.4	27.8	30.6	25.0	25.0	25.0	13.9	25.0
	5～9年	32	40.6	15.6	25.0	34.4	21.9	15.6	9.4	25.0
	10～19年	63	38.1	33.3	23.8	30.2	22.2	14.3	20.6	14.3
	20～29年	64	40.6	29.7	25.0	28.1	23.4	25.0	14.1	17.2
	30～39年	92	37.0	35.9	28.3	32.6	26.1	17.4	19.6	13.0
	40年以上	122	31.1	37.7	41.0	21.3	27.9	19.7	15.6	14.8
地 区 別	小作台・栄町	81	38.3	34.6	32.1	28.4	23.5	17.3	16.0	14.8
	川崎・玉川・ 羽・羽東	55	38.2	25.5	25.5	34.5	27.3	16.4	21.8	18.2
	神明台	61	45.9	36.1	19.7	29.5	18.0	31.1	11.5	16.4
	富士見平・双葉 町	60	30.0	35.0	31.7	26.7	25.0	20.0	16.7	8.3
	羽加美・羽西・ 羽中	88	42.0	25.0	39.8	27.3	23.9	17.0	17.0	17.0
	五ノ神・緑ヶ丘	75	24.0	37.3	29.3	18.7	32.0	17.3	13.3	21.3

（次ページへ続く）

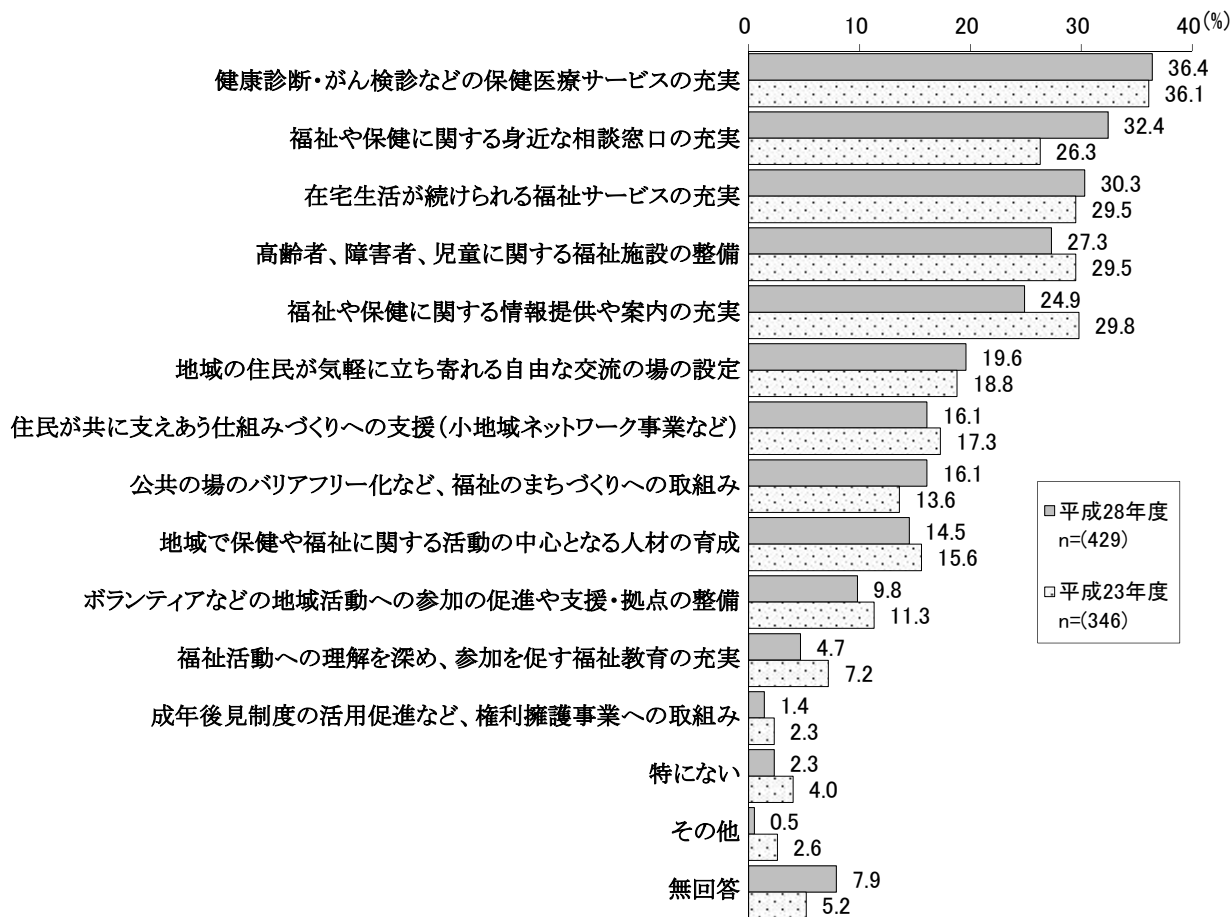
今後優先して取り組むべき施策（年齢別/居住年数別/地区別）続き

(単位：%)

		調査数 (件)	地域で保険や福祉に関する活動の中心となる人材の育成	拠点の整備	ボランティアなどの地域活動への参加の促進や支援	福祉活動への理解を深め、参加を促す福祉教育の充実	成年後見制度の活用促進など、権利擁護事業への取り組み	特になし	その他	無回答
全 体		429	14.5	9.8	4.7	1.4	2.3	0.5	7.9	
年齢別	20～39歳	70	17.1	5.7	2.9	-	1.4	-	8.6	
	40～54歳	95	18.9	16.8	5.3	2.1	2.1	1.1	5.3	
	55～64歳	77	14.3	7.8	2.6	-	-	-	10.4	
	65～74歳	113	12.4	6.2	8.0	0.9	3.5	0.9	4.4	
	75歳以上	59	11.9	13.6	3.4	3.4	1.7	-	11.9	
居住年数別	5年未満	36	13.9	13.9	2.8	-	2.8	2.8	8.3	
	5～9年	32	15.6	12.5	3.1	3.1	-	-	12.5	
	10～19年	63	15.9	4.8	6.3	1.6	3.2	1.6	6.3	
	20～29年	64	15.6	9.4	4.7	1.6	1.6	-	6.3	
	30～39年	92	15.2	7.6	3.3	-	2.2	-	9.8	
	40年以上	122	13.9	12.3	6.6	2.5	1.6	-	4.9	
地区別	小作台・栄町	81	17.3	9.9	3.7	1.2	2.5	1.2	8.6	
	川崎・玉川・羽・羽東	55	18.2	9.1	3.6	-	1.8	-	3.6	
	神明台	61	11.5	4.9	-	1.6	1.6	-	9.8	
	富士見平・双葉町	60	11.7	6.7	5.0	3.3	1.7	1.7	10.0	
	羽加美・羽西・羽中	88	13.6	15.9	4.5	2.3	2.3	-	4.5	
	五ノ神・緑ヶ丘	75	16.0	9.3	10.7	-	2.7	-	12.0	

<前回比較>

前回調査と比較すると、「福祉や保健に関する身近な相談窓口の充実」は前回より6.1ポイント増加し、順位は5位から2位に上昇している。

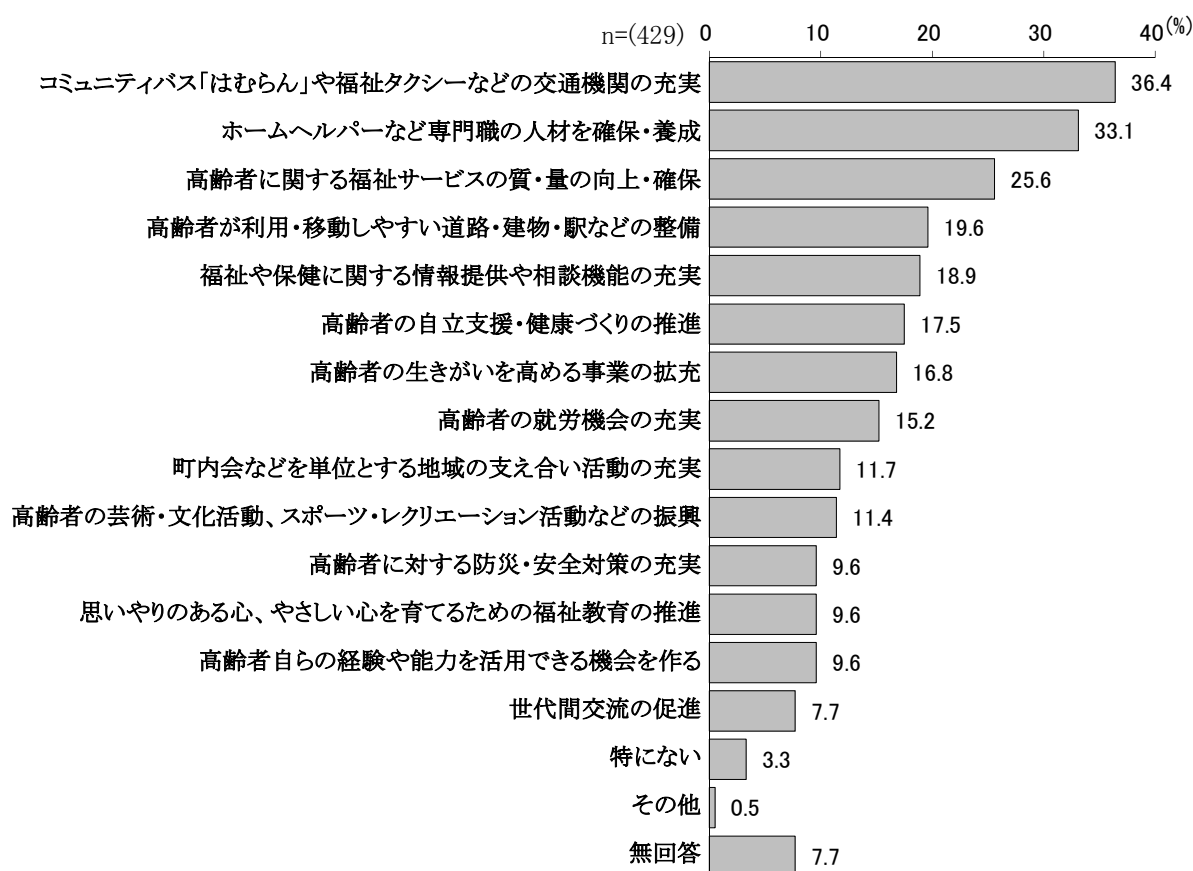


11. 高齢者の住みやすいまちづくりに重要なこと

問26 高齢者が暮らしやすいまちをつくるために、今後、羽村市においてはどのようなことが重要だと考えますか。(〇は3つまで)

高齢者の住みやすいまちづくりに重要なことについては、「コミュニティバス「はむらん」や福祉タクシーなどの交通機関の充実」が36.4%で最も多く、次いで「ホームヘルパーなど専門職の人材を確保・養成」(33.1%)、「高齢者に関する福祉サービスの質・量の向上・確保」(25.6%)と続いている。

高齢者の住みやすいまちづくりに重要なこと



高齢者の住みやすいまちづくりに重要なこと（年齢別/居住年数別/地区別）

（単位：％）

		調査数（件）	交通機関の充実	コミュニティバス「はむら」や福祉タクシーなどの充実	ホームヘルパーなど専門職の人材を確保・養成	高齢者に関する福祉サービスの質・量の向上・確保	高齢者が利用・移動しやすい道路・建物・駅などの整備	福祉や保健に関する情報提供や相談機能の充実	高齢者の自立支援・健康づくりの推進	高齢者の生きがいを高める事業の拡充	高齢者の就労機会の充実	町内会などを単位とする地域の支え合い活動の充実
全体		429	36.4	33.1	25.6	19.6	18.9	17.5	16.8	15.2	11.7	
年齢別	20～39歳	70	35.7	37.1	20.0	21.4	14.3	22.9	12.9	20.0	8.6	
	40～54歳	95	40.0	42.1	28.4	17.9	12.6	10.5	18.9	22.1	11.6	
	55～64歳	77	29.9	28.6	31.2	16.9	24.7	13.0	18.2	18.2	9.1	
	65～74歳	113	33.6	31.0	24.8	23.9	23.0	25.7	17.7	12.4	6.2	
	75歳以上	59	45.8	30.5	25.4	15.3	23.7	13.6	11.9	3.4	25.4	
居住年数別	5年未満	36	41.7	36.1	22.2	13.9	11.1	16.7	16.7	27.8	2.8	
	5～9年	32	34.4	56.3	28.1	21.9	3.1	9.4	6.3	28.1	15.6	
	10～19年	63	41.3	41.3	22.2	11.1	23.8	15.9	7.9	25.4	11.1	
	20～29年	64	32.8	23.4	25.0	23.4	18.8	20.3	23.4	9.4	9.4	
	30～39年	92	33.7	28.3	29.3	19.6	17.4	14.1	18.5	16.3	8.7	
	40年以上	122	36.1	31.1	26.2	23.0	24.6	22.1	19.7	7.4	17.2	
地区別	小作台・栄町	81	27.2	30.9	24.7	21.0	28.4	21.0	16.0	12.3	11.1	
	川崎・玉川・羽・羽東	55	40.0	30.9	32.7	25.5	21.8	23.6	16.4	14.5	12.7	
	神明台	61	47.5	34.4	27.9	14.8	16.4	19.7	13.1	18.0	9.8	
	富士見平・双葉町	60	38.3	36.7	25.0	20.0	13.3	11.7	5.0	23.3	10.0	
	羽加美・羽西・羽中	88	37.5	38.6	20.5	15.9	13.6	15.9	28.4	14.8	10.2	
	五ノ神・緑ヶ丘	75	32.0	29.3	25.3	21.3	20.0	16.0	16.0	10.7	16.0	

（次ページへ続く）

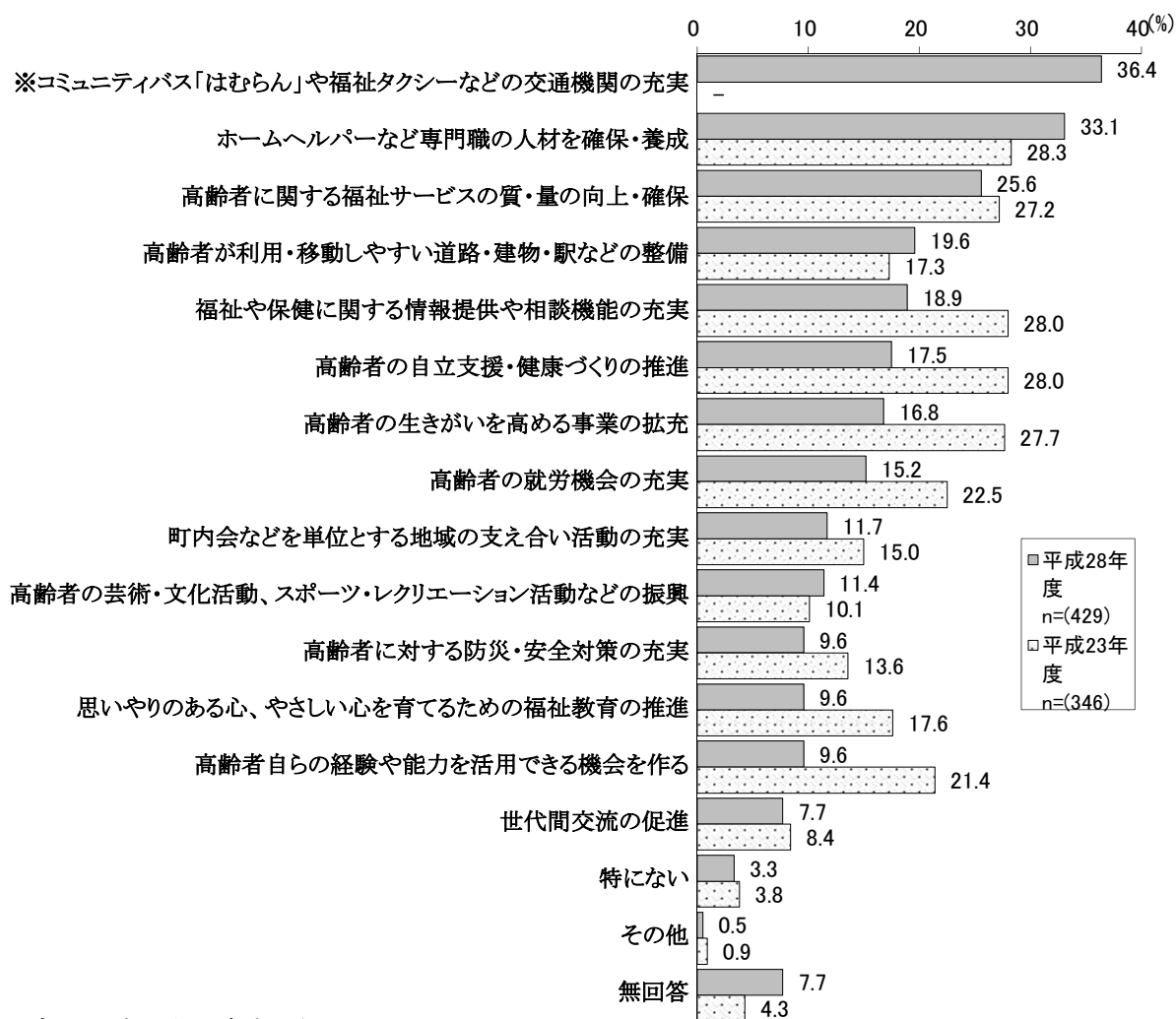
高齢者の住みやすいまちづくりに重要なこと（年齢別/居住年数別/地区別）続き

(単位：%)

		調査数 (件)	高齢者の芸術・文化活動、 スポーツ・レクリエーション 活動などの振興	高齢者に対する防災・安全 対策の充実	思いやりのある心、やさし い心を育てるための福祉教 育の推進	高齢者自らの経験や能力を 活用できる機会を作る	世代間交流の促進	特 に な い	そ の 他	無 回 答
全 体		429	11.4	9.6	9.6	9.6	7.7	3.3	0.5	7.7
年 齢 別	20～39歳	70	8.6	8.6	8.6	15.7	17.1	2.9	-	4.3
	40～54歳	95	5.3	10.5	9.5	10.5	7.4	2.1	1.1	5.3
	55～64歳	77	11.7	14.3	10.4	7.8	10.4	2.6	-	7.8
	65～74歳	113	17.7	8.8	8.8	7.1	3.5	3.5	-	7.1
	75歳以上	59	11.9	5.1	6.8	10.2	1.7	3.4	1.7	13.6
居 住 年 数 別	5年未満	36	19.4	8.3	13.9	13.9	16.7	-	-	2.8
	5～9年	32	9.4	6.3	6.3	12.5	3.1	-	-	9.4
	10～19年	63	7.9	7.9	6.3	6.3	7.9	4.8	1.6	6.3
	20～29年	64	12.5	10.9	10.9	10.9	6.3	6.3	-	6.3
	30～39年	92	14.1	8.7	7.6	13.0	12.0	1.1	-	12
	40年以上	122	8.2	10.7	10.7	7.4	3.3	4.1	0.8	6.6
地 区 別	小作台・栄町	81	14.8	8.6	14.8	11.1	6.2	2.5	1.2	6.2
	川崎・玉川・ 羽・羽東	55	5.5	5.5	10.9	10.9	5.5	3.6	-	5.5
	神明台	61	13.1	8.2	8.2	6.6	6.6	1.6	-	8.2
	富士見平・双葉 町	60	8.3	15.0	6.7	13.3	15.0	3.3	-	6.7
	羽加美・羽西・ 羽中	88	15.9	10.2	5.7	9.1	5.7	4.5	1.1	6.8
	五ノ神・緑ヶ丘	75	6.7	9.3	9.3	8.0	8.0	2.7	-	13.3

<前回調査>

前回調査と比較すると、「高齢者の自立支援・健康づくりの推進」「高齢者の生きがいを高める事業の拡充」「高齢者自らの経験や能力を活用できる機会を作る」が前回より10ポイント以上減少している。



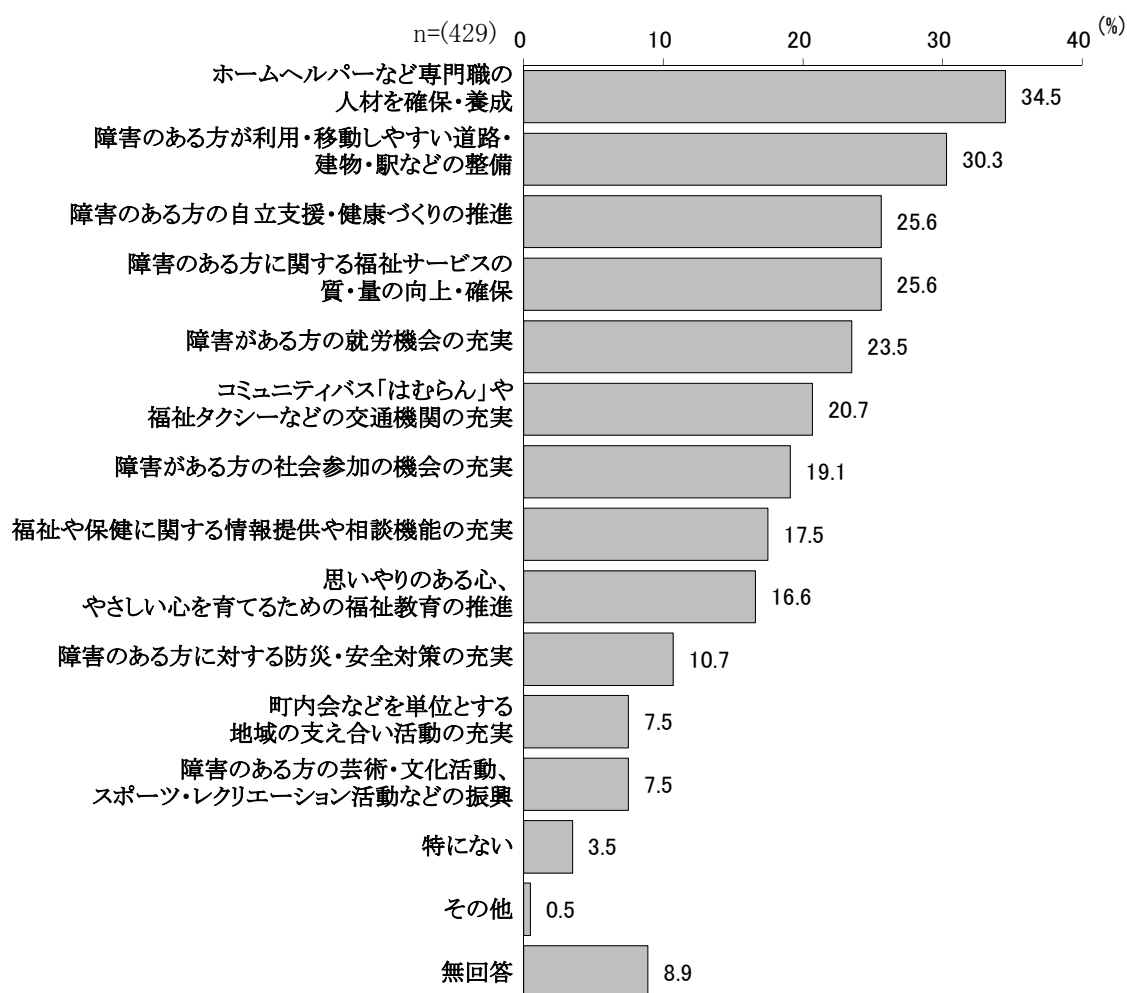
※印は今回調査からの新規項目

12. 障害のある方の住みやすいまちづくりに重要なこと

問27 障害のある方が暮らしやすいまちをつくるためには、今後、羽村市においてはどのようなことが重要だと考えますか。(〇は3つまで)

障害のある方の住みやすいまちづくりに重要なことについては、「ホームヘルパーなど専門職の人材を確保・養成」(34.5%)、「障害のある方が利用・移動しやすい道路・建物・駅などの整備」(30.3%)が3割台で上位にあげられている。次いで、「障害のある方の自立支援・健康づくりの推進」(25.6%)、「障害のある方に関する福祉サービスの質・量の向上・確保」(25.6%)、「障害がある方の就労機会の充実」(23.5%)、「コミュニティバス「はむらん」や福祉タクシーなどの交通機関の充実」(20.7%)の4項目が2割台で続いている。

障害のある方の住みやすいまちづくりに重要なこと



第3章 調査結果の詳細

障害のある方の住みやすいまちづくりに重要なこと（年齢別/居住年数別/地区別）

（単位：％）

		調査数 (件)	ホームヘルパーなど専門職の人材を確保・養成	障害のある方が利用・移動しやすい道路・建物・駅などの整備	障害のある方の自立支援・健康づくりの推進	障害のある方に関する福祉サービスの質・量の向上・確保	障害がある方の就労機会の充実	「コミュニティバス」「はむら」や福祉タクシーなどの交通機関の充実	障害がある方の社会参加の機会の充実	福祉や保健に関する情報提供や相談機能の充実
全 体		429	34.5	30.3	25.6	25.6	23.5	20.7	19.1	17.5
年 齢 別	20～39歳	70	35.7	31.4	28.6	25.7	28.6	14.3	24.3	14.3
	40～54歳	95	40.0	29.5	12.6	25.3	29.5	23.2	22.1	11.6
	55～64歳	77	29.9	26.0	27.3	39.0	24.7	16.9	27.3	20.8
	65～74歳	113	31.9	38.1	35.4	19.5	23.0	23.0	15.0	19.5
	75歳以上	59	39.0	23.7	23.7	20.3	10.2	25.4	5.1	23.7
居 住 年 数 別	5年未満	36	30.6	30.6	19.4	22.2	41.7	27.8	30.6	13.9
	5～9年	32	37.5	25.0	25.0	31.3	25.0	9.4	25.0	15.6
	10～19年	63	44.4	30.2	25.4	14.3	34.9	25.4	15.9	19.0
	20～29年	64	34.4	31.3	26.6	23.4	15.6	15.6	20.3	14.1
	30～39年	92	37.0	30.4	27.2	26.1	22.8	18.5	25.0	17.4
	40年以上	122	30.3	32.0	27.9	32.8	18.9	22.1	11.5	21.3
地 区 別	小作台・栄町	81	38.3	27.2	37.0	25.9	27.2	18.5	9.9	17.3
	川崎・玉川・羽・羽東	55	30.9	34.5	23.6	40.0	23.6	12.7	27.3	20.0
	神明台	61	36.1	41.0	13.1	19.7	23.0	36.1	14.8	21.3
	富士見平・双葉町	60	36.7	21.7	20.0	20.0	20.0	23.3	21.7	13.3
	羽加美・羽西・羽中	88	28.4	31.8	31.8	23.9	26.1	22.7	18.2	14.8
	五ノ神・緑ヶ丘	75	38.7	29.3	22.7	22.7	22.7	12.0	24.0	18.7

（次ページへ続く）

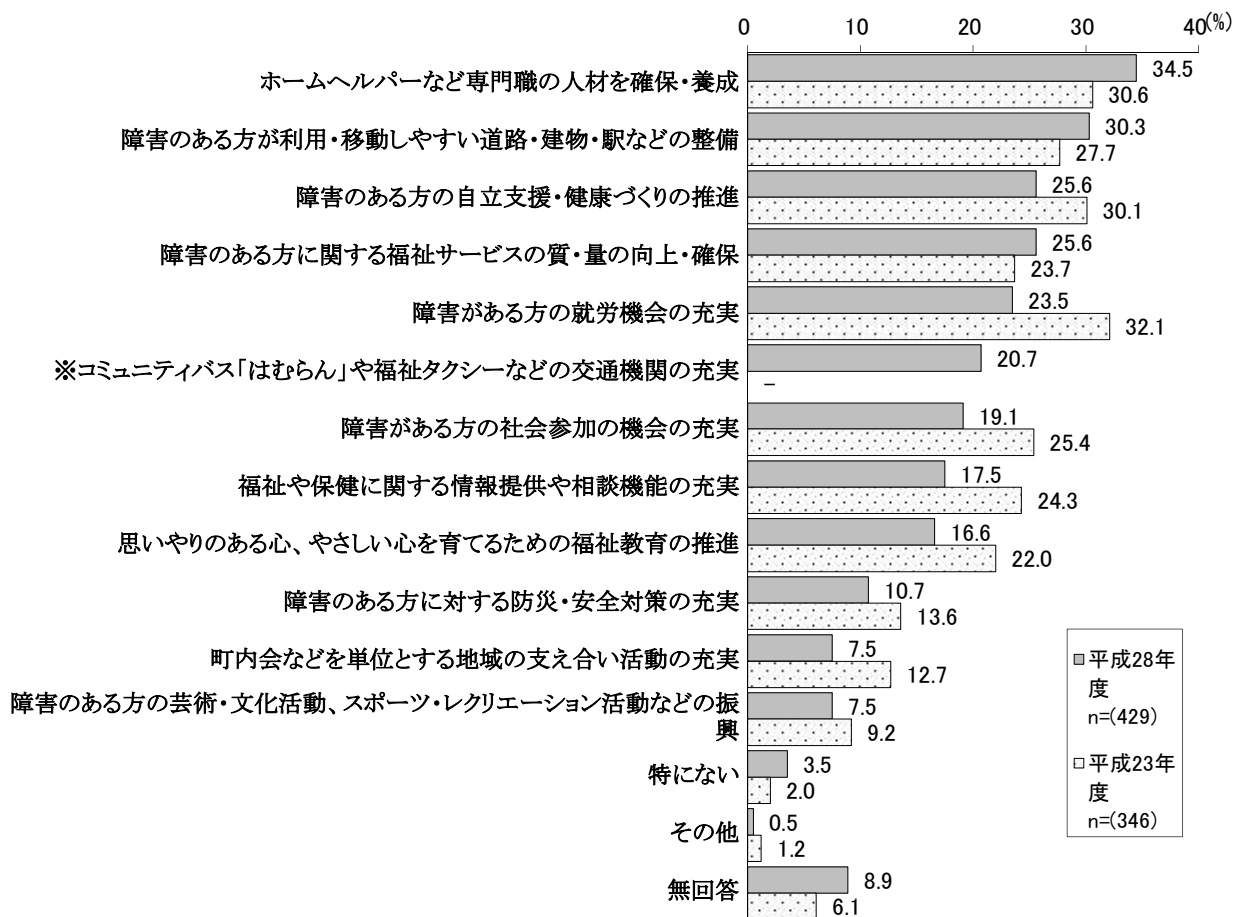
障害のある方の住みやすいまちづくりに重要なこと（年齢別/居住年数別/地区別）続き

（単位：％）

	調査数 (件)	推 進 心 を 育 て る た め の 福 祉 教 育 の 推 進	思 い や り の あ る 心 、 や さ し い 心	障 害 の あ る 方 に 対 す る 防 災 ・ 安 全 対 策 の 充 実	町 内 会 な ど を 単 位 と す る 地 域 の 支 え 合 い 活 動 の 充 実	障 害 の あ る 方 の 芸 術 ・ 文 化 活 動 、 ス ポ ー ツ ・ レ ク リ エ ー シ ョ ン 活 動 な ど の 振 興	特 に な い	そ の 他	無 回 答
全 体	429	16.6	10.7	7.5	7.5	3.5	0.5	8.9	
年 齢 別	20～39歳	70	20.0	12.9	5.7	11.4	5.7	-	1.4
	40～54歳	95	20.0	11.6	3.2	9.5	3.2	-	7.4
	55～64歳	77	13.0	10.4	6.5	2.6	2.6	-	9.1
	65～74歳	113	15.0	9.7	8.8	8.8	3.5	0.9	8.8
	75歳以上	59	13.6	10.2	15.3	1.7	1.7	1.7	16.9
居 住 年 数 別	5年未満	36	22.2	5.6	-	2.8	2.8	-	5.6
	5～9年	32	12.5	15.6	3.1	9.4	6.3	-	6.3
	10～19年	63	11.1	12.7	3.2	6.3	3.2	-	7.9
	20～29年	64	18.8	7.8	12.5	10.9	6.3	-	3.1
	30～39年	92	15.2	8.7	6.5	8.7	1.1	-	13.0
	40年以上	122	18.0	13.1	9.8	6.6	4.1	1.6	8.2
地 区 別	小作台・栄町	81	22.2	14.8	3.7	7.4	1.2	-	8.6
	川崎・玉川・ 羽・羽東	55	14.5	9.1	5.5	10.9	5.5	-	3.6
	神明台	61	8.2	6.6	13.1	1.6	3.3	1.6	9.8
	富士見平・双葉 町	60	25.0	16.7	6.7	1.7	1.7	-	11.7
	羽加美・羽西・ 羽中	88	9.1	13.6	9.1	11.4	4.5	-	9.1
	五ノ神・緑ヶ丘	75	18.7	2.7	6.7	9.3	5.3	1.3	10.7

<前回比較>

前回調査と比較すると、「障害がある方の就労機会の充実」は前回より8.6ポイント減少し、順位も1位から5位に下がっている。



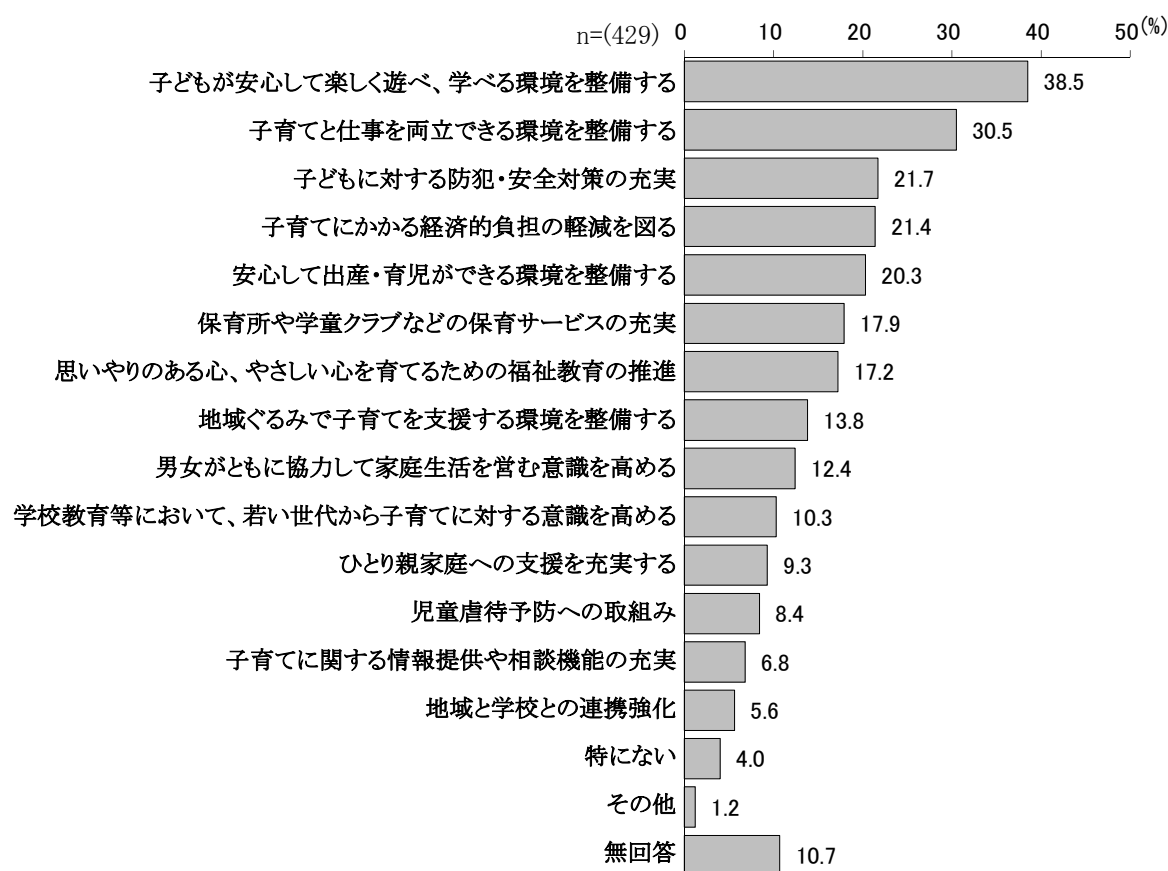
※印は今回調査からの新規項目

13. 子どもを健やかに育てるために重要なこと

問28 子どもを健やかに育てるために、今後、羽村市においてはどのようなことが重要だと考えますか。(〇は3つまで)

子どもを健やかに育てるために重要なことについては、「子どもが安心して楽しく遊べ、学べる環境を整備する」が38.5%で最も多く、次いで「子育てと仕事を両立できる環境を整備する」(30.5%)、「子どもに対する防犯・安全対策の充実」(21.7%)、「子育てにかかる経済的負担の軽減を図る」(21.4%)、「安心して出産・育児ができる環境を整備する」(20.3%)が続いている。

子どもを健やかに育てるために重要なこと



第3章 調査結果の詳細

子どもを健やかに育てるために重要なこと（年齢別/居住年数別/地区別）

（単位：％）

		調査数（件）	子どもが安心して遊ぶ、学べる環境を整備する	子育てと仕事を両立できる環境を整備する	子どもに対する防犯・安全対策の充実	子育てにかかる経済的負担の軽減を図る	安心して出産・育児ができる環境を整備する	保育所や学童クラブなどの保育サービスの充実	思いやりのある心、やさしい心を育てるための福祉教育の推進	地域ぐるみで子育てを支援する環境を整備する	男女がともに協力して家庭生活を営む意識を高める
全体		429	38.5	30.5	21.7	21.4	20.3	17.9	17.2	13.8	12.4
年齢別	20～39歳	70	40.0	37.1	25.7	37.1	25.7	15.7	4.3	18.6	18.6
	40～54歳	95	38.9	31.6	32.6	21.1	15.8	13.7	13.7	5.3	15.8
	55～64歳	77	27.3	37.7	14.3	20.8	22.1	22.1	14.3	22.1	16.9
	65～74歳	113	45.1	23.9	21.2	15.9	24.8	24.8	20.4	13.3	7.1
	75歳以上	59	33.9	27.1	15.3	15.3	11.9	13.6	28.8	15.3	6.8
居住年数別	5年未満	36	44.4	27.8	25.0	27.8	22.2	16.7	8.3	11.1	19.4
	5～9年	32	40.6	37.5	21.9	37.5	21.9	18.8	15.6	15.6	18.8
	10～19年	63	41.3	30.2	33.3	19.0	14.3	15.9	17.5	11.1	12.7
	20～29年	64	39.1	26.6	18.8	25.0	20.3	20.3	7.8	20.3	12.5
	30～39年	92	30.4	37.0	16.3	20.7	18.5	22.8	8.7	10.9	13.0
	40年以上	122	38.5	27.9	23.0	15.6	23.8	17.2	27.9	15.6	8.2
地区別	小作台・栄町	81	46.9	30.9	19.8	19.8	24.7	18.5	14.8	11.1	17.3
	川崎・玉川・羽・羽東	55	41.8	25.5	18.2	32.7	23.6	18.2	23.6	16.4	10.9
	神明台	61	34.4	36.1	18.0	23.0	16.4	14.8	14.8	14.8	18.0
	富士見平・双葉町	60	43.3	28.3	25.0	21.7	20.0	15.0	13.3	15.0	15.0
	羽加美・羽西・羽中	88	30.7	36.4	26.1	19.3	19.3	21.6	14.8	11.4	5.7
	五ノ神・緑ヶ丘	75	32.0	25.3	21.3	17.3	17.3	20.0	20.0	14.7	10.7

（次ページへ続く）

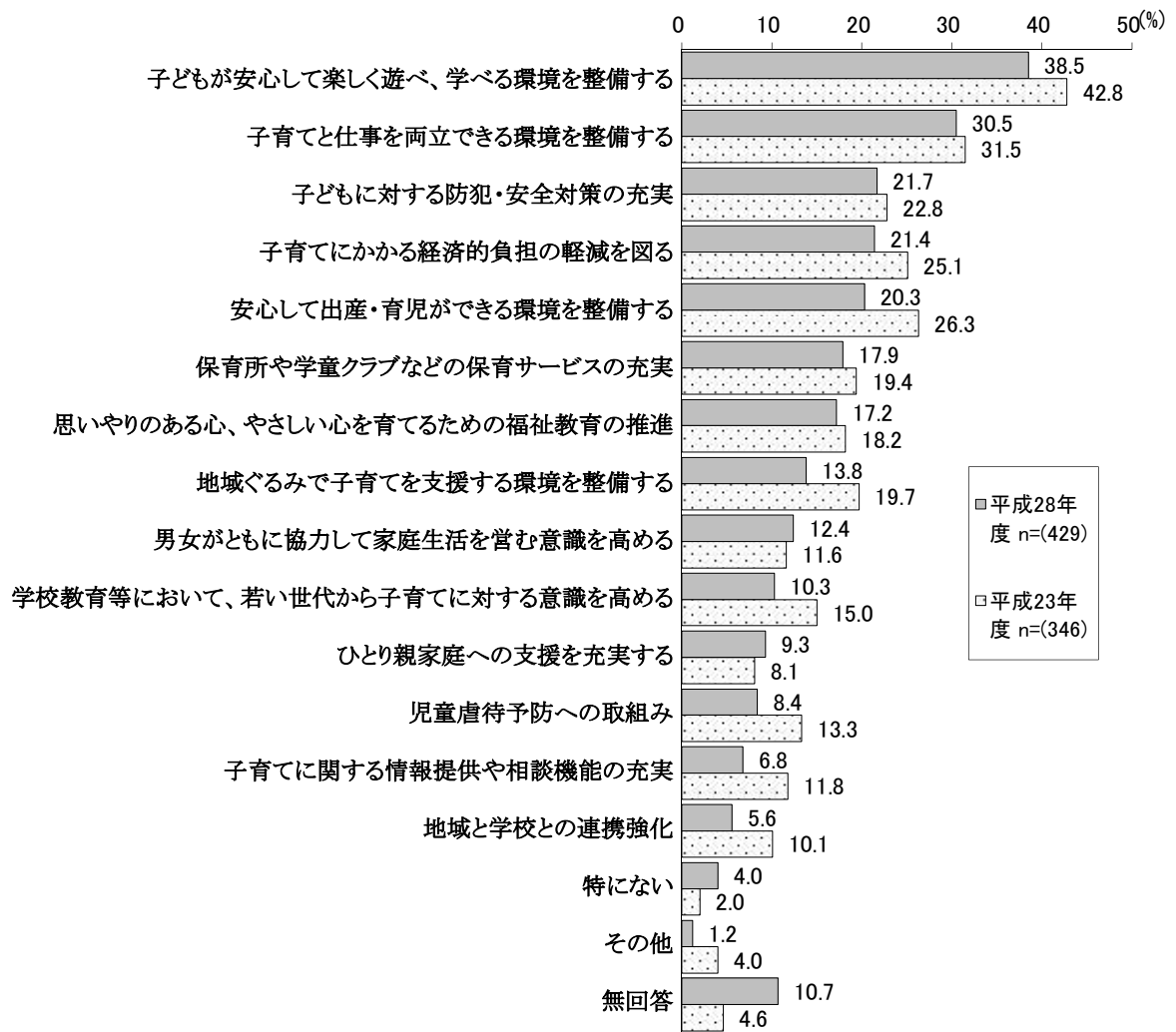
子どもを健やかに育てるために重要なこと（年齢別/居住年数別/地区別）続き

(単位：%)

		調査数 (件)	学校教育等において、若い世代から子育てに対する意識を高める	ひとり親家庭への支援を充実する	児童虐待予防への取組み	子育てに関する情報提供や相談機能の充実	地域と学校との連携強化	特 に な い	その他	無 回 答
全 体		429	10.3	9.3	8.4	6.8	5.6	4.0	1.2	10.7
年 齢 別	20～39歳	70	2.9	2.9	7.1	5.7	8.6	1.4	-	11.4
	40～54歳	95	11.6	11.6	7.4	8.4	4.2	4.2	-	9.5
	55～64歳	77	15.6	9.1	5.2	11.7	3.9	1.3	2.6	6.5
	65～74歳	113	7.1	10.6	10.6	4.4	3.5	6.2	2.7	8.8
	75歳以上	59	16.9	11.9	8.5	3.4	11.9	5.1	-	16.9
居 住 年 数 別	5年未満	36	5.6	8.3	8.3	8.3	5.6	2.8	-	8.3
	5～9年	32	9.4	9.4	3.1	3.1	3.1	-	-	9.4
	10～19年	63	7.9	9.5	4.8	6.3	3.2	3.2	1.6	14.3
	20～29年	64	7.8	4.7	4.7	9.4	6.3	7.8	3.1	7.8
	30～39年	92	5.4	12.0	13.0	9.8	8.7	5.4	-	12.0
	40年以上	122	16.4	9.0	9.0	4.9	5.7	3.3	1.6	9.0
地 区 別	小作台・栄町	81	11.1	12.3	11.1	6.2	4.9	1.2	-	9.9
	川崎・玉川・羽・羽東	55	10.9	10.9	7.3	7.3	1.8	5.5	1.8	1.8
	神明台	61	14.8	6.6	4.9	1.6	4.9	6.6	3.3	13.1
	富士見平・双葉町	60	5.0	11.7	10.0	6.7	8.3	3.3	-	8.3
	羽加美・羽西・羽中	88	8.0	8.0	10.2	6.8	6.8	5.7	1.1	12.5
	五ノ神・緑ヶ丘	75	12.0	6.7	6.7	9.3	5.3	2.7	1.3	17.3

<前回調査>

前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。



14. 自由回答

問29 その他なんでも結構です。誰もが安心して暮らすことができるまちにするためのご意見を自由にお書きください。

内容	件数
① 高齢者・介護の分野	17
集いの場の充実	6
安心した生活	3
情報の周知	2
経済的負担	2
その他	4
② 障害者の分野	4
障害者への手助け	2
障害児対策	2
③ 子ども・児童・家庭・子育て分野	14
教育の充実	7
待機児童対策	2
その他	5
④ 防災・防犯分野	15
治安対策	6
街灯の設置	5
防災対策	4
⑤ まちづくり	23
道路整備	7
環境美化	8
交通機関の充実	5
その他	3
⑥ その他	59
町内会活動	11
羽村市の市政	8
市職員の対応	7
アンケート調査の内容	5
情報の周知	5
羽村市は住みよい街	5
経済的支援	3
就労支援	2
ボランティア	2
その他	11

資料 調査票

羽村市地域福祉に関するアンケート調査

～調査ご協力のお願い～

皆様には、日頃から市政にご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、羽村市では地域福祉推進のため各種の施策を実施しておりますが、平成29年度において、地域福祉を一体的・計画的に推進するための「第五次羽村市地域福祉計画」を策定する予定です。

策定にあたり、市民の皆様の地域福祉に関する生活実態やご要望などを把握するため、住民基本台帳から無作為に抽出された20歳以上の市民の方1,000人を対象として「羽村市地域福祉に関するアンケート調査」を実施することといたしました。

なお、調査は無記名で行い、回答は全て統計的に処理しますので、お答えいただいた方が特定されることはなく、ご迷惑をおかけすることはありません。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成29年3月

ご記入にあたってのお願い

- 本調査票は、できるかぎり、あて名のご本人がお答えいただきますようお願いいたします。
また、ご本人がお答えになれない場合は、ご本人に代わってご家族がご本人のことをお答えください。
- お答えは（○はひとつ）、（あてはまるものすべてに○）などの指示に従って、該当する項目の番号に○印をつけてください。
- 回答が「その他」にあてはまる場合は、（ ）内に内容を具体的にご記入ください。
- 回答によって、答えなくてもよい質問があります。質問中の指示に従ってお進みください。
- 無記名方式ですので、お答えいただいた内容でご迷惑をおかけすることは絶対にありません。ありのままをお答えください。
- 記入された調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて平成29年3月24日（金）までに投函してください。
- ご回答いただくうえでご不明な点、調査に関するお問合せは下記へお願いいたします。

羽村市福祉健康部社会福祉課庶務係 TEL042-555-1111 内線112
FAX042-555-7323

はじめに、あなたご自身のことについて伺います

ア	あなたの性別	1. 男性 2. 女性
イ	あなたの年齢	() 歳
ウ	あなたの職業	1. 正社員・正職員 2. 派遣・契約社員 3. 自営業・自由業（農林業含む） 4. アルバイト・パートタイム 5. 学生 6. 家事専業 7. 無職 8. その他 ()
エ	あなたの羽村市での居住年数	() 年
オ	あなたのお住まいの地区	1. 小作台 2. 川崎 3. 五ノ神 4. 栄町 5. 神明台 6. 玉川 7. 羽 8. 羽加美 9. 羽中 10. 羽東 11. 羽西 12. 富士見平 13. 双葉町 14. 緑ヶ丘 15. その他 ()
カ	あなたのお住まいは次のうちどれですか。 (○はひとつ)	1. 持ち家（一戸建て） 2. 持ち家（マンションなどの集合住宅） 3. 民間の賃貸住宅（一戸建て） 4. 民間の賃貸住宅（マンションなどの集合住宅） 5. 公営住宅 6. 社宅（会社が借り上げているアパート等含む） 7. 学生寮 8. その他 ()

あなたのお世帯についてお聞きします

キ	あなたのご家族は何人ですか。 あなた自身も含めてください。	() 人
ク	あなたが一緒に住んでいるのはどなたですか。 (○はひとつ) (カッコ内にA～Cの選択肢がある場合は該当項目にも○)	1. ひとり暮らし 2. 夫婦のみ 3. 二世世代家族 (A. 親と同居 B. 子どもと同居) 4. 三世世代家族 { A. 子どもと孫と同居 B. 親と子どもと同居 C. 親とその親と同居 } 5. その他 ()
ケ	あなたのお世帯に次のような人はいますか (○はいくつでも)	1. 小学校入学前の子ども 2. 小学生から高校生の子どもの

	3. 日常生活を送る上で介護を必要とする方 4. 「ひきこもり（※注1）」の状態にある方 5. 「ニート（※注2）」の状態にある方 6. 65～74歳の方 7. 75歳以上の方 8. 該当なし
--	---

※注1：仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人と交流をほとんどせずに、6か月以上自宅に引きこもっている状態にある方

※注2：15～34歳で、仕事についていない方のうち、家事も通学もしていない方

地域で暮らしについてうかがいます

問1 あなたが現在お住まいの地域での暮らしやすさについて、どの程度満足していますか。

（項目ごとに○はひとつ）

	かなり満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	かなり不満である
① 隣近所などのおつきあい	1	2	3	4	5
② 自治会や町内会の活動	1	2	3	4	5
③ 地域でのボランティア活動	1	2	3	4	5
④ 地域の防犯体制	1	2	3	4	5
⑤ 地域の防災体制	1	2	3	4	5
⑥ 福祉・保健の相談体制	1	2	3	4	5
⑦ 病院など医療関係施設	1	2	3	4	5
⑧ 高齢者が安心して暮らせる環境	1	2	3	4	5
⑨ 障害のある方が安心して暮らせる環境	1	2	3	4	5
⑩ 子どもが安心して暮らせる環境	1	2	3	4	5

問1-1 地域で安心して暮らしていくためには、どのようなことが重要だと思いますか。

（あてはまるものすべてに○）

1. 隣近所などのおつきあい	2. 自治会や町内会の活動	
3. 地域でのボランティア活動	4. 地域の防犯体制	5. 地域の防災体制
6. 福祉・保健の相談体制	7. 病院など医療関係施設	
8. 高齢者が安心して暮らせる環境	9. 障害のある方が安心して暮らせる環境	
10. 子どもが安心して暮らせる環境		

問2 あなたが現在お住まいの地域の暮らしやすさを総合的に考えると、どの程度満足していますか。(〇はひとつ)

- | | | |
|--------------|-------------|--------------|
| 1. かなり満足している | 2. まあ満足している | 3. どちらともいえない |
| 4. やや不満である | 5. かなり不満である | |

問3 あなたは、毎日の暮らしのなかで、どのような悩みや不安を感じていますか。(〇は3つまで)

- | | | |
|-----------|-----------------------------|-----------|
| 1. 自分の健康 | 2. 家族の健康 | 3. 子育ての問題 |
| 4. 介護の問題 | 5. 自分や家族の生活上(進学・就職・結婚など)の問題 | |
| 6. 経済的な問題 | 7. 隣近所との関係 | 8. 特にない |
| 9. その他() | | |

問3-1 (問3で「6. 経済的な問題」に〇をつけた方におうかがいします)

経済的な問題が生じている理由としてはどんなものが考えられますか。

(あてはまるものすべてに〇)

- | |
|--------------------------|
| 1. 求職中だが、仕事が決まらない |
| 2. 仕事をしているが、収入が十分でない |
| 3. 病気や障害で、仕事することが困難になった |
| 4. 債務があるため、返済が家計を圧迫している |
| 5. 仕事をしていない家族の生活費を負担している |
| 6. 家計管理が苦手であり、収支の管理が難しい |
| 7. その他() |

問4 悩みや不安がある時には、誰に相談していますか。(あてはまるものすべてに〇)

- | | | |
|------------|----------------|-----------------|
| 1. 家族・親戚 | 2. 友人・知人 | 3. 近所の人 |
| 4. 職場の人 | 5. 市の相談窓口 | 6. 社会福祉協議会の相談窓口 |
| 7. 民生・児童委員 | 8. ボランティア | 9. 民間の電話相談 |
| 10. 特にない | 11. 誰にも相談したくない | |
| 12. その他() | | |

問5 あなたは、日頃、隣近所とどのようなつきあい方をしていますか。(〇はひとつ)

- | |
|------------------------------|
| 1. 困った時には相談したり、助け合ったりしている |
| 2. 一緒にお茶を飲んだり、留守のときに声をかけあう程度 |
| 3. たまに立ち話をする程度 |
| 4. 会えばあいさつをかわす程度 |
| 5. つきあいがほとんどない |

問5-1 今後、隣近所とはどの程度のつきあい方を望んでいますか。

問5の選択肢の番号を下の口に記入してください。(選択はひとつ)

問6 あなたが、将来高齢になったときや、病気や事故などで日常生活が不自由になったとき、地域の人にどのようなことをしてほしいですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 安否確認の声かけ
2. ちょっとした買い物やゴミ出し
3. 食事を作ったり、掃除や洗濯の手伝い
4. 通院の送迎や外出の手助け
5. 子どもの預かり
6. 話し相手や相談相手
7. 具合が良くない時に、病院や市役所などに連絡する
8. 特にない
9. その他 ()

問6-1 あなたがお住まいの地域で、日常生活を送るうえで心配な方や、高齢、障害、子育てなどで困っているご家庭があった場合、あなたにできることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 安否確認の声かけ
2. ちょっとした買い物やゴミ出し
3. 食事を作ったり、掃除や洗濯の手伝い
4. 通院の送迎や外出の手助け
5. 子どもの預かり
6. 話し相手や相談相手
7. 具合が良くない時に、病院や市役所などに連絡する
8. 特にない
9. その他 ()

問7 あなたは、地域での生活で生じる問題に対して、住民相互の自主的な協力関係が必要だと思いませんか。(○はひとつ)

1. かなり必要だと思う
2. まあ必要だと思う
3. どちらともいえない
4. あまり必要だと思わない
5. ほとんど必要だと思わない

問7-1 (問7で「1. かなり必要だと思う」「2. まあ必要だと思う」に○をつけた方におうかがいします)
どんなことが必要だと思われますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 自ら進んで日頃から住民相互のつながりをもつように心がけること |
| 2. 仕事を持つ男性、男性退職者が地域の活動に積極的に参加すること |
| 3. 自治会や町内会が中心となって住民相互の交流活動を積極的に進めること |
| 4. ボランティアやNPO（民間非営利組織）団体の活動を盛んにすること |
| 5. 支え合いの仲間づくりの機会と場所の確保 |
| 6. 支える人と支えられる人を調整する機関 |
| 7. 支え合いのきっかけとなる事業の創設と推進 |
| 8. 地域の課題を共有するための連絡会やネットワークの結成 |
| 9. 地域の人気が集まれる場所を作ること |
| 10. 地域の企業・団体が日頃から地域社会の活動に参加できるようにすること |
| 11. 行政が地域活動の相談や支援体制を充実させること |
| 12. 行政、事業者、ボランティア・NPOと住民組織との連携 |
| 13. わからない |
| 14. その他（) |

問8 あなたは、「地域」という言葉を聞いたとき、どの範囲を思い浮かべますか。(○はひとつ)

- | | | | |
|----------------------------|------------|---------|---------|
| 1. 隣近所 | 2. 町内会・自治会 | 3. 小学校区 | 4. 中学校区 |
| 5. 地区（小作台、川崎…などの町名ごとによる区域） | 6. 市全体 | | |
| 7. その他（) | | | |

問9 あなたは、災害がおこった場合に、住民がお互いにどのような支援をすることが必要だと考えますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 災害直後の安否確認や声かけ | 2. 災害や避難に関する情報提供 |
| 3. 避難所などへの移動の支援 | 4. 避難所の運営の協力 |
| 5. 支援は特に必要ない | 6. わからない |
| 7. その他（) | |

行政と地域住民との関わりについてうかがいます

問10 あなたは、行政や福祉サービスに関する情報をどのように入手していますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1. 家族から | 2. 友人・知人から |
| 3. 近所の人 | 4. 地域の民生児童委員から |
| 5. 社会福祉協議会から | 6. 地域包括支援センターから |

- | | |
|------------------------|---------------|
| 7. 市広報誌や市の発行するパンフレットから | 8. 市のホームページから |
| 9. 直接市役所に相談する | 10. 特にない |
| 11. その他 (|) |

問10-1 あなたは現在、自分に必要な「福祉サービス」の情報をどの程度入手できていると感じていますか。(〇はひとつ)

- | | |
|-----------------|------------------------|
| 1. 十分入手できている | 2. 十分ではないが入手できている |
| 3. ほとんど入手できていない | 4. 今のところ情報を入手しようとしていない |
| 5. その他 (|) |

問11 福祉サービスを充実させていくうえで、行政と地域住民の関係について、あなたのお考えに最も近いものを選んでください。(〇はひとつ)

- | | |
|---|---|
| 1. 福祉サービスを実施する責任は行政にあるので、住民は特に協力することはない | |
| 2. 行政の手の届きにくい課題については、住民が協力していくべきである | |
| 3. 行政も住民も協力し合い、ともに取り組むべきである | |
| 4. まず家庭や地域で助け合い、できない場合に行政が援助すべきである | |
| 5. わからない | |
| 6. その他 (|) |

地域活動への参加についてうかがいます

問12 あなたは、地域の活動に参加していますか。(〇はひとつ)

- | | |
|-------|-----------------|
| 1. はい | 2. いいえ → 問12-3へ |
|-------|-----------------|

問12-1 (問12で「1. はい」に〇をつけた方におうかがいします)

あなたが、地域で参加している活動はどれですか。(あてはまるものすべてに〇)

- | | |
|----------------------------------|---|
| 1. 自治会・町内会での活動 | |
| 2. 学校、PTA、子供会等の活動 | |
| 3. 青少年の課外(学校以外)の活動 | |
| 4. 老人クラブでの活動 | |
| 5. 婦人会(婦人部)での活動 | |
| 6. 小地域ネットワーク活動(社会福祉協議会が推進する活動) | |
| 7. 文化・スポーツ団体活動(指導を含む) | |
| 8. ボランティアやNPO(民間非営利組織)などにおける地域活動 | |
| 9. その他 (|) |

問12-2 (問12で「1. はい」に○をつけた方におうかがいします)

あなたは、その活動にどの程度参加していますか。(○はひとつ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 年に数回 | 2. 月に1~2回くらい |
| 3. 月に3~4回くらい | 4. 月に5回以上 |

問12-3 (問12で「2. いいえ」に○をつけた方におうかがいします)

地域の活動へ参加しない理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 仕事や家事が忙しく時間がとれないため | 2. 活動したいが、きっかけがない |
| 3. 興味の持てる活動がない | 4. 活動したいが情報がない |
| 5. 健康に自信がない | 6. 継続して活動に参加できるか不安 |
| 7. 身近に活動グループや仲間がない | |
| 8. その他 (|) |

問12-4 (問12で「2. いいえ」に○をつけた方におうかがいします)

どのような条件が整えば、地域の活動に参加しやすくなりますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------------|---|
| 1. 時間や収入にゆとりがあること | |
| 2. とともに活動する仲間や友人がいること | |
| 3. 趣味や特技が活かせること | |
| 4. 誰でも簡単にできること | |
| 5. 家の近くでできること | |
| 6. わずかな時間(2~3時間)でできること | |
| 7. 活動に必要なお金の支援があること | |
| 8. ボランティア講座など知識や技術を学べる機会があること | |
| 9. その他 (|) |

問13 あなたは「地域の活動の情報」を、どの程度入手できていると感じていますか。(○はひとつ)

- | | |
|-----------------|------------------------|
| 1. 十分入手できている | 2. 十分ではないが入手できている |
| 3. ほとんど入手できていない | 4. 今のところ情報を入手しようとしていない |
| 5. その他 (|) |

問14 あなたが、今後参加したいと思う地域での活動をあげてください。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|-----------------|
| 1. 地縁的な活動(町内会・自治会、婦人会、老人クラブなど) | |
| 2. 文化・スポーツ団体活動(学習、文化、各種スポーツなど) | |
| 3. ボランティア・NPO・市民活動(福祉・子育て、スポーツ・レクリエーション、防犯・防災、環境、まちづくりなど) | |
| 4. その他の活動(商工会、業種組合など) | 5. 特に参加するつもりはない |

問15 あなたは、地域でのボランティアやNPOの活動にどの程度期待していますか。(〇はひとつ)

1. かなり期待している	2. まあ期待している	3. どちらともいえない
4. あまり期待していない	5. ほとんど期待していない	

市の福祉施策や制度・サービスについてうかがいます

問16 羽村市の地域福祉に対して、どのような印象をお持ちですか(項目ごとに〇はひとつ)

	そう思う	どちらかという そう思う	そうは思わない	わからない
① 子育て家族が 暮らしやすいまち	1	2	3	4
② 障害のある方が 暮らしやすいまち	1	2	3	4
③ 高齢者が 暮らしやすいまち	1	2	3	4
④ 地域住民の活動が 盛んなまち	1	2	3	4
⑤ 困った時に隣近所で 助け合えるまち	1	2	3	4

問17 福祉サービスの充実と税金等の負担について、どのように考えますか。(〇はひとつ)

1. 税金等の負担がある程度重くなっても、福祉サービスを今より充実させるべきである
2. 税金等の負担が重くなるくらいなら、福祉サービスは現状程度でよい
3. 税金等の負担は現状程度にして、市民や民間の協力により福祉の充実を図るべきである
4. 福祉サービスを充実させるよりも、税金等の負担を軽減すべきである
5. その他

問18 あなたは、市の福祉や保健に関わる次のような相談窓口や相談機関をご存知ですか
(項目ごとに〇はひとつ)

	知っており、 利用したことがある	知っているが、 利用したことはない	知らない
① 地域包括支援センター	1	2	3
② 子ども家庭支援センター	1	2	3

③ 社会福祉協議会	1	2	3
④ 保健センター	1	2	3
⑤ 民生・児童委員	1	2	3
⑥ 生活自立相談窓口	1	2	3
⑦ ひとり親・女性生活相談 (子育て支援課)	1	2	3

問19 あなたを含め、家族のなかで最近1年間に、高齢者や障害者、子育て支援などに関する福祉サービスを利用した人がいますか。(〇はひとつ)

1. 自分自身が利用した	2. 家族が利用した
3. 自分と家族の両方が利用した	4. 自分も家族も利用していない

問19-1 (問19で「1. 自分自身が利用した」「2. 家族が利用した」「3. 自分と家族の両方が利用した」に〇をつけた方におうかがいします)

利用した福祉サービスに満足していますか。(〇はひとつ)

1. かなり満足している	2. まあ満足している	3. どちらともいえない
4. やや不満である	5. かなり不満である	

問20 あなたにとって、福祉サービスや保健、医療の制度や仕組みは分かりやすいですか。(〇はひとつ)

1. かなりわかりやすい	2. まあわかりやすい	3. どちらともいえない
4. ややわかりにくい	5. かなりわかりにくい	

問20-1 (問20で「4. ややわかりにくい」「5. かなりわかりにくい」に〇をつけた方におうかがいします) わかりにくいと思うのはなぜですか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 仕組みが複雑だから	2. 説明や情報が専門的だから
3. 情報が少ないから	4. 情報を入手しにくいから
5. その他 ()	

問21 あなたは、羽村市には福祉サービスが利用しやすい環境が整っていると思いますか。(〇はひとつ)

1. かなり整っていると思う	2. まあ整っていると思う	3. どちらともいえない
4. あまり整っていないと思う	5. ほとんど整っていないと思う	

問22 保健、医療、福祉サービスを利用しやすい環境に整備するため、充実すべきことはどのようなことだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. サービスの種類、量の確保	2. サービスの質の向上
3. わかりやすい情報の提供	4. 障害のある方や高齢者に対する配慮
5. 相談や苦情にいつでも対応できる窓口の設置	6. 経済的な負担の軽減
7. その他 ()	

問23 あなたは、次にあげる福祉に関わる制度や言葉をご存知ですか。(項目ごとに○はひとつ)

	知っている	聞いたことがある程度	知らない
① 成年後見制度	1	2	3
② 地域福祉権利擁護事業	1	2	3
③ 小地域ネットワーク活動	1	2	3
④ ユニバーサルデザイン	1	2	3
⑤ ノーマライゼーション	1	2	3
⑥ 心のバリアフリー	1	2	3
⑦ 生活困窮者自立支援制度	1	2	3

問24 あなたは、今後福祉に関する講習や研修などがあった場合、参加したいと思いますか。(○はひとつ)

1. 是非参加したい	2. 参加したい
3. 参加したいと思わない	4. わからない

問25 今後、羽村市が取り組むべき施策として、次のうちどれを優先して充実すべきだと思いますか。(○は3つまで)

1. ボランティアなどの地域活動への参加の促進や支援・拠点の整備
2. 住民が共に支え合う仕組みづくりへの支援(小地域ネットワーク事業など)
3. 地域の住民が気軽に立ち寄れる自由な交流の場の設定
4. 地域で保健や福祉に関する活動の中心となる人材の育成
5. 福祉や保健に関する身近な相談窓口の充実
6. 在宅生活が続けられる福祉サービスの充実
7. 福祉や保健に関する情報提供や案内の充実
8. 健康診断・がん検診などの保健医療サービスの充実
9. 成年後見制度の活用促進など、権利擁護事業への取り組み
10. 福祉活動への理解を深め、参加を促す福祉教育の充実
11. 高齢者、障害者、児童に関する福祉施設の整備
12. 公共の場のバリアフリー化など、福祉のまちづくりへの取り組み

13. 特にない
 14. その他 ()

問26 高齢者が暮らしやすいまちをつくるために、今後、羽村市においてはどのようなことが重要だと考えますか。(〇は3つまで)

1. ホームヘルパーなど専門職の人材を確保・養成
2. 町内会などを単位とする地域の支え合い活動の充実
3. 福祉や保健に関する情報提供や相談機能の充実
4. 高齢者の就労機会の拡充
5. 高齢者の生きがいを高める事業の拡充
6. 世代間交流の促進
7. 高齢者に関する福祉サービスの質・量の向上・確保
8. 高齢者の自立支援・健康づくりの推進
9. 高齢者が利用・移動しやすい道路・建物・駅などの整備
10. 高齢者に対する防災・安全対策の充実
11. 高齢者の芸術・文化活動、スポーツ・レクリエーション活動などの振興
12. 思いやりのある心、やさしい心を育てるための福祉教育の推進
13. 高齢者自らの経験や能力を活用できる機会をつくる
14. コミュニティバス「はむらん」や福祉タクシーなどの交通機関の充実
15. 特にない
16. その他 ()

問27 障害のある方が暮らしやすいまちをつくるためには、今後、羽村市においてはどのようなことが重要だと考えますか。(〇は3つまで)

1. ホームヘルパーなど専門職の人材の確保・養成
2. 町内会などを単位とする地域の支え合い活動の充実
3. 福祉や保健に関する情報提供や相談機能の充実
4. 障害がある方の就労機会の拡充
5. 障害がある方の社会参加の機会の充実
6. 障害がある方の自立支援・健康づくりの推進
7. 障害がある方に関する福祉サービスの質・量の向上・確保
8. 障害がある方が利用・移動しやすい道路・建物・駅などの整備
9. 障害がある方に対する防災・安全対策の充実
10. 障害がある方の芸術・文化活動、スポーツ・レクリエーション活動などの振興
11. 思いやりのある心、やさしい心を育てるための福祉教育の推進
12. コミュニティバス「はむらん」や福祉タクシーなどの交通機関の充実
13. 特にない
14. その他 ()

問28 子どもを健やかに育てるために、今後、羽村市においてはどのようなことが重要だと考えますか。(〇は3つまで)

<ol style="list-style-type: none"> 1. 学校教育などにおいて、若い世代から子育てに対する意識を高める 2. 男女がともに協力して家庭生活を営む意識を高める 3. 地域ぐるみで子育てを支援する環境を整備する 4. 子どもが安心して楽しく遊べ、学べる環境を整備する 5. 子育てと仕事を両立できる環境を整備する 6. 安心して出産・育児ができる環境を整備する 7. ひとり親家庭への支援を充実する 8. 子育てにかかる経済的負担の軽減を図る 9. 児童虐待予防への取組み 10. 保育所や学童クラブなどの保育サービスの充実 11. 子育てに関する情報提供や相談機能の充実 12. 子どもに対する防犯・安全対策の充実 13. 思いやりのある心、やさしい心を育てるための福祉教育の推進 14. 地域と学校との連携強化 15. 特にない 16. その他 ()

問29 その他なんでも結構です。誰もが安心して暮らすことができるまちにするためのご意見を自由にお書きください。

アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

羽村市地域福祉に関するアンケート調査 報告書

発行日 平成30年3月
発行 羽村市 福祉健康部 社会福祉課
〒205-8601 東京都羽村市緑ヶ丘5-2-1
電話042-555-1111（代表）
